

取 扱 書

よくお読みになってご使用ください。取扱書は車の中に保管しましょう。

PREMIO



1 安全・安心のために	お客様に 必ずお読みいただきたいこと	
2 メーターの見方	メーター・警告灯/表示灯の種類・見方など	
3 各部の操作	ドア・ドアガラスの開閉や、運転操作前の調整など	
4 運転	運転に必要な操作やアドバイス	
5 室内装備・機能	室内装備の使い方など	
6 お手入れのしかた	車のお手入れ・メンテナンスの方法	
7 万一の場合には	故障したときや、緊急時などの対処	
8 車両情報	車の仕様やお好みに合わせて選べる機能の情報など	
	症状から検索	

音から検索

五十音で検索

アルファベットで検索

さくいん

知っておいていただきたいこと	3 各部の操作
2010 2010 72	0.1
イラスト目次12	3-1. +-
1 安全・安心のために	‡—78
女主・女心のために	3-2. ドアの開閉、ロックのしかた
	ドア
1-1. 安全にお使いいただくために	(フロントドア・リヤドア)…82
運転する前に22	トランク87
安全なドライブのために 24	スマートエントリー&
シートベルト26	スタートシステム91
SRS エアバッグ33	3-3. シートの調整
	フロントシート97
1-2. お子さまの安全	リヤシート100
お子さまの安全のために 42	ヘッドレスト104
子供専用シート43	
チャイルドシートの	3-4. ハンドル位置・ミラー
取り付け52	ハンドル106
排気ガスに対する注意 59	インナーミラー108
1-3. 盗難防止システム	ドアミラー109
エンジンイモビライザー	3-5. ドアガラスの開閉
システム60	パワーウインドウ113
2 メーターの見方	
2 3 33/6/3	
0 =1000+	
2. 計器の見方	
警告灯/表示灯62	
計器類 66	
マルチインフォメーション	
ディスプレイ70	

(リヤ)......153

3

4

5

6

,

8

室内装備・機能 その他の室内装備	65 65
・サンバイザー26	65
5-1. エアコン・デフォッガーの ・バニティミラー	
使い方 ・ 時計 26	36
マニュアルエアコン236 ・アクセサリーソケット26	67
オートエアコン242 ・リヤセンター	
シートヒーター251 アームレスト26	
5-2. 室内灯のつけ方 · アシストグリップ 26	
室内灯一覧254 ・コートフック26	39
・フロント・フロント・オーディオスイッチ 26	39
パーソナルランプ255	
· リヤ読書灯255 6 お手入れのしかた	
5-3. 収納装備の使い方	
収納装備一覧257 6-1. お手入れのしかた	
・グローブボックス258 外装の手入れ27	72
・コンソールボックス259 内装の手入れ27	75
· カップホルダー260 6-2. 簡単な点検・部品交換	
· ボトルホルダー261 ボンネット28	80
· 小物入れ262 ガレージジャッキ	
トランク内装備264 ウォッシャー液の補充28	
・三角表示板 タイヤについて	
収納スペース264 タイヤ空気圧について	
エアコンフィルターの交換 29	
キーの電池交換	

ヒューズの点検・交換 295 電球 (バルブ) の交換 298

万一の場合には 7-1 まず初めに 故障したときは......310 非常点滅灯 (ハザードランプ)311 発炎筒......312 車両を緊急停止するには314 7-2. 緊急時の対処法 けん引について......316 フューエルポンプ シャットオフシステム......323 警告灯がついたときは324 警告メッセージが 表示されたときは328 パンクしたときは......332 エンジンが かからないときは344 電子キーが正常に 働かないときは (スマートエントリー& スタートシステム装着車)...346 バッテリーが あがったときは......348

オーバーヒートした

ときは......354

スタックしたときは......357

3 車両情報

8-1. 仕様一覧
メンテナンスデータ (指定燃料・ オイル量など)360
8-2. カスタマイズ機能
ユーザーカスタマイズ 機能一覧367
8-3. 初期設定
初期設定が必要な項目 371
さくいん
こんなときは

車から音が鳴ったときは

(症状別さくいん)......374

(音さくいん)......378

アルファベット順さくいん 380

知っておいていただきたいこと

本書の内容について

本書はオプションを含むすべての装備の説明をしています。

そのため、お客様の車にはない装備の説明が記載されている場合があります。また、車の仕様変更により、内容がお車と一致しない場合がありますのでご了承ください。

トヨタ販売店で取り付けられた装備(販売店オプション)の取り扱いについては、その商品に付属の取扱説明書をお読みください。

イラストは、記載している仕様などの違いにより、お客様の車の装備と 一致しない場合があります。

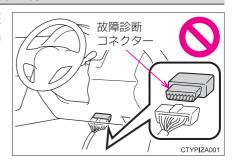
不正改造について

- トヨタが国土交通省に届け出をした部品以外のものを装着すると、不 正改造になることがあります。
- 車高を下げたり、ワイドタイヤを装着するなど、車の性能や機能に適さない部品を装着すると、故障の原因となったり、事故を起こし、重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。
- ハンドルの改造は絶対にしないでください。ハンドルには SRS エアバッグが内蔵されているため、不適切に扱うと、正常に作動しなくなったり、誤ってふくらみ、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- 次の場合はトヨタ販売店にご相談ください。
 - ・タイヤ・ディスクホイール・ホイール取り付けナットの交換 異なった種類や指定以外のものを使用すると、走行に悪影響をおよ ぼしたり、不正改造になることがあります。
 - ・電装品・無線機などの取り付け・取りはずし 電子機器部品に悪影響をおよぼしたり、故障や車両火災など事故に つながるおそれがあり危険です。
 - RF 送信機の取り付けについては、P. 9 も参照してください。
- フロントウインドウガラス、および運転席・助手席のドアガラスに着色フィルム(含む透明フィルム)などを貼り付けないでください。視界をさまたげるばかりでなく、不正改造につながるおそれがあります。

故障診断コネクターなどへの電装品取り付けについて

故障診断コネクターなどに、点検整備用の故障診断装置以外の電装品を取り付けないでください。

電子機器に悪影響をおよぼしたり、 バッテリーがあがったりするなど、 思わぬトラブルを招くおそれがあ ります。



車両データの記録について

お車には、車両の制御や操作に関するデータなどを記録するコンピューターが複数装備されており、主に次のようなデータを記録します。

- ・エンジン回転数
- ・アクセルの操作状況
- ・ブレーキの操作状況
- ・車速
- ・シフトポジション

グレード・オプション装備により記録されるデータ項目は異なります。なお、コンピューターは会話などの音声や車内の映像は記録しません。

● データの取り扱いについて

トヨタはコンピューターに記録されたデータを車両の故障診断・研究 開発・品質の向上を目的に取得・利用することがあります。

なお、次の場合を除き、トヨタは取得したデータを第三者へ開示また は提供することはありません。

- ・お車の使用者の同意 (リース車は借主の同意) がある場合
- ・警察・裁判所・政府機関などの法的強制力のある要請に基づく場合
- ・統計的な処理を行う目的で、使用者や車両が特定されないように加工したデータを研究機関などに提供する場合

イベントデータレコーダー

お車には、イベントデータレコーダー (EDR) が装備されています。EDRは、一定の衝突や衝突に近い状態 (SRS エアバッグの作動および路上障害物との接触など) が発生した時に車両システムの作動状況に関するデータを記録します。

EDR は車両の動きや安全システムに関するデータを短時間記録するように作られています。ただし、衝突の程度と形態によっては、データが記録されない場合があります。

EDR は次のようなデータを記録します。

- ・車両の各システムの作動状況
- ・アクセルペダルおよびブレーキペダルの操作状況
- ・車谏

これらのデータは、衝突や傷害が発生した状況を把握するのに役立ちます。

注意:EDR は衝突が発生したときにデータを記録します。通常走行時にはデータは記録されません。また、個人情報(例:氏名・性別・年齢・衝突場所)は記録されません。ただし、事故調査の際に法執行機関などの第三者が、通常の手続きとして収集した個人を特定できる種類のデータと EDR データを組み合わせて使用することがあります。EDR で記録されたデータを読み出すには、特別な装置を車両または EDR へ接続する必要があります。

トヨタにくわえ、法執行機関などの特別な装置を所有する第三者が車両または EDR に接続した場合でも情報を読み出すことができます。

● EDR データの情報開示

次の場合を除き、トヨタは EDR で記録されたデータを第三者へ開示することはありません。

- ・お車の使用者の同意(リース車は借主の同意)がある場合
- ・警察・裁判所・政府機関などの法的強制力のある要請に基づく場合
- ・トヨタが訴訟で使用する場合

ただし、トヨタは

- ・データを車両安全性能の研究に使用することがあります。
- ・使用者・車両が特定されないデータを調査目的で第三者に開示する ことがあります。

RF 送信機の取り付けについて

お車へ RF 送信機を取り付けると、次のようなシステムに影響をおよぼす可能性があります。

- EFI コンピュータ
- クルーズコントロール
- ◆ ABS (アンチロックブレーキシステム)
- SRS エアバッグ
- シートベルトプリテンショナー
- Toyota Safety Sense

悪影響を防ぐための措置や取り付け方法については、必ずトヨタ販売店 にお問い合わせください。

ご希望により、RF 送信機の取り付けに関する詳しい情報(周波数帯域・電力レベル・アンテナ位置・取り付け条件)をトヨタ販売店にてご提供します。

保証および点検について

保証および点検整備については、別冊「メンテナンスノート」に記載していますので、併せてお読みください。

日常点検整備や定期点検整備は、お客様の責任において実施してください。(法律で義務付けられています)

本書の見方

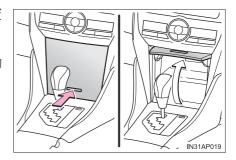


お守りいただかないと、お客様自身と周囲の人々が死亡、または重大な傷害につながるおそれがあることを説明しています。

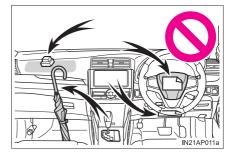
→ 注意 お守りいただかないと、車や装備品の故障や破損につながる おそれがあることを説明しています。

123… 操作・作業の手順を示しています。番号の順に従ってください。

- ☆ 押す・まわすなど、していただきたい操作を示しています。



- → 説明の対象となるもの・場所を 示しています。
- "してはいけません" "このよう にしないでください" "このよ うなことを起こさないでくだ さい"という意味です。

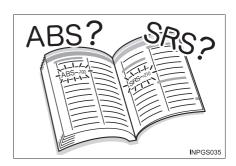


検索のしかた

名称か	ら探す
471711/1/1	$\supset 1\pi \ 9$

•	五十	音順さ	<	いん	38
---	----	-----	---	----	----

・アルファベット順 さくいん......380



■ 取り付け位置から探す

・イラスト目次.....12



■ 症状や音から探す

- こんなときは (症状別さくいん)......374
- ・車から音が鳴ったときは (音さくいん)......378



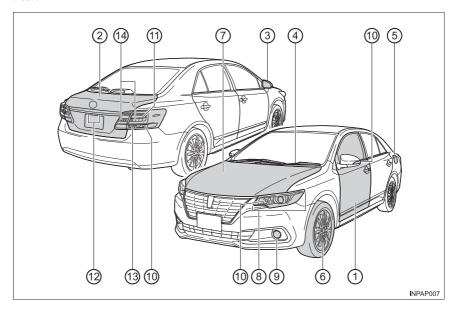
■ タイトルから探す

· 目次2



イラスト目次

■ 外観



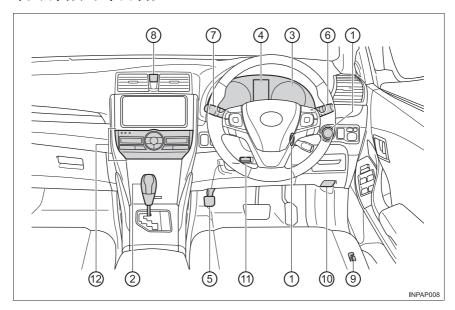
ヘッドランプの形状はグレード等により異なります。

1	・ドア	P. 82
	施錠/解錠	P. 82
	ドアガラスの開閉	P. 113
	メカニカルキーでの施錠/解錠★F	P. 346
	警告メッセージF	P. 328
2	トランク	P. 87
	車外から開ける	P. 87
	車内から開ける	P. 87
3	ドアミラー	P. 109
	鏡面の角度調整F	P. 109
	ミラーの格納F	P. 109
	曇りを取る (ミラーヒーター) ★F	2.111

4 ワイパー	P. 150
冬季の注意	P. 232
凍結防止(フロントワイパーデアイサー)★	P. 238, 245
⑤ 給油口	P. 155
給油方法	P. 155
燃料の種類・燃料タンク容量	P. 360
⑥ タイヤ	P. 285
サイズ・空気圧	
冬用タイヤ・タイヤチェーン	P. 232
点検・ローテーション	P. 285
パンク時の対処	P. 332
⑦ ボンネット	P. 280
開け方	P. 280
エンジンオイル	
オーバーヒート時の対処	P. 354
走行に関わる外装のランプバルブ	
(交換要領: P. 298, ワット数: P. 365)	
⑧ ヘッドランプ・車幅灯	
⑨ フロントフォグランプ★	P. 149
⑩ 方向指示灯	P. 142
⑪ 制動灯	
① 番号灯	P. 144
③ 後退灯	
シフトポジションを R にする	
(14) 尾灯	P. 144

^{★:}グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

■ インストルメントパネル

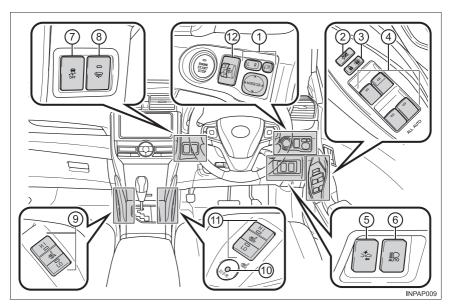


(1) エンジンスイッチ P	P. 131, 134
エンジンの始動・モード切りかえP	2. 131, 134
エンジンの緊急停止	P. 314
エンジンが始動できないときの対処	P. 344
警告メッセージ	P. 328
② シフトレバー	P. 139
シフトポジションの切りかえ	P. 139
けん引時の注意	P. 316
シフトレバーが動かないときの対処	P. 140
③ メーター	P. 62
見方・明るさの調整	P. 66
警告灯/表示灯	P. 62, 64
警告灯点灯時の対処	P. 324

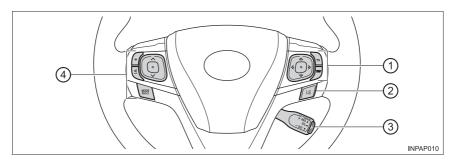
(4)	マルチインフォメーションディスプレイ			P. 70
	表示内容			P. 70
	警告メッセージ表示時の対処		P	. 328
(5)	パーキングブレーキ		Р	143
	かける・解除する		P	. 143
	冬季の注意		P	233
	警告ブザー・警告メッセージ	P	. 324,	328
6	方向指示レバー		Р	142
	ランプスイッチ		Р	144
	ヘッドランプ・車幅灯・尾灯・番号灯		P.	144
	フロントフォグランプ★		P	149
7	ワイパー&ウォッシャースイッチ			
	リヤワイパー&ウォッシャースイッチ		P.	. 153
	使い方		P	. 150
	ウォッシャー液の補充		P	. 283
8	非常点滅灯スイッチ		Р	311
9	給油口オープナー			
	トランクオープナー			P. 87
10	ボンネット解除レバー		P	280
(11)	ハンドル位置調整レバー		P	. 106
12	マニュアルエアコン/オートエアコン	P	. 236,	242
	操作方法	P	. 236,	242
	リヤウインドウの曇り取り			
	(リヤウインドウデフォッガー)	P	237	244

^{★:}グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

■ スイッチ類



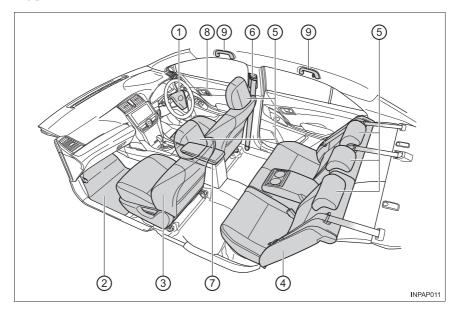
1	ドアミラースイッチ	P. 109
2	ウインドウロックスイッチF	P. 113
3	ドアロックスイッチ	P. 84
4	パワーウインドウスイッチF	P. 113
5	PCS(プリクラッシュセーフティシステム)スイッチ★ F	P. 164
6	オートマチックハイビームスイッチ★	P. 183
7	VSC OFF スイッチ	P. 226
8	フロントワイパーデアイサースイッチ [★] P. 238	, 245
9	シートヒータースイッチ(助手席側)★F	P. 251
10	助手席シートヒーター作動表示灯 [★]	P. 251
(11)	シートヒータースイッチ(運転席側)★	P. 251
	Stop & Start キャンセルスイッチ★F	P. 214
12	手動光軸調整ダイヤル★F	P. 146



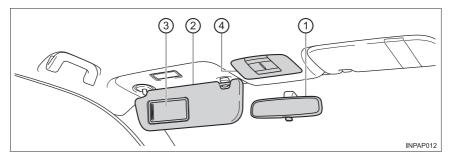
① メーター操作スイッチ	P. 71
② LDA(レーンディパーチャーアラート)スイッチ★	P. 177
③ クルーズコントロールスイッチ★	P. 189
④ オーディオスイッチ	P. 269

^{★:}グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

■ 室内



(1) SRS エアハック
② フロアマットP. 22
③ フロントシートP. 97
④ リヤシート
⑤ ヘッドレストP. 104
⑥ シートベルトP. 26
⑦ コンソールボックスP. 259
⑧ ロックレバーP. 84
⑨ アシストグリップ



① インナーミラー	P. 108
② サンバイザー* 1	
③ バニティミラー	P. 265
(4) フロントパーソナルランプ ^{※2}	P. 255

※1:やむを得ず助手席にチャイルドシートを 取り付ける場合には、チャイルドシート をうしろ向きに取り付けないでください。 重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡 につながるおそれがあります。 (→P.57)

※2:図はフロントですが、リヤにも装着されています。



安全・安心のために

~必ずお読みください~

1-1. 安全にお使いいただくた	めに
運転する前に	22
安全なドライブのために	24
シートベルト	26
SRS エアバッグ	33
1-2. お子さまの安全	
お子さまの安全のために	42
子供専用シート	43
チャイルドシートの	
取り付け	52
排気ガスに対する注意	59
1-3. 盗難防止システム	
エンジンイモビライザー	
システム	60

運転する前に

点検整備

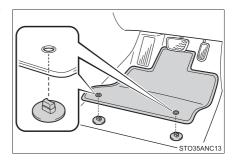
日常点検整備や定期点検整備は、お客様の責任において実施していただくことが法律で義務付けられています。適切な時期に点検整備を実施し、お車に異常がないことを確認してください。

日常点検整備や点検項目などの詳細については、別冊「メンテナンスノート」を参照してください。異常が見つかった場合は、トヨタ販売店で必ず点検整備を受けてください。

フロアマット

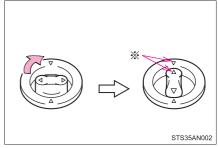
専用のフロアマットを、フロアカーペットの上にしっかりと固定してお使いください。

1 固定フック(クリップ)にフロア マット取り付け穴をはめ込む



固定フック(クリップ)上部のレ バーをまわして、フロアマットを 固定する

**△マークを必ず合わせてください。



固定フック(クリップ)の形状はイラストと異なる場合があります。

▲ 警告

次のことを必ずお守りください。

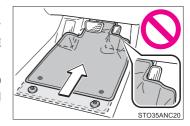
お守りいただかないと、フロアマットがずれて運転中に各ペダルと干渉し、思わぬスピードが出たり車を停止しにくくなるなど、事故の原因になり重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■運転席にフロアマットを敷くとき

- トヨタ純正品であっても、他車種および異なる年式のフロアマットは使用しない
- ●運転席専用のフロアマットを使用する
- ●固定フック(クリップ)を使って、常にしっかりと固定する
- ●他のフロアマット類と重ねて使用しない
- ●フロアマットを前後逆さまにしたり、裏返して使用しない

■運転する前に

- ●フロアマットがすべての固定フック(クリップ)で正しい位置にしっかりと固定されていることを定期的に確認し、特に洗車後は必ず確認を行う
- ■エンジン停止およびシフトレバーが P の 状態で、各ペダルを奥まで踏み込み、フロ アマットと干渉しないことを確認する



安全なドライブのために

安全に運転するために、走行前にシートやミラーなどを適切に調整して ください。

正しい運転姿勢について

- (1) まっすぐ座り、運転操作時に体が 背もたれから離れないよう、背も たれの角度を調整する (→ P. 97)
- ② ペダルがしっかりと踏み込め、ハンドルを握ったときにひじが少し曲がるようなシート位置にする(→ P. 97)



- ③ ヘッドレストの中央が耳のいちばん上のあたりになるようにする (→ P. 104)
- (4) シートベルトを正しく着用する (→ P. 26)

シートベルトを正しく着用する

すべての乗員は、走行前に必ずシートベルトを正しく着用してください。 (→ P. 26)

シートベルトを正しく着用できない小さなお子さまを乗せるときは、適切な子供専用シートをご用意下さい。(→ P. 43)

ミラーを調整する

後方が確実に確認できるように、インナーミラー・ドアミラーを正しく 調整してください。(→ P. 108. 109)

▲ 警告

次のことを必ずお守りください。 お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるお それがあります。

- ●走行中は運転席の調整をしないでください。運転を誤るおそれがあります。
- ●背もたれと背のあいだにクッションなどを入れないでください。 正しい運転姿勢がとれないばかりか、衝突したとき、シートベルトやヘッドレストなどの効果が十分に発揮されないおそれがあります。
- ●フロントシートの下にものを置かないでください。 ものが挟まるとシートが固定されず、思わぬ事故や調整機構の故障の原因になります。
- ●公道を走行するときは、法定速度や制限速度を遵守してください。
- ●他の車や歩行者など、周囲の状況に常に注意を払い、安全運転を心がけてください。
- ●飲酒運転は絶対にしないでください。お酒を飲むと注意力と判断力がにぶり、 思いがけない事故を引き起こすおそれがあります。また、眠気をもよおす薬を 飲んだときも運転を控えてください。
- ●運転中に携帯電話を使用したり、装置の調節などをしないでください。周囲の 状況などへの注意が不十分になり、大変危険です。ハンズフリー以外の自動車 電話や携帯電話を運転中に使用することは法律で禁止されています。
- ●長距離ドライブの際は、疲れを感じる前に定期的に休憩してください。 また、運転中に疲労感や眠気を感じたときは、無理に運転せず、すみやかに休憩してください。

シートベルト

走行前にすべての乗員は必ずシートベルトを正しく着用してください。

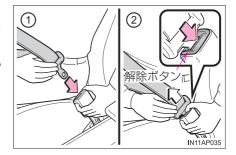
正しく着用する

- 肩部ベルトを肩に十分かける 首にかかったり、肩からはずれないようにしてください。
- 腰部ベルトを必ず腰骨のできる だけ低い位置に密着させる
- 背もたれを調整し、上体を起こし、深く腰かけて座る
- ねじれがないようにする



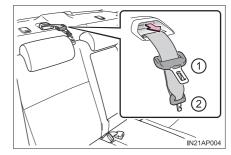
着け方・はずし方(フロント席・リヤ左右席)

- ① ベルトを固定するには、"カチッ" と音がするまでプレートをバッ クルに挿し込む
- ② ベルトを解除するには、解除ボタンを押す

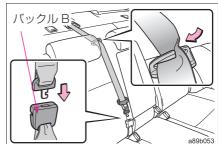


着け方・はずし方(リヤ中央席)

- 1 プレートを取り出す
 - ① プレートA
 - ② プレートB



② シートベルトをガイドに通し、プレートBをバックルBに挿し込む "カチッ" と音がするまで挿し込みます。



3 プレート A をバックル A に挿し 込む

"カチッ"と音がするまで挿し込みます。

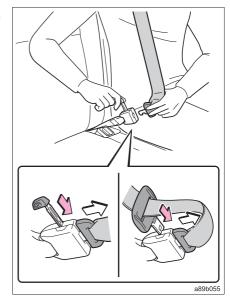
ベルトを解除するには、解除ボタンを 押します。



分離・格納のしかた(リヤ中央席)

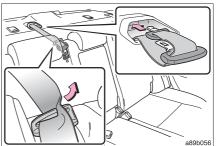
1 メカニカルキー (→ P. 78) また はプレート A をバックルに挿し 込む

シートベルトを分離・分割するときは、ベルトを持ちながらゆっくり巻き戻します。



② シートベルトをガイドからはず し、プレート A、B を重ねて格納 する

確実に固定されるよう、しっかりと奥 まで挿し込みます。



シートベルトの高さ調節(フロント席)

- 1 解除ボタンを押しながら、アジャスターを下げる
- ② アジャスターを上げる

"カチッ"と音がして固定されるところまで動かしてください。



シートベルトプリテンショナー(フロント席)

前方から強い衝突を受けたとき、 シートベルトを引き込むことで適 切な乗員拘束効果を確保します。

前方からの衝撃が弱いときや、横やう しろからの衝撃のときは通常は作動し ません。



□ 知識

■シートベルトロックの解除方法

急停止や衝撃があったときベルトがロックされます。急に体を前に倒したり、シートベルトをすばやく引き出してもロックする場合があります。シートベルトがロックしたまま引き出せないときは、一度ベルトを強く引いてからゆるめ、ゆっくり動かせば、ベルトを引き出すことができます。

■お子さまのシートベルトの使い方

この車のシートベルトは、シートベルトを装着するのに十分な、大人の体格を持った人用に設計されています。

- ●シートベルトが正しい位置で着用できない小さなお子さまの場合は、お子さまの体に合ったチャイルドシートを使用してください。 (→ P. 52)
- シートベルトが正しい位置で着用できるお子さまの場合は、シートベルトの着用のしかたに従ってください。(→P. 26)

■シートベルトプリテンショナーについて

シートベルトプリテンショナーは、一度しか作動しません。玉突き衝突などで連続して衝撃を受けた場合でも、一度作動したあとは、その後の衝突では作動しません。

▲ 警告

急ブレーキや事故の際のけがを避けるため、次のことを必ずお守りください。 お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるお それがあります。

■シートベルトの着用について

- ●全員がシートベルトを着用する
- ●シートベルトを正しく着用する
- ●シートベルトは一組につき一人で使用する お子さまでも一組のベルトを複数の人で使用しない
- ●お子さまはリヤ席に座らせてシートベルトを着用させる
- ●背もたれは必要以上に倒さず、上体を起こし、シートに深く座る
- ●肩部ベルトを腕の下に通して着用しない
- ●腰部ベルトはできるだけ低い位置に密着させ着用する
- リヤシートベルトを使用するときは、シートベルトがガイド (→ P. 103) に 通っていることを確認する
- ●リヤ中央席のシートベルトを使用すると きは、プレートBとバックルBを結合する



▲ 警告

■妊娠中の女性の場合

医師に注意事項を確認の上、必ず正しく着 用してください。(→ P. 26)

通常の着用のしかたと同じように、腰部ベルトが腰骨のできるだけ低い位置にかかるようにお腹のふくらみの下に、肩部ベルトは確実に肩を通し、お腹のふくらみを避けて胸部にかかるように着用してください。

ベルトを正しく着用していないと、衝突したときなどに、母体だけでなく胎児までが重大な傷害を受けたり、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。



■疾患のある方の場合

医師に注意事項を確認の上、必ず正しく着用してください。

■お子さまを乗せるとき

お子さまをシートベルトで遊ばせないでください。万一ベルトが首に巻き付いた場合、窒息など重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

誤ってそのような状態になってしまい、バックルもはずせない場合は、ハサミなどでシートベルトを切断してください。

▲ 警告

■プリテンショナー付シートベルトについて

シートベルトプリテンショナーが作動すると SRS エアバッグ/プリテンショナー警告灯が点灯します。その場合はシートベルトを再使用することができないため、必ずトヨタ販売店で交換してください。

■シートベルトの損傷・故障について

- ●ベルトやプレート・バックルなどは、シートやドアに挟むなどして損傷しないようにしてください。
- ●シートベルトが損傷したときは、シートベルトを修理するまでシートは使用しないでください。
- ●プレートがバックルに確実に挿し込まれているか、シートベルトがねじれていないかを確認してください。うまく挿し込めない場合は、ただちにトヨタ販売店に連絡してください。
- ●もし重大な事故にあったときは、明らかな損傷が見られない場合でも、シート・シートベルトを交換してください。
- ●プリテンショナー付シートベルトの取り付けや取りはずし・分解・廃棄などは、トヨタ販売店以外でしないでください。 不適切に扱うと、正常に作動しなくなるおそれがあります。

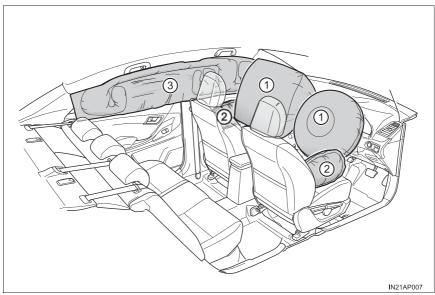
⚠ 注意

■リヤ中央席のシートベルトについて

運転席側リヤシートの背もたれを前倒しするとき以外は、ベルトを分離しない でください。

SRS エアバッグ

SRS エアバッグは乗員に重大な危害がおよぶような強い衝撃を受けたときにふくらみ、シートベルトが体を拘束する働きと併せて乗員への衝撃を緩和させます。



- ◆ フロント SRS エアバッグ
 - ① 運転席 SRS エアバッグ/助手席 SRS エアバッグ (運転者と助手席乗員の頭や胸などへの衝撃を緩和)
- ◆ SRS サイド & カーテンシールドエアバッグ★
 - ② SRS サイドエアバッグ (フロント席乗員の胸などへの衝撃を緩和)
 - ③ SRS カーテンシールドエアバッグ (フロント席とリヤ外側席乗員の主に頭部への衝撃を緩和)

▲ 警告

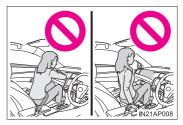
■SRS エアバッグについて

次のことを必ずお守りください。 お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるお それがあります。

- ●運転者と乗員すべてがシートベルトを正しく着用してください。 SRS エアバッグはシートベルトを補助するためのものです。
- ●助手席 SRS エアバッグは強い力でふくらむため、特に乗員がエアバッグに近付きすぎると、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。乗員が SRS エアバッグのふくらむ場所に近い場合は特に危険です。シートの背もたれを調整して、シートをできるだけ SRS エアバッグから離し、まっすぐに座ってください。
- ●お子さまがシートにしっかり座っていないと、SRS エアバッグのふくらむ衝撃で重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。お子さまが小さくてシートベルトを使用できないときは、チャイルドシートでしっかり固定してください。

お子さまはリヤ席に乗せ、チャイルドシートまたはシートベルトを着用させる ことをおすすめします。 (→ P. 52)

●シートの縁に座ったり、ダッシュボードに もたれかかったりしない



- お子さまを助手席 SRS エアバッグの前に立たせたり、ひざの上に抱いたりしない
- ■運転者および助手席乗員は、ひざの上に何 も持たない



■SRS エアバッグについて

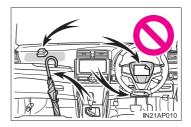
● SRS サイド&カーテンシールドエアバッグ装着車:ドアやフロントピラー・センターピラー・リヤピラー・ルーフサイドレールへ寄りかからない



● SRS サイド&カーテンシールドエアバッグ装着車:助手席やリヤ外側シートでは、ドアに向かってひざをついたり、窓から顔や手を出したりしない



●ダッシュボード・ハンドルのパッド部分などには何も取り付けたり、置いたりしない



● SRS サイド&カーテンシールドエアバッグ装着車:ドア・フロントガラス・ドアガラス・フロントピラーおよびリヤピラー・ルーフサイドレール・アシストグリップなどには何も取り付けない



■SRS エアバッグについて

- SRS サイド&カーテンシールドエアバッグ装着車:コートフックにハンガーなどの硬いものをかけないでください。 SRS カーテンシールドエアバッグが作動したときに投げ出されて重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- ●SRS サイド&カーテンシールドエアバッグ装着車:SRS サイドエアバッグが ふくらむ場所を覆うようなシートアクセサリーを使用しないでください。 エアバッグが展開する際、アクセサリーが干渉するおそれがあります。そのようなアクセサリーがエアバッグが正常に作動するのをさまたげ、システムを不能にしたり、またはエアバッグが誤って展開したりして、重大な傷害におよぶ か、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- SRS エアバッグシステム構成部品の周辺は、強くたたくなど過度の力を加えないでください。 SRS エアバッグが正常に作動しなくなるおそれがあります。
- SRS エアバッグがふくらんだ直後は、構成部品が熱くなっているため、ふれないでください。
- SRS エアバッグがふくらんだあとに、もし呼吸が苦しく感じたら、ドアやドアガラスを開けて空気を入れるか、安全を確認して車外に出てください。 皮膚の炎症を防ぐため、残留物はできるだけ早く洗い流してください。
- ●SRS サイド&カーテンシールドエアバッグ非装着車:SRS エアバッグが収納されているパッド部に傷が付いていたり、ひび割れがあるときは、そのまま使用せずトヨタ販売店で交換してください。
- SRS サイド&カーテンシールドエアバッグ装着車: SRS エアバッグが収納されているパッド部およびフロントピラーガーニッシュ部に傷が付いていたり、ひび割れがあるときは、そのまま使用せずトヨタ販売店で交換してください。

■改造・廃棄について

トヨタ販売店への相談なしに、次の改造・廃棄をしないでください。 SRS エアバッグが正常に作動しなくなったり、誤ってふくらむなどして、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- ●SRS エアバッグの取りはずし、取り付け、分解、修理
- ●ハンドル・インストルメントパネル・ダッシュボード・シート・シート表皮・フロントピラー・センターピラー・リヤピラー・ルーフサイドレール周辺の修理・取りはずし・改造
- ●フロントフェンダー・フロントバンパー・車両客室側面部の修理・改造
- グリルガード(ブルバー・カンガルーバーなど)・除雪装置・ウィンチなどの 取り付け
- ●サスペンションの改造
- ●CD プレーヤー・無線機などの電化製品の取り付け

□ 知識

■SRS エアバッグが展開すると

- SRS エアバッグは高温のガスにより非常に速い速度でふくらむため、すり傷・やけど・打撲などを受けることがあります。
- ●作動音と共に白いガスが発生します。
- SRS サイド&カーテンシールドエアバッグ非装着車: エアバッグ構成部品(ハンドルのハブ・エアバッグカバー・インフレーター)も 数分間熱くなることがあります。エアバッグそのものも熱くなります。
- SRS サイド&カーテンシールドエアバッグ装着車: フロント席・フロントピラー・リヤピラー・ルーフサイドレールの一部分などだけでなくエアバッグ構成部品(ハンドルのハブ・エアバッグカバー・インフレーター)も数分間熱くなることがあります。エアバッグそのものも熱くなります。
- ●フロントウインドウガラスが破損することがあります。

■SRS エアバッグが作動するとき(フロント SRS エアバッグ)

●フロント SRS エアバッグは、衝撃の強さが設定値(移動も変形もしない固定された壁に、車速約 20 ~ 30km/h で正面衝突した場合の衝撃の強さに相当する値)以上の場合に作動します。

ただし、次のような場合はエアバッグが作動する車速は設定値より高くなります。

- ・駐車している車や標識のような衝撃によって移動や変形するものに衝突した 場合
- ・もぐり込むような衝撃の場合(例えば、車両前部がもぐり込む、下に入り込む、トラックの下敷きになるなど)
- ●衝突条件によってはシートベルトプリテンショナーのみ作動する場合があります。

■SRS エアバッグが作動するとき (SRS サイド&カーテンシールドエアバッグ*)

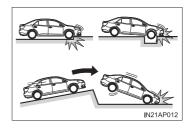
SRS サイド&カーテンシールドエアバッグは、衝撃の強さが設定値(約 1.5t の車両が、約 $20\sim 30~km/h$ の速度で客室へ直角に衝突した場合の衝撃の強さに相当する値)以上の場合に作動します。

★:グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

■衝突以外で作動するとき

次のような状況で車両下部に強い衝撃を受けたときも、フロント SRS エアバッ グが作動する場合があります。

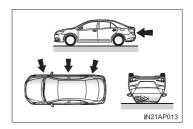
- ●縁石や歩道の端など、固いものにぶつかっ たとき
- ●深い穴や溝に落ちたり、乗りこえたとき
- ●ジャンプして地面にぶつかったり、道路か ら落下したとき



■SRS エアバッグが作動しないとき(フロント SRS エアバッグ)

フロント SRS エアバッグは、側面や後方からの衝撃・横転、または低速での前 方からの衝撃では、通常は作動しません。ただし、それらの衝撃が前方への減速 を十分に引き起こす場合には、フロント SRS エアバッグが作動することがあり ます。

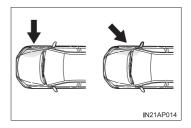
- ●側面からの衝突
- ●後方からの衝突
- ●横転



■SRS エアバッグが作動しないとき (SRS サイド&カーテンシールドエアバッグ*)

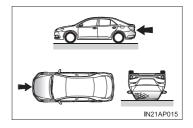
斜めから衝撃を受けた場合や、客室部分以外の側面に衝撃を受けたときには、 SRS サイド&カーテンシールドエアバッグが作動しない場合があります。

- ●客室部分以外の側面への衝撃
- ●斜めからの衝撃



SRS サイド&カーテンシールドエアバッグは、前方や後方からの衝撃・横転、または低速での側面からの衝撃では、通常は作動しません。

- ●前方からの衝突
- ●後方からの衝突
- ●構転

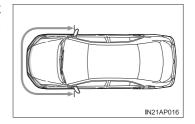


^{★:}グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

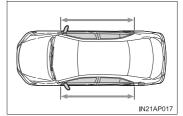
■トヨタ販売店に連絡が必要な場合

次のような場合には、点検・修理が必要になります。できるだけ早くトヨタ販売店へご連絡ください。

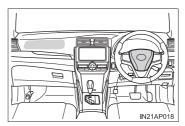
- ●いずれかの SRS エアバッグがふくらんだとき
- ●フロント SRS エアバッグはふくらまな かったが、事故で車両の前部を衝突したと き、または破損・変形などがあるとき



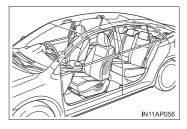
● SRS サイド&カーテンシールドエアバッグ装着車: SRS サイド&カーテンシールドエアバッグはふくらまなかったが、事故でドア部分を衝突したとき、または破損・変形などがあるとき



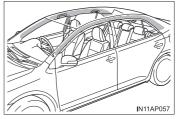
●ハンドルのパッド部分・ダッシュボードの助手席 SRS エアバッグのカバー部が傷付いたり、ひび割れたり、その他の損傷を受けたとき



SRS サイド&カーテンシールドエアバッグ装着車: SRS サイドエアバッグが内蔵されているシート表面が傷付いたり、ひび割れたり、その他の損傷を受けたとき



● SRS サイド&カーテンシールドエアバッグ装着車: SRSカーテンシールドエアバッグが内蔵されているフロントピラー部・リヤピラー部・ルーフサイド部が傷付いたり、ひび割れたり、その他の損傷を受けたとき



お子さまの安全のために

お子さまを乗せるときは、次のことをお守りください。

- お子さまにも必ずシートベルトを着用させてください。シートベルトを正しく着用できない小さなお子さまを乗せるときは、適切な子供専用シートをご用意ください。(→ P. 43)
- 運転装置にふれるのを防ぐため、お子さまはリヤシートに乗せること をおすすめします。
- 走行中にドアを開けたり、パワーウインドウを誤操作したりしないように、チャイルドプロテクター(→ P. 85)・ウインドウロックスイッチ(→ P. 113)をご使用ください。
- 小さなお子さまには、パワーウインドウ・ボンネット・トランクやシートなど、体を挟まれるおそれがある装備類を操作させないでください。

▲ 警告

●お子さまを車の中に残したままにしないでください。車内が高温になって熱射 病や脱水症状になり、重大な健康障害におよぶか、最悪の場合死亡につながる おそれがあります。

また、お子さまが車内の装置を操作し、ドアガラスなどに挟まれたり、発炎筒などでやけどしたり、運転装置を動かして、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

車にお子さまを乗せる場合は、お子さまの安全を確保するための注意事項や チャイルドシートの取り付け方などをまとめた「チャイルドシートの取り付け」を参照してください。(→ P. 52)

子供専用シート

子供専用シートの固定機構を使用して、子供専用シートを固定することができます。

知っておいていただきたいこと

- 車の仕様やお子さまの年齢・体格に合わせて、適切な子供専用シートをお選びください。
- 子供専用シートの取り付け方法および取りはずし方は、それぞれの子 供専用シートに付属の取り扱い説明書をお読みください。
- この車は2006年10月1日施行の保安基準に適合したISOFIX対応 チャイルドシート固定専用バーを標準装備しています。

子供専用シートの適合性一覧表について

■ 質量グループについて

ECE R44 **の基準に適合する子供専用シートはお子さまの体重により次の 5 種類に分類されます。

グループ 0 : 10kg まで グループ 0⁺: 13kg まで グループ I : 9 ~ 18kg グループ II : 15 ~ 25kg グループ II : 22 ~ 36kg

この本では代表的な次の3種類の子供専用シートをシートベルトで固定する方法を紹介します。

※ ECE R44 は、子供専用シートに関する国際法規です。

■ サイズ等級、固定具について

子供専用シートに表示される分類記号と、それにともなう取り付け器 具の記号になります。

子供専用シートの種類

▶ ベビーシート

ECE R44 基準のグループ 0、0⁺ に相当



▶ チャイルドシートECE R44 基準のグループ 0⁺、I に相当



▶ ジュニアシートECE R44 基準のグループ II、IIIに相当



シート位置別子供専用シート適合性一覧表(シートベルトでの取り付け)

	着席位置(または他の場所)			
質量グループ	フロントシート	リヤシート		
	助手席	左右席	中央席	
O (10kg まで)	×	L1 ** 1	L2 * 1	
O ⁺ (13kg まで)	×	L1 ** 1	L2 * 1	
I (O - 10kg)	後ろ向き ×] * 1	L2 * 1	
I $(9 \sim 18 \text{kg})$	前向き UF ^{※ 1}		LC	
I (15 \sim 25kg)	UF * 1、* 2	U * 1、 * 2	L3 * 1、* 2	
II (22 \sim 36kg)	Oi	0	LO	

● 上表に記入する文字の説明

- U: この質量グループでの使用を許可された汎用(ユニバーサル)カテゴリーの 子供専用シートに適しています。
- UF:この質量グループでの使用を許可された汎用(ユニバーサル)カテゴリーの 前向き子供専用シートに適しています。
- L1: このグループでの使用を許可された「トヨタ純正 NEO G-Child ISO tether |、「トヨタ純正 NEO G-Child baby | に適しています。
- L2: このグループでの使用を許可された「トヨタ純正 NEO G-Child ISO tether」 に適しています。
- L3: このグループでの使用を許可された「トヨタ純正 ジュニアシート」に適して います。
- ×: 子供専用シートを取り付けることはできません。
- ※ ¹ 子供専用シートを取り付ける際は背もたれの角度を最前段位置にしてくだ さい。

**2 子供専用シートを取り付ける際はヘッドレストをはずしてください。 (取りはずしたヘッドレストは車両からはずして保管するか、トランク内に 容易に動かないように収納してください)

子供専用シートの装着については子供専用シートの取り扱い説明書もご確認ください。

表に記載されていない子供専用シートを使用する場合は、子供専用シート製造業者または販売業者にご相談ください。

シート位置別子供専用シートの適合性一覧表 (ISOFIX 対応トップテザーアンカーでの取り付け)

質量グループ	サイズ 等級	田中目	車両 ISOFIX 位置
		固定具	リヤシート左右席
キャリコット	F	ISO/L1	×
	G	ISO/L2	×
O (10kg まで)	Е	ISO/R1	IL1 *1
O ⁺ (13kg まで)	Е	ISO/R1	IL1 *1
	D	ISO/R2	IL1 *1
	С	ISO/R3	IL1 *1
I (9 ~ 18kg)	D	ISO/R2	×
	С	ISO/R3	×
	В	ISO/F2	IUF * 1, * 2, IL 1 * 1
	В1	ISO/F2X	IUF * 1、 * 2、 IL 1 * 1
	А	ISO/F3	IUF * 1, * 2, IL 1 * 1
I (15 \sim 25kg)		(1)	×
		(1)	×

● 上表に記入する文字の説明

- (1) サイズ等級表示(AからG)のない子供専用シートの各シート位置でのISOFIX 対応子供専用シート固定機構の取り扱いについては、子供専用シート製造業者または販売業者にご相談ください。
- IL1: この質量グループでの使用を許可された「トヨタ純正 NEO G-child ISO leg」に適しています。
- IUF: この質量グループでの使用を許可された汎用(ユニバーサル)カテゴリーの ISOFIX 対応の前向き子供専用シートに適しています。
- ×: ISOFIX 子供専用シートを取り付けることはできません。
- ** ¹ 子供専用シートを取り付ける際は背もたれの角度を最前段位置にしてください。
- **2 ISOFIX 子供専用シートを取り付ける際はヘッドレストを最上段位置にする、またははずしてください。 (取りはずしたヘッドレストは車両からはずして保管するか、トランク内に容易に動かないように収納してください)

子供専用シートの装着については子供専用シートの取り扱い説明書もご確認ください。

表に記載されていない子供専用シートを使用する場合は、子供専用シート製造業者または販売業者にご相談ください。

□ 知識

■ISOFIX 対応チャイルドシート固定専用バーについて

この車に標準装備されている ISOFIX 対応チャイルドシート固定専用バーは、ECE R44 に適合している子供専用シートの取り付け専用です。それ以外のものを使用することはできません。

■子供専用シートの選択、使用について

- お子さまに最適な子供専用シートについては、子供専用シート製造業者、また は販売業者にご相談ください。
- お子さまが成長し、適切にシートベルトが着用できるようになるまでは、お子さまに合った子供専用シートを使用してください。
- ●体が十分に大きく、子供専用シートが不要なお子さまは、リヤシートに乗せて 車のシートベルトを使用してください。

■シートベルトで取り付けるタイプの子供専用シートの選択について

「シート位置別子供専用シート適合性一覧表」(→ P. 45)を参照し、子供専用シートを取り付け可能な位置と、対応する子供専用シートの種類(記号)をご確認の上、適したものを選択してください。

■ECE R44 適合の ISOFIX 対応子供専用シートの選択について

「シート位置別子供専用シートの適合性一覧表」(→ P. 47)を確認して、適切なシートを選択してください。

- 1 お子さまの体重から、該当する「質量グループ」を確認する
 - (例 1): 体重が 12kg の場合、質量グループは「 0^+ 」になります。
 - (例 2): 体重が 15kg の場合、質量グループは「I」になります。
- 2 サイズ等級を選択する

手順①で確認した「質量グループ」から該当するサイズ等級を確認します。※

(例 1): 質量グループが $[O^+]$ の場合、サイズ等級は[C]・[D]・[E]が該当します。

(例 2) : 質量グループが「 I 」の場合、サイズ等級は「A」・「B」・「B I 」・「C」・「D」が該当します。

※ ただし、該当のサイズ等級でも適合性一覧表の「車両 ISOFIX 位置」に「×」と記載されているものは選択できません。

3 子供専用シートに表示されているマーク/ ラベルを確認して、基準に適合したシート であることを確認する

汎用(ユニバーサル)子供専用シートには、次に示すマーク・ラベル類が表示されています。**

※ 表示されている位置・記号などは、商品により異なります。



① ISOFIX 対応子供専用シートであることを示す表示

サイズ等級が示されています。(表示される文字は、製品により異なります)

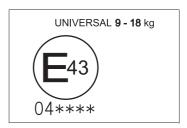
②で確認したサイズ等級に適合しているものを選択してください。

② 汎用 (ユニバーサル) 子供専用シートの 認可マーク

UNIVERSAL は汎用品の認可であることをあらわし、併せて、対象となるお子さまの体重の範囲が記載されています。

③ トップテザー(→P. 52)を示すマーク 商品の取り付け装置の位置により、意匠 は異なります。







■ISOFIX 対応子供専用シートの種類(サイズ等級別)

A-ISO/F3	全高前向き幼児用チャイルドシート
B-ISO/F2	低型前向き幼児用チャイルドシート
B1-ISO/F2X	低型前向き幼児用チャイルドシート (B-ISO/F2 と別形状のもの)
C-ISO/R3	大型後向き幼児用チャイルドシート
D-ISO/R2	小型後向き幼児用チャイルドシート
E-ISO/R1	後向き乳児用チャイルドシート
F-ISO/L1	左向き位置用チャイルドシート(キャリコット)
G-ISO/L2	右向き位置用チャイルドシート(キャリコット)

■助手席に子供専用シートを取り付けるとき

やむを得ず助手席に子供専用シートを取り付ける場合には、助手席シートを次のように調整し、子供専用シートを前向きに取り付けてください。

- ●背もたれの角度を最前段位置にする
- シートをいちばんうしろに下げる
- ●シートベルトの高さをいちばん低い位置 まで下げる
- ●質量グループⅡ、Ⅲの子供専用シートを取り付ける場合は、ヘッドレストを取りはずす(取りはずしたヘッドレストは車両からはずして保管するか、トランク内に容易に動かないように収納してください)



■キャリコットについて

キャリコットは横向きに取り付けることのできるベビーシートのことです。詳し くは子供専用シート製造業者または販売業者にお尋ねください。

■子供専用シートを使用しない場合

- ●子供専用シートを使用しないときであっても、シートに適切にしっかりと取り付けた状態にしてください。ゆるめた状態で客室内に置くことは避けてください。
- ●子供専用シートの取りはずしが必要な場合は、車両からはずして保管するか、 トランク内に容易に動かないように収納してください。

チャイルドシートの取り付け

シートベルトを正しく着用できない小さなお子さまを乗せるときは、 チャイルドシートをお使いください。お子さまの安全のために、チャイ ルドシートはリヤ外側シートに取り付けてください。 取り付け方法は、必ず商品に付属の取り扱い説明書に従ってください。

シートベルトによる取り付け (→ P. 53)



ISOFIX 対応チャイルドシート固定 専用バー (→ P. 54)

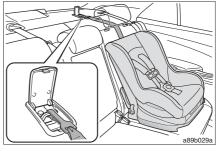
リヤ外側シートに装備されています。 (固定専用バーが装備されていること を示すタグがシートに付いています)



トップテザーアンカー (→ P. 54)

テザーベルトを固定するときに使います。

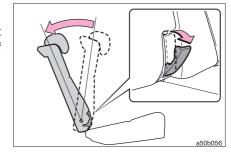
トップテザーアンカーはリヤシート外側の座席後方のパッケージトレイに装備されています。



シートベルトで固定する

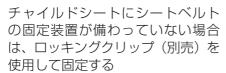
1 背もたれの角度を調整する

レバーを引きながら、いったん背もたれを前に倒し、一段目の固定位置まで起こします。(→ P. 100)

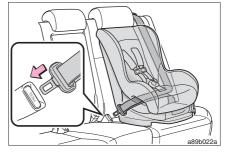


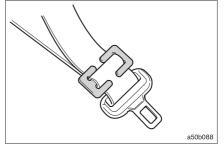
② チャイルドシートにシートベルトを取り付け、プレートをバックルに"カチッ"と音がするまで挿し込む。ベルトがねじれていないようにする

チャイルドシートに付属の取り扱い説 明書に従い、シートベルトをチャイル ドシートにしっかりと固定させてくだ さい。



ロッキングクリップの購入にあたっては、トヨタ販売店にご相談ください。 (ロッキングクリップ品番:73119-22010)



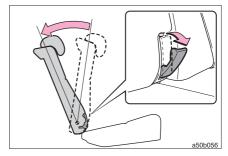


取り付け後はチャイルドシートを軽くゆさぶり、しっかりと固定されていることを確認してください。

ISOFIX 対応チャイルドシート固定専用バー& トップテザーアンカーで固定する

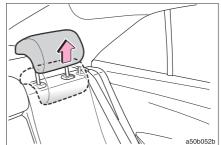
1 背もたれの角度を調整する

レバーを引きながら、いったん背もたれを前に倒し、一段目の固定位置まで起こします。(→ P. 100)



2 ヘッドレストをいちばん上まで 上げる、またははずす

取りはずしたヘッドレストは車両から はずして保管するか、トランク内に容 易に動かないように収納してくださ い。

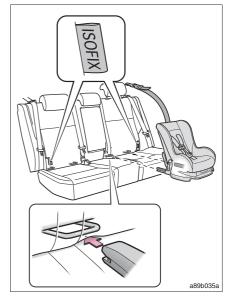


3 固定専用バーの位置を確認して、 チャイルドシートをシートに取 り付ける

固定専用バーは、シートクッションの 奥にあります。

チャイルドシートの取り付け金具を チャイルドシート固定専用バーに取り 付けます。

取り付け方法は、それぞれの商品に付属の取り扱い説明書に従ってください。



4 フタを開けて、トップテザーアン カーにフックを固定し、テザーベルトを締める

テザーベルトをピンと張り、フックが しっかり固定されていることを確認し ます。



5 取り付けたチャイルドシートを 軽くゆさぶり、確実に固定されて いることを確認する



■チャイルドシートについて

- ●事故や急停止の際、効果的にお子さまを保護するために、必ずお子さまの年齢や体の大きさに合ったシートベルトまたはチャイルドシートを使用してください。お子さまを腕の中に抱くのはチャイルドシートのかわりにはなりません。事故の際、お子さまがフロントガラスや乗員、車内の装備にぶつかり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- お子さまの年齢や体の大きさに合ったチャイルドシートを使用して、リヤシートに取り付けてください。
- ●SRS サイド&カーテンシールドエアバッグ装着車:チャイルドシートに座らせている場合でも、ドア・シート・フロントピラー・リヤピラー・ルーフサイドレール付近にお子さまの頭や体のどの部分ももたれかけさせないようにしてください。SRS エアバッグがふくらんだ場合、大変危険であり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- ●チャイルドシートによっては、取り付けができない、または取り付けが困難な場合があります。必ずチャイルドシートに付属の取り扱い説明書をよくお読みの上、確実に取り付け、使用方法をお守りください。使用方法を誤ったり、確実に固定されていないと、急ブレーキや衝突時などに、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■チャイルドシートを取り付けるとき

- ●お子さまをシートベルトで遊ばせないでください。万一ベルトが首に巻き付いた場合、窒息など重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
 - 誤ってそのような状態になってしまい、バックルもはずせない場合は、ハサミなどでシートベルトを切断してください。
- シートベルトのプレートとバックルが固定されていて、ベルトがねじれていないか確認してください。
- チャイルドシートを左右に動かして、しっかり固定されているか確認してください。
- ●チャイルドシートを固定したあとは、シートを調整しないでください。

■チャイルドシートを取り付けるとき

- ●運転席とチャイルドシートが干渉し、チャ イルドシートが正しく取り付けられない 場合は、助手席側のリヤ席に取り付けてく ださい。
- ●助手席シートとチャイルドシートが干渉 しないように、助手席シートを調整してく ださい。



●やむを得ず助手席にチャイルドシートを取り付ける場合には、チャイルドシー トをうしろ向きに取り付けないでください。

うしろ向きに取り付けていると、事故などで助手席 SRS エアバッグがふくら んだとき、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがありま す。助手席側のサンバイザーに、同内容のラベルが貼られています。併せて参 照してください。



■チャイルドシートを取り付けるとき

● やむを得ず助手席に前向きにチャイルドシートを取り付ける場合には、助手席シートをいちばんうしろに下げて取り付けてください。

助手席SRSエアバッグはかなりの速度と力でふくらむので、お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。



- ジュニアシートを使用している場合は、肩部ベルトが常にお子さまの肩の中心にくるようにしてください。ベルトを首から離すと共に肩から落ちないようにしてください。 お守りいただかないと、事故や急ブレーキの際に重大な傷害におよぶか、 最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- ●ISOFIX 対応チャイルドシート固定専用バーを使用するときは、周辺に障害物がないか、シートベルトが挟まっていないかなどを確認してください。

■チャイルドシートを使用しないとき

- ●車両にチャイルドシートを搭載するときは、適切な方法で確実にシートに取り付けてください (→ P. 53, 54)。チャイルドシートを使用しない場合でも、シートにしっかり固定されていない状態で、客室内に置くことは避けてください。
- ●チャイルドシートの取りはずしが必要な場合は、車両から降ろして保管するか、トランク内に収納し、しっかりと固定しておいてください。

⚠ 注意

■トップテザーアンカーについて

使用しないときはフタを確実に閉めてください。開けたままにしておくとフタ が破損するおそれがあります。

排気ガスに対する注意

排気ガスには吸引すると人体に有害な物質が含まれています。



排気ガスには無色・無臭で有害な一酸化炭素(CO)が含まれているため、次のことを必ずお守りください。

お守りいただかないと、排気ガスが車内に侵入し、多量の排気ガスが眠気を招き 事故の原因となるほか、重大な健康障害におよぶか、最悪の場合死亡につながる おそれがあります。

■走行中の留意事項

トランクを閉じてください。

トランクが閉じているのに車内で排気ガス臭がするときは、ドアガラスを開けて空気を入れかえ、すみやかにトヨタ販売店で点検整備を受けてください。

■駐車するとき

- ●車庫内など換気が悪い場所や囲まれた場所では、エンジンを停止してください。
- ●長時間エンジンが作動したままにしないでください。 やむを得ないときは、開かれた場所に車を停め、排気ガスが車内に入ってこないことを確認してください。
- ●降雪時や雪が積もった場所では、エンジンが作動したままにしないでください。まわりに積もった雪で排気ガスが滞留して、車内に侵入するおそれがあります。

■排気管について

排気管は定期的に点検する必要があります。排気管等の腐食などによる穴や亀裂、および継ぎ手部の損傷、また、排気音の異常などに気付いた場合は、必ずトヨタ販売店で点検を受けてください。

エンジンイモビライザーシステム*

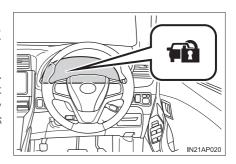
キーに信号発信機が内蔵してあり、あらかじめ登録されたキー以外では エンジンを始動できません。

車両から離れる場合は、車内にキーを残さないでください。

このシステムは車両盗難の防止に寄与する機能であり、すべての車両盗難に対する完全なセキュリティを保証するものではありません。

エンジンスイッチを OFF にすると、 システムの作動を知らせるために インジケーターが点滅します。

登録されたキーを携帯し、エンジンス イッチをアクセサリーモード、または イグニッション ON モードにするとシ ステムが解除され、インジケーターが 消灯します。



__ 知識

■メンテナンスについて

エンジンイモビライザーシステムのメンテナンスは不要です。

- ■システムが正常に作動しない場合
 - ●キーが金属製のものに接したり、覆われているとき
 - ●キーが他の車両のセキュリティシステム用キー(信号発信機内蔵キー)と重なっているときや接近しているとき

⚠ 注意

■エンジンイモビライザーシステムを正常に作動させるために

システムの改造や取りはずしをしないでください。システムが正常に作動しないおそれがあります。

★:グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

メーターの見方

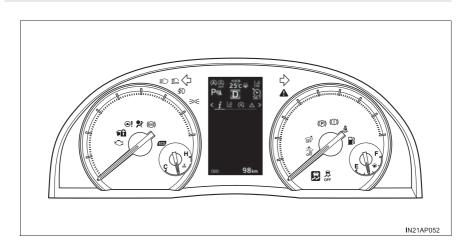
2

2. 計器の見方

警告灯/表示灯	62
計器類	66
マルチインフォメーション	
ディスプレイ	70

警告灯/表示灯

メーター内の警告灯/表示灯でお車の状況をお知らせします。 次のイラストは、説明のためすべての警告灯/表示灯を示しています。



警告灯

システム異常などを警告します。



ブレーキ警告灯 (→ P. 324)



燃料残量警告灯 (→ P. 325)



エンジン警告灯 (→ P. 324)



油圧警告灯 (→ P. 325)



SRS エアバッグ/ プリテンショナー警告灯 (→ P. 324)



シートベルト非着用警告灯 (→ P. 325)



ABS& ブレーキアシスト警 告灯 (→ P. 324)



マスターウォーニング (→ P. 325)



充電警告灯 (→ P. 325)



パワーステアリング警告灯 (→ P. 324)



PCS 警告灯★ (→ P. 325)

(点滅)

パーキングブレーキ 表示灯 (→ P. 326)

(元/)%



スリップ表示灯 (→ P. 326) ※ 1 ◇ ▲ OFF (点滅)

ICS OFF 表示灯* (→ P. 326)

* 1, 2



Stop & Start キャンセル 表示灯[★] (→ P. 214)



ブレーキオーバーライドシステム/ドライブスタートコントロール/インテリジェントクリアランスソナー★警告灯(→P.326)

- ※ ¹ 作動確認のためにエンジンスイッチ " ON "★またはイグニッションON モード★にすると点灯し、数秒後またはエンジンをかけると消灯します。点灯しない場合や点灯したままのときはシステム異常のおそれがあります。トヨタ販売店で点検を受けてください。
- **² マルチインフォメーションディスプレイに表示されます。

表示灯

システムの作動状況を表示します。



方向指示表示灯 (→ P. 142)



スリップ表示灯 (→ P. 226)



尾灯表示灯 (→ P. 144)



VSC OFF 表示灯 (→ P. 226)



ハイビーム表示灯 (→ P. 144)



PCS 警告灯★ (→ P. 167)



オートマチックハイビーム 表示灯★ (→ P. 183)



クルーズコントロール 表示灯**★** (→ P. 189)



フロントフォグランプ 表示灯★ (→ P. 149)



セキュリティ表示灯★ (→ P. 60)



エコドライブ インジケーターランプ (→ P. 75)



低温表示灯 (→ P. 66)



クリアランスソナー表示灯**★** (→ P. 193)



パーキングブレーキ 表示灯 (→ P. 143)



ICS OFF 表示灯★ (→ P. 203)



Stop & Start キャンセル 表示灯[★] (→ P. 214)

(A)

Stop & Start 表示灯★ (→ P. 213)



LDA (レーン ディパーチャーアラート) ★ 表示灯 (→ P. 178)

SET

クルーズコントロール セット表示灯[★] (→ P. 189)



オートマチックハイビーム 表示灯[★] (→ P. 183)

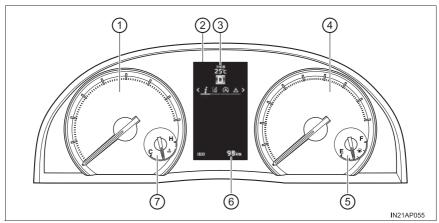
★:グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

- ※ 1 作動確認のためにエンジンスイッチを "ON" ★またはイグニッション ON モード★にすると点灯し、数秒後またはエンジンをかけると消灯します。点灯しない場合や点灯したままのときはシステム異常のおそれがあります。トヨタ販売店で点検を受けてください。
- ※2 マルチインフォメーションディスプレイ内に表示されます
- ※3 システムが OFF のときに点灯します。
- ※ ⁴ 外気温が約 3 ℃以下のとき、10 回点滅後に点灯します。

■安全装置の警告灯が点灯しないとき

ABS や SRS エアバッグなど安全装置の警告灯がエンジンスイッチを "ON"(スマートエントリー&スタートシステム非装着車)、またはイグニッションONモード(スマートエントリー&スタートシステム装着車)にしても点灯しない場合や点灯したままの場合は、事故にあったときに正しく作動せず、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。

計器類



(1) タコメーター

毎分のエンジン回転数を示します。

- ② マルチインフォメーションディスプレイ
 - ・ 走行に関するさまざまな情報を表示します。(→ P. 70)
 - ・システムの故障や誤った操作をしたときの警告、メンテナンスが必要であることをお知らせするメッセージが表示されます。(→ P. 328)
- ③ 外気温表示

外気温を -40 \mathbb{C} ~ 50 \mathbb{C} の間で表示します。外気温が約3 \mathbb{C} 以下になると、低温表示灯(→ P. 64)が点灯し、5 \mathbb{C} 以上になると消灯します。

④ スピードメーター

車両の走行速度を示します。

(5) 燃料計

燃料残量を示します。次の場合、実際の燃料残量が正しく表示されないことがあります。

- ・少量給油(約5 L以下)を行ったとき
- ・坂道など傾いた場所に停車したとき
- ・坂道やカーブを走行したとき

2

⑥ オドメーター/トリップメーター

オドメーター:

走行した総距離を km の単位で表示します。

トリップメーター:

リセットしてからの走行距離を km の単位で表示します。区間距離は、トリップA・トリップBの2種類で使い分けることができます。

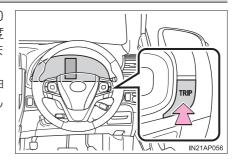
(7) 水温計

エンジン冷却水の温度を示します。

|表示の切りかえ(オドメーター/トリップメーター)

スイッチを押すごとに表示が ODO \rightarrow TRIPA \rightarrow TRIPB \rightarrow メータ照度 調整 \rightarrow 非表示の順に切りかわります。

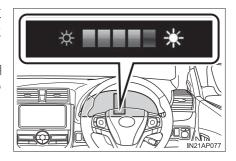
また、トリップメーター表示中に押し続けると、走行距離を O にもどします。



■ メータ照度調整

メーター照度調整を表示中に TRIP スイッチを押し続けること でメーター照度が調整できます。

車幅灯消灯時と点灯時それぞれの明るさレベルを調整することができる



□ 知識

■メーター・ディスプレイの作動条件

▶スマートエントリー&スタートシステム非装着車

エンジン スイッチが "ON"のとき

▶ スマートエントリー&スタートシステム装着車

エンジンスイッチがイグニッション ON モードのとき

■メーター照度の切りかえについて

車幅灯が点灯・消灯すると、メーターの明るさが切りかわります。 ただし、周囲が明るいとき(昼間など)に車幅灯を点灯しても、メーターの明る さは切りかわりません。

■メーター照度調整について

車幅灯消灯時と点灯時それぞれの明るさのレベルを調節することができます。

■外気温表示について

- ●次の場合は、正しい外気温が表示されなかったり、温度表示の更新が遅くなったりすることがありますが、故障ではありません。
 - ・停車しているときや、低速走行(約 20km/h 以下)のとき
 - ・外気温が急激に変化したとき(車庫・トンネルの出入り口付近など)
 - ・ "--" または "E" が表示されたときは、システム故障のおそれがあります。 トヨタ販売店で点検を受けてください。
 - ・外気温が 0 ℃以下のとき を押しても冷房・除湿機能が働かない場合が あります。

■液晶ディスプレイについて

ディスプレイに小さな斑点や光点が表示されることがあります。これは液晶ディスプレイ特有の現象でそのまま使用しても問題ありません。

2

▲ 警告

■低温時の画面表示について

画面の温度が極めて低いときは、画面表示の切りかえが遅れる場合があります ので、車室内を暖めてからご使用ください。

例えばシフトレンジ表示を使用した場合、シフト操作をしてもすぐにシフトレンジの表示が切りかわらないことで運転者がダウンシフトしなかったと誤解し、再度ダウンシフトすることによって急激に過度のエンジンブレーキがかかり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

注意

■エンジンや構成部品への損傷を防ぐために

- タコメーターの針がレッドゾーン(エンジンの許容回転数をこえている範囲) に入らないようにしてください。
- 水温計の針がHのレッドゾーンに入ったときは、オーバーヒートのおそれがあるため、ただちに安全な場所に停車してください。完全に冷えたあと、エンジンを確認してください。(→P. 354)

マルチインフォメーションディスプレイ

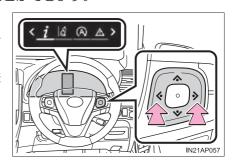
表示内容

マルチインフォメーションディスプレイは、車両に関するさまざまな情報を表示したり、設定したりすることができます。

● メニューアイコン

アイコンを選択して各項目を表示させ ます。(→ P. 71)

項目によっては状況に応じて自動で表示されます。



i ドライブインフォメーション

走行に関するさまざまな情報を表示します。(→ P. 72)

LDA(レーンディパーチャーアラート)作動表示★

LDA の作動状況を表示します。(→ P. 177)

A Stop & Start システム情報★

Stop & Start システムの作動状態を表示できます。(→ P. 213)

警告メッセージ

車両に異常が発生した場合に、内容・対処法などのメッセージを表示します。 (→ P. 328)

設定

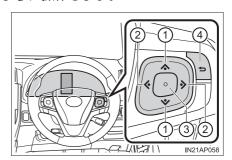
メーターの表示設定や、各システムの設定などを切りかえることができます。 (→ P. 74)

^{★:}グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

操作方法

メーター操作スイッチを使って次のように操作します。

- (1) ページ送り、カーソル移動
- ② メニューの切りかえ
- ③ 決定/設定
- (4) ひとつ前の画面にもどる



ドライブインフォメーション

メーター操作スイッチを操作することで項目を選択できます。

■ ドライブインフォメーション

下記の項目の中から、登録した画面を表示できます。 登録は設定画面から行えます。(→ P. 74)

項目		表示内容	
瞬間燃費	バー表示	現在の瞬間燃費をバーグラフで表示	
平均燃費※]	リセット間 ^{※ 2}	リセット後の平均燃費を表示	
	始動後	エンジン始動後の平均燃費を表示	
	給油後	給油後の平均燃費を表示	
平均車速	リセット間 ^{※ 2}	リセット後の平均車速を表示	
	始動後	エンジン始動後の平均車速を表示	
走行時間	リセット間 ^{※ 2}	リセット後の経過時間を表示	
	始動後	エンジン始動後の経過時間を表示	
距離	航続可能距離※3、4、5	燃料残量による走行可能な距離を表示	
	始動後	エンジン始動後の走行距離を表示	
その他	ブランク	表示なし	

- ※ ¹ 表示される平均燃費は参考として利用してください。
- **2 リセットするには、リセットしたい項目を表示中にメーター操作スイッチの 決定ボタン(→P. 71)を長押しします。
- ** ³ 表示される距離は過去の平均燃費をもとに算出されるため、表示される距離 を実際に走行できない場合があります。
- ** 4 燃料給油量が少量の場合、表示が更新されないことがあります。給油の際は エンジンスイッチを OFF にしてください。万一、エンジンスイッチを OFF にせず給油した場合、表示が更新されないことがあります。
- ** ⁵ 「給油してください」と表示されたときは、燃料残量が少ないため、航続可能 距離の計算ができません。この場合は、すみやかに給油してください。

■ 非表示

ドライブインフォメーションの表示をなしにします。

2

□ 知識

■バッテリーの脱着をしたとき

バッテリー端子の脱着を行うと、ドライブインフォメーションの一部のデータ (メーター操作でリセット可能な項目)がリセットされます。

■ 画面の操作について

設定画面操作中に次の状態になると操作が一時中断されます。

- ●警告メッセージが表示されたとき
- 走行し始めたとき

■割り込み表示について

次の機能の作動状況に応じてマルチインフォメーションディスプレイには、一時的に割り込み画面が表示されます。

- · Stop&Start システム作動時間★
- ・Stop&Start システム状態通知[★] 割り込み表示の ON / OFF を設定できます。(→ P. 71)

■液晶ディスプレイについて

→ P. 68

設定

各装備の機能の ON / OFF や設定変更などができます。

■ 設定変更のしかた

- 1 メーター操作スイッチの 🌣 にカーソルを合わせる。
- 2 設定変更したい項目をメーター操作スイッチで選択する。

項目		設定内容	設定結果	
P <i>n</i> <u>≜</u> *		On	クリアランスソナーを ON / OFF で	
		Off	きます。(→ P. 193)	
⇔ <u>*</u> *		On	インテリジェントクリアランスソナー を ON / OFF できます。(→ P. 203)	
		Off		
車線逸脱警報★		高い	LDA(レーンディパーチャーアラー	
		普通	ト)の警報感度を切替できます。	
先行車 発進 ★	告知設定	On		
		Off	先行車発進告知の ON/OFF と告知タ イミングを調整できます。	
	告知 タイミング	早い		
		普通		
		遅い		
(A)*		LONG	エアコンが ON のときのアイドリング ストップ時間を切替できます。 (→ P. 219)	
		NORMAL		
ECO		On	エコドライブインジケーターランプ (→ P. 75) を ON / OFF できます。	
		Off		

^{★:}グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

項目 設定内容		設定結果	
ドライブインフォ 1		ドライブインフォ 1、ドライブイン フォ 2 にそれぞれ 2 項目ずつお好みの	
ドライブインフォ 2		画面を登録できます。	
割込表示	A 作動時間★	選択した機能の割り込み表示 (→ P. 73) を ON / OFF できます。	
司心农小	A 状態通知★		
表示設定初期化	はい	メーターの表示設定を工場出荷時の状態に戻すことができます。	
1X/1/0X/C1/07#016	いいえ		

□ 知識

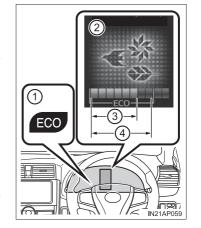
■エコドライブインジケーター

① エコドライブインジケーターランプ

環境に配慮した運転をしているとき、エコドライブインジケーターランプが点灯します。必要以上にアクセルペダルを踏んだときや停車中は消灯します。

- ② エコドライブインジケーターゾーン表示 エコ運転の範囲と現状のアクセル開度を 表示します。
- ③ 現状のアクセル開度

現状のアクセル開度がエコ運転の範囲をこえたとき、エコドライブインジケーターゾーン表示の右側が点灯します。 このとき、エコドライブインジケーターランプは消灯します。



④ エコ運転の範囲

次の場合、エコドライブインジケーターは作動しません。

- ●シフトレバーが D 以外にあるとき
- ●車速が約 100km/h 以上のとき

★:グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

A 警告

■走行中の警告

メーター操作スイッチを使うときは、安全のため走行中に極力操作をしないでください。走行中の操作はハンドル操作を誤るなど思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

車を停車させてから操作をしてください。なお、走行中に画面を見るときは、 必要最小限の時間にしてください。

■ディスプレイの設定を変更するとき

エンジンがかかった状態で操作を行うため、車庫内など囲まれた場所では、十分に換気をしてください。換気をしないと、排気ガスが充満し、排気ガスに含まれる一酸化炭素(CO)により、重大な健康障害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

⚠ 注意

■ディスプレイの設定を変更するとき

バッテリーあがりを起こす可能性がありますので、確実にエンジンがかかった状態で実施してください。

各部の操作

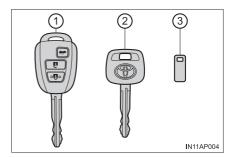
3-1. +-
‡78
3-2. ドアの開閉、ロックのしかた
ドア
(フロントドア・リヤドア)82
トランク87
スマートエントリー&
スタートシステム91
3-3. シートの調整
フロントシート97
リヤシート100
ヘッドレスト104
3-4. ハンドル位置・ミラー
ハンドル106
インナーミラー108
ドアミラー109
3-5. ドアガラスの開閉
パワーウインドウ113

キー

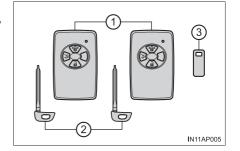
キーについて

お客様へ次のキーをお渡しします。

- ▶ スマートエントリー&スタートシステム非装着車
- キー (ワイヤレス機能装着)
 ワイヤレス機能の作動 (→ P. 79)
- ② キー (ワイヤレス機能非装着)
- ③ キーナンバープレート

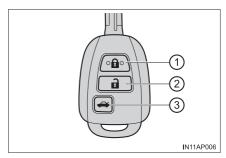


- ▶ スマートエントリー&スタートシステム装着車
- (1) 電子キー
 - スマートエントリー&スタートシステムの作動(→P.82)
 - ・ワイヤレス機能の作動 (→ P. 79)
- ② メカニカルキー
- ③ キーナンバープレート

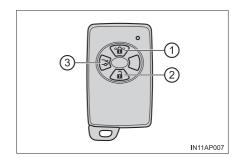


ワイヤレスリモコン

- ▶ スマートエントリー&スタートシステム非装着車
- (1) 全ドアを施錠する
- ② 全ドアを解錠する
- ③ トランクを解錠する



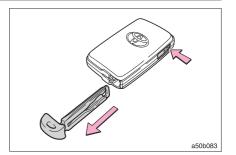
- ▶ スマートエントリー&スタートシステム装着車
- (1) 全ドアを施錠する
- (2) 全ドアを解錠する
- (3) トランクを解錠する



メカニカルキーを使うには(スマートエントリー&スタートシステム装 着車)

メカニカルキーを取り出すには、解除ボタンを押してキーを取り出す

使用後はもとにもどし、電子キーと一緒に携帯してください。電子キーの電池が切れたときや、スマートエントリー&スタートシステムが正常に作動しないとき、メカニカルキーが必要になります。(→ P. 346)



□ 知識

■キー(スマートエントリー&スタートシステム非装着車)またはメカニカルキー (スマートエントリー&スタートシステム装着車)を紛失したとき

キーナンバープレートに打刻されたキーナンバーと残りのキーまたはメカニカルキーから、トヨタ販売店でトヨタ純正品の新しいキーまたはメカニカルキーを作ることができます。

キーナンバープレートは車の中以外の安全な場所(財布の中など)に保管してください。

■航空機に乗るとき

航空機にキーを持ち込む場合は、航空機内でキーのスイッチを押さないでください。

また、かばんなどに保管する場合でも、簡単にスイッチが押されないように保管 してください。スイッチが押されると電波が発信され、航空機の運行に支障をお よぼすおそれがあります。

■電池の消耗について

▶スマートエントリー&スタートシステム非装着車

電池の標準的な寿命は $1 \sim 2$ 年です(ワイヤレスリモコンを使用しなくても電池は消耗します)

ワイヤレス機能が作動しなかったり、作動範囲が狭くなったりする場合は、電池が消耗している可能性があります。電池が弱ったら新しい電池に交換してください。(→ P. 292)

▶スマートエントリー&スタートシステム装着車

電池の標準的な寿命は 1 ~ 2 年です(電子キーを使用しなくても電池は消耗します)。スマートエントリー&スタートシステムやワイヤレス機能が作動しなかったり、作動範囲が狭くなったりする場合は、電池が消耗している可能性があります。新しい電池に交換してください。(→ P. 292)

- ■電池残量が少なくなると、マルチインフォメーションディスプレイに「キーバッテリー残りわずか」と表示されます。新しい電池と交換してください。(→ P. 292)
- ●電池の著しい消耗を防ぐため、次のような磁気を発生する電化製品の約 1 m 以内に電子キーを保管しないでください。
 - · TV
 - ・パソコン
 - ・携帯電話やコードレス電話機、および充電器
 - ・雷気スタンド
 - · 電磁調理器

⚠ 注意

■キーの故障を防ぐために

次のことをお守りください。

- ●落としたり、強い衝撃を与えたり、曲げたりしない
- ●温度の高いところに長時間放置しない
- ●ぬらしたり超音波洗浄器などで洗ったりしない
- ●キーに金属製または磁気を帯びた製品を取り付けたり、近付けたりしない
- ●分解しない
- キー表面にシールなどを貼らない
- ●テレビやオーディオ・電磁調理器などの磁気を帯びた製品や、低周波治療器などの電気医療機器の近くに置かない

■キー取り扱いの注意

ワイヤレスドアロックリモコンは電波法の認証に適合しています。 必ず以下のことをお守り下さい。

- ・電池交換時以外は、不用意に分解しないで下さい。分解、改造したものを 使用することは法律で禁止されています。
- ・必ず日本国内でご使用下さい。
- ■スマートエントリー&スタートシステム*の故障などで販売店に車両を持って いくとき

車両に付属しているすべての電子キーをお持ちください。

■電子キーを紛失したとき(スマートエントリー&スタートシステム装着車)

キーを紛失した状態で放置すると、盗難の危険性が極めて高くなります。車両に付属している残りのキーをすべてお持ちのうえ、ただちにトヨタ販売店にご相談ください。

^{★:}グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

ドア(フロントドア・リヤドア)

車外からの施錠/解錠

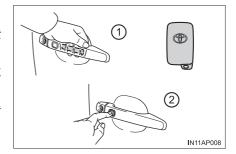
◆ スマートエントリー&スタートシステム*

電子キーを携帯して操作します。

① フロント席のドアハンドルを 握って解錠する

ハンドル裏面のセンサー部に確実にふれてください。

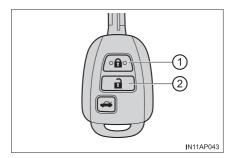
施錠操作後、約3秒間は、解錠できません。



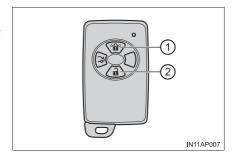
② フロント席のドアハンドル表面のロックスイッチを押して施錠する 必ず施錠されたことを確認してください。

◆ ワイヤレスリモコン

- ▶ スマートエントリー&スタートシステム非装着車
- ① 全ドアを施錠する 必ず施錠されたことを確認してくだ さい。
- (2) 全ドアを解錠する



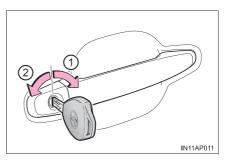
- ▶ スマートエントリー&スタートシステム装着車
- ① 全ドアを施錠する 必ず施錠されたことを確認してくだ さい。
- (2) 全ドアを解錠する



★:グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

◆ キー (運転席)

- ▶ スマートエントリー&スタートシステム非装着車
- (1) 全ドアを施錠する
- ② 全ドアを解錠する



▶ スマートエントリー&スタートシステム装着車 メカニカルキーを使ってドアを施錠・解錠できます。(→ P. 346)

知識

■作動の合図

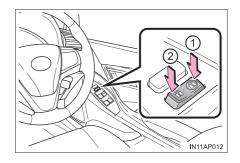
- ▶スマートエントリー&スタートシステム非装着車 非常点滅灯の点滅(施錠は1回、解錠は2回)で知らせます。
- ▶スマートエントリー&スタートシステム装着車 ブザーと非常点滅灯の点滅で知らせます。(施錠は1回、解錠は2回)
- ■解錠操作のセキュリティ機能(スマートエントリー&スタートシステム装着車) 解錠操作後、約30秒以内にドアを開けなかったときは、盗難防止のため自動的 に施錠されます。
- ■半ドア警告ブザー(スマートエントリー&スタートシステム装着車)

ドアが完全に閉まっていない状態でドアを施錠しようとすると、ブザーが鳴ります。ドアを完全に閉めてからもう一度施錠してください。

車内からの施錠/解錠

◆ ドアロックスイッチ

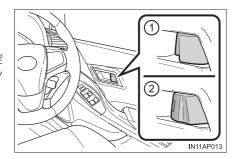
- (1) 全ドアを施錠する
- ② 全ドアを解錠する



◆ ロックレバー

- (1) ドアを施錠する
- (2) ドアを解錠する

運転席ドアは、ロックレバーが施錠 側になっていても、車内のドアハン ドルを引くと開けられます。



キーを使わずに外側からフロント席を施錠するとき

- 1 ロックレバーを施錠側にする
- [2] ドアハンドルを引いたままドアを閉める
 - ▶ スマートエントリー&スタートシステム非装着車

 *** がエンジン フィッチに振し込まれているとまけ物館されません
 - キーがエンジンスイッチに挿し込まれているときは施錠されません。
 - ▶ スマートエントリー&スタートシステム装着車

エンジンスイッチがアクセサリーモード、またはイグニッション ON モードのときや、車内に電子キーが放置されているときは施錠されません。

キーが正しく検知されずに施錠される場合があります。

チャイルドプロテクター

施錠側にすると、リヤ席ドアが車内から開かなくなります。

- (1) 解錠
- (2) 施錠

お子さまが車内からリヤ席ドアを開けられないようにできます。両側のリヤ 席ドアを施錠側にしてください。



□ 知識

■チャイルドプロテクター使用時のドアの開け方

ドアを解錠して車外のドアハンドルを引くと開きます。万一、車内から開ける場合は、ドアガラスを下げて手を出し、車外のドアハンドルを引いてください。

■機能が正常に働かないおそれのある状況

▶スマートエントリー&スタートシステム非装着車

次のような場合、ワイヤレス機能が正常に働かないおそれがあります。

- ●近くにテレビ塔や発電所・放送局・空港など、強い電波を発生する設備、電波式のオーディオ機器など電波を発生する電子機器・大型ディスプレイがあるとき
- ●無線機や携帯電話・コードレス式電話などの無線通信機器を携帯しているとき
- ●複数のワイヤレスキーが近くにあるとき
- ●ワイヤレスキーが金属製のものに接したり、覆われているとき
- ●近くで電波式ワイヤレスキーを使用しているとき
- ●ワイヤレスキーをパソコンなどの電化製品の近くに置いているとき
- ▶スマートエントリー&スタートシステム装着車
- → P. 94

■半ドア走行時警告ブザー

全ドアまたはトランクが確実に閉まっていない状態のまま、車速が約 5km/h をこえるとマスターウォーニングが点滅し、警告ブザーが鳴ります。開いているドアまたはトランクがマルチインフォメーションディスプレイに表示されます。

▲ 警告

■事故を防ぐために

運転中は次のことを必ずお守りください。 お守りいただかないと、不意にドアが開き車外に放り出されるなど、重大な傷害 におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- ●すべてのドアを確実に閉め施錠する
- ●走行中はドア内側のドアハンドルを引かない 特に、運転席はロックレバーが施錠側になっていてもドアが開くため、注意してください。
- お子さまをリヤ席に乗せるときは、チャイルドプロテクターを使用して車内 からドアが開かないようにする

■ドアを開閉するときの留意事項

傾斜地・ドアと壁などのあいだが狭い場所・強風など、周囲の状況を確認し、 予期せぬ動きにも対処できるよう、ドアハンドルを確実に保持してドアを開閉 してください。

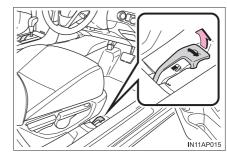
3

トランク

トランクオープナーやスマートエントリー&スタートシステム★、ワイヤレスリモコンを使って開けることができます。

車内からトランクを開けるに

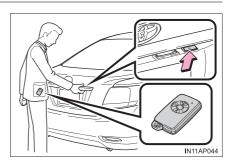
トランクオープナーを引き上げて、 トランクのロックを解除する



車外からトランクを開けるに

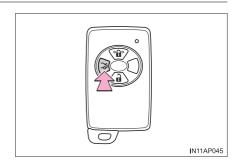
◆ スマートエントリー&スタートシステム*

電子キーを携帯し、トランクオー プンスイッチを押して解錠する



◆ ワイヤレスリモコン (スマートエントリー&スタートシステム装着車)

スイッチを押し続ける



★:グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

◆ ワイヤレスリモコン (スマートエントリー&スタートシステム非装着車)

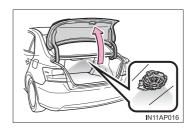
スイッチを押し続ける



□ 知識

■ラゲージルームランプ

トランクを開けたとき、ラゲージルームランプが点灯します。



■トランク内キー閉じ込み防止機能について (スマートエントリー&スタートシステム装着車)

全ドアが施錠されている状態で、トランク内に電子キーを置いたままトランクを 閉めると、警告音が鳴ります。この場合はスマートエントリー & スタートシス テム機能で開けることができます。

▲ 警告

次のことを必ずお守りください。

お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■走行する前に

- ●走行前にトランクが閉まっていることを必ず確認してください。 完全に閉まっていないと走行中に突然開き、車外のものにあたったり、荷物が 投げ出されたりして思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ▶ランクの中でお子さまを遊ばせないでください。誤って閉じ込められた場合、熱射病や窒息などを引き起こすおそれがあります。
- ●お子さまにはトランクの開閉操作をさせないでください。 不意にトランクリッドが開いたり、閉めるときに手・頭・首などを挟んだりす るおそれがあります。

■走行中の警告

- ●走行中はトランクを閉じてください。 開けたまま走行すると、トランクリッドが車外のものにあたったり荷物が投げ 出されたりして、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ●トランク内には絶対に人を乗せないでください。急ブレーキ・急旋回をかけたときや衝突したときなどに、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

▲ 警告

■トランクの使用にあたって

次のことを必ずお守りください。 お守りいただかないと、体を挟むなどして重大な傷害につながるおそれがあり 危険です。

- ●トランクを開ける前に、トランクリッド上の雪や氷などの重量物を取り除いてください。開いたあとに重みでトランクリッドが突然閉じるおそれがあります。
- ●トランクを開閉するときは、十分に周囲の安全を確かめてください。
- ●人がいるときは、安全を確認し動かすことを知らせる「声かけ」をしてください。
- ●強風時の開閉には十分注意してください。 トランクリッドが風にあおられ、勢いよく開いたり閉じたりするおそれがあります。
- ●半開状態で使用すると、トランクリッドが 突然閉じて重大な傷害を受けるおそれが あります。特に傾斜地では、平坦な場所よ りもトランクの開閉がしにくく、急にトラ ンクが開いたり閉じたりするおそれがあ ります。必ずトランクが全開で静止してい ることを確認して使用してください。
- ◆トランクを閉めるときは、トランクリッドで指などを挟まないよう十分注意してください。
- トランクは必ず外からトランクリッド上 面を軽く押して閉めてください。





●トランクリッドにトヨタ純正品以外のアクセサリー用品を取り付けないでください。トランクリッドの重量が重くなると、開いたあとに突然閉じるおそれがあります。

スマートエントリー&スタートシステム*

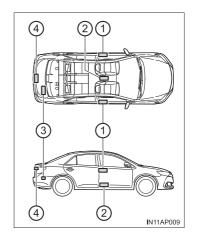
電子キーをポケットなどに携帯すると、次の操作が行えます。 (必ず運転者が携帯してください)

- ●ドアを解錠・施錠する (→ P. 82)
- トランクを解錠する(→P.87)
- エンジンを始動する (→ P. 134)

__ 知識

■アンテナの位置

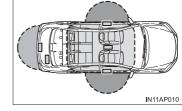
- ① 車外アンテナ
- ② 車内アンテナ
- ③ トランク内アンテナ
- ④ トランク外アンテナ



■作動範囲(電子キーの検知エリア)

: ドアの施錠・解錠時

フロント席ドアハンドルから周囲 約70 cm以内で電子キーを携帯し ている場合に作動します。(電子 キーを検知しているドアハンドル のみ作動します)



● : トランクの解錠時

トランクオープンスイッチから周囲約70 cm 以内で電子キーを携帯し ている場合に作動します。

: エンジン始動時またはモード切りかえ時

車内で電子キーを携帯している場合に作動します。

■節電機能

電子キーの電池と車両のバッテリー保護のため、次の状況ではスマートエント リー&スタートシステムを停止します。

- ●2週間以上スマートエントリー&スタートシステムを使用しなかった
- ●車両の外約 1 m 以内に電子キーを 10 分以上放置した

次のいずれかを行うと、スマートエントリー&スタートシステムが復帰しま す。

- ●電子キーを携帯し、ドアハンドル上のロックスイッチで施錠する
- ●ワイヤレス機能で施錠・解錠する(→ P. 79)
- ■メカニカルキーで施錠・解錠する(→ P. 346)

■警告音と警告灯、警告メッセージについて

誤操作などによる予期せぬ事故や盗難を防ぐため、警告音が鳴ったり、警告灯が 点灯したりマルチインフォメーションディスプレイにメッセージが表示される ことがあります。警告灯が点灯したりマルチインフォメーションディスプレイに メッセージが表示された場合は、状況に応じて適切に対処してください。 (→P. 328)

警告音のみが鳴る場合の状況と対処方法は次の通りです

警告音	状況	対処方法
車外から "ピー" と 約2秒間鳴る	車内に電子キーを置いたまま、 スマートエントリー&スタート システムでドアを施錠しようと した	車内から電子キーを取り出したあと、再度施 錠してください。
	全ドアが施錠されている状態で 電子キーをトランク内に置いた ままトランクを閉じた	トランク内から電子 キーを取り出したあ と、トランクを閉じて ください。(→P.88)
車外から "ピー" と 約 60 秒間鳴る	エンジンスイッチをOFFにせずに、電子キーを外に持ち出してドアをスマートエントリー&スタートシステムで施錠しようとした	エンジンスイッチを OFF にしたあと、再度 施錠してください。
車外から "ピー" と 約5秒間鳴る	いずれかのドアが開いていると きにスマートエントリー&ス タートシステムで施錠しようと した	全ドアを閉めたあと、 再度施錠してくださ い。
車内から"ピー"と 1回鳴る	電子キーの電池の残量が少ない	新しい電池と交換して ください。(→ P. 292)
車内から"ピー"と鳴り続ける	シフトレバーを P 以外の位置に したまま、運転席ドアを開けて 外に出ようとした	シフトレバーを P にし てください。
車内から"ピー、ピー"と鳴り続ける	運転席ドアが開いている状態で エンジンスイッチをアクセサ リーモードにした(アクセサ リーモードのとき運転席ドアを 開いた)	エンジンスイッチを OFF にしたあと、運転 席ドアを閉めてくださ い。
	運転席ドアが開いている状態で エンジンスイッチをOFFにした	運転席ドアを閉めてく ださい。

■機能が正常に働かないおそれのある状況

スマートエントリー&スタートシステムは微弱な電波を使用しています。次のような場合は電子キーと車両間の通信をさまたげ、スマートエントリー&スタートシステムやワイヤレスリモコン、エンジンイモビライザーシステム★が正常に作動しない場合があります。(対処方法:→P. 346)

- ●電子キーの電池が消耗しているとき
- ●近くにテレビ塔や発電所・ガソリンスタンド・放送局・大型ディスプレイ・空港があるなど、強い電波やノイズの発生する場所にいるとき
- ●無線機や携帯電話・コードレス式電話などの無線通信機器を携帯しているとき
- ●電子キーが金属製のものに接したり、覆われたりしているとき
- ●複数の電子キーが近くにあるとき
- ■電子キーを次のような電波を発信する製品と同時に携帯または使用しているとき
 - ・他の車の電子キー
 - ・電波式ワイヤレスリモコン
 - ・パソコン
- ●リヤガラスに金属を含むフィルムなどが貼ってあるとき

■システムを正しく作動させるために

電子キーを必ず携帯した上で作動させてください。また、車外から操作する場合は電子キーを車両に近付けすぎないようにしてください。

作動時の電子キーの位置や持ち方によっては、電子キーが正しく検知されず、システムが正しく作動しないことがあります。(誤って警告音が鳴ったり、キー閉じ込み防止機能が働かないこともあります)

^{★:}グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

■ご留意いただきたいこと

- ■電子キーが作動範囲内(検知エリア内)にあっても、次のような場合は正しく 作動しないことがあります。
 - ・ドアの施錠・解錠時に電子キーがドアガラスやドアハンドルに近付きすぎる、 または地面の近くや高い場所にある場合
 - ・トランクの解錠時に電子キーが地面の近くや高い場所にある、またはリヤバンパー中央に近付きすぎた場合
 - ・エンジン始動時またはモード切りかえ時に、電子キーがインストルメントパネルやフロア上・リヤシート後方のパッケージトレイ上、またはグローブボックス内などに置かれていた場合
- ●インストルメントパネル上面・ドアポケット付近に電子キーを置いたまま車外に出ると、電波の状況によっては車外アンテナに検知されて車外からのドアロックが可能になる場合があり、電子キーが車内に閉じ込められるおそれがあるため注意してください。
- ■電子キーが作動範囲内にあれば、電子キーを携帯している人以外でも施錠・解錠できます。
- ●車外でもドアガラスに近い位置に電子キーがあるときは、エンジン始動が可能になる場合があります。
- ●電子キーが作動範囲内にある場合、洗車や大雨などでドアハンドルに大量の水がかかると、ドアが解錠することがあります。(ドアの開閉操作がなければ約30秒後に自動的に施錠されます)
- ●手袋を着用していると、ドアハンドルを握っても解錠されない場合があります。
- ●車両に近い位置に電子キーがあるときにワイヤレス機能などで施錠を行うと、 スマートエントリー&スタートシステムによる解錠ができなくなることがあります。(ワイヤレス機能を使って解錠すると復帰します)
- ●車外アンテナの作動範囲(→ P. 92)内への急な接近や、急なドアハンドル操作をしたときは、解錠されないことがあります。その場合は、ドアハンドルを一度もとの位置にもどし、解錠されたことを確認してからドアハンドルを引いてください。

■長期間運転しないとき

盗難防止のため、電子キーを車両から2m以上離しておいてください。

■スマートエントリー&スタートシステムが正常に作動しないとき

- ●ドアの施錠・解錠: → P. 346
- ●モードの切りかえ・エンジンの始動:→P.346

■カスタマイズ機能

スマートエントリー&スタートシステムを非作動にするなどの変更ができます。 (カスタマイズ一覧: → P. 367)

▲ 警告

■電波がおよぼす影響について

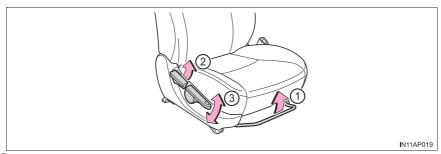
- 植込み型心臓ペースメーカー、植込み型両心室ペーシングパルスジェネレータおよび植込み型除細動器を装着されている方は、車内アンテナ・車外アンテナ(→P.91)から約22cm以内に近付かないようにしてください。電波により植込み型心臓ペースメーカー、植込み型両心室ペーシングパルスジェネレータおよび植込み型除細動器の作動に影響を与えるおそれがあります。
- 植込み型心臓ペースメーカー、植込み型両心室ペーシングパルスジェネレータ および植込み型除細動器以外の医療用電気機器を使用される場合は、電波によ る影響について医療用電気機器製造業者などに事前に確認してください。電波 により医療用電気機器の動作に影響を与えるおそれがあります。

スマートエントリー&スタートシステムを非作動にすることもできます。 詳しくはトヨタ販売店にお問い合わせください。

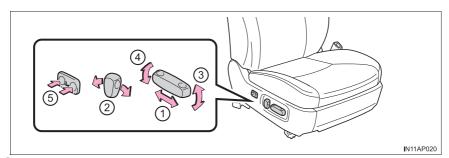
フロントシート

調整のしかた

▶ マニュアルシート



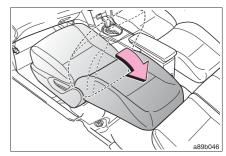
- (1) 前後位置調整
- (2) リクライニング調整
- ③ シート全体の上下調整(運転席のみ)
 - ▶ 運転席パワーシート★



- 1 前後位置調整
- ② リクライニング調整
- ③ クッション前端の上下調整
- 4 シート全体の上下調整
- (5) 腰部硬さ調整 (ランバーサポート)

フラットシート※にするには

- 1 車を停止させ、しっかりとパーキングブレーキをかける
- 2 フロントシートのヘッドレストをはずす (→ P. 104)
- 3 フロントシートをいちばん前まで移動させる (→ P. 97)
- 4 フロントシートの背もたれを後方いっぱいまで倒す (→ P. 97)



- 5 もとにもどすときは、逆の手順で操作する
- ** 運転席パワーシートは、フラットにすることはできません。

□知識

■シートヒーター★

→ P. 251

▲ 警告

■シートを調整するとき

- ●同乗者がシートにあたってけがをしないように注意してください。
- ●シートの下や動いている部分に手を近付けないでください。 指や手を挟み、重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

■リクライニング調整について

- ●背もたれは必要以上に倒さないでください。 必要以上に倒しすぎると、事故のときに体がシートベルトの下にもぐり、腹 部などに強い圧迫を受けたり肩部ベルトが首にかかるなどして、重大な傷害 におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- ●マニュアルシートの調整後は、シートが確実に固定されていることを確認してください。

■フラットシートについて

フラットにした状態で人や荷物をのせて走行しないでください。

1 注意

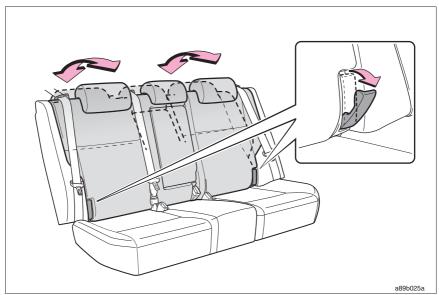
■フラットシートについて

- ●マニュアルシートの背もたれをもどすときは、背もたれを押さえながらリクライニング調整を行ってください。
- ●フラットにした状態でシートの上を走りまわらないでください。またシートの上を移動するときは、シートの中央を踏んでゆっくり移動してください。

★:グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

ヤシート

調整のしかた



ロックが確実に解除されるまでレバーを引いてください。

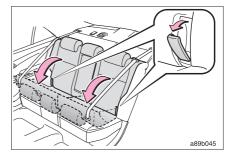
リヤシートの前倒し・折りたたみをする前に

- 1 フロントシートを前方に移動する(→ P. 97)
- |**2**| リヤ中央席用シートベルトを分離・格納する(→ P. 27)| 助手席側のシートのみを操作する場合、この手順は不要です。
- 3 ヘッドレストをいちばん下に下げる (→ P. 104)
- **4** リヤセンターアームレストを格納する(→ P. 268) 助手席側のシートのみを操作する場合、この手順は不要です。

リヤシートの前倒し

レバーを引きながら、背もたれを前 方に倒す

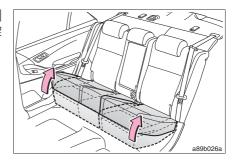
もどすときは背もたれを起こし、固定してください。



リヤシートの折りたたみ

■ 折りたたむとき

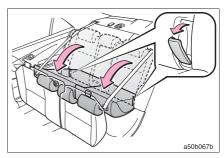
1 シートクッション前端の外側 部分を持ち上げて、ロックを解 除する



2 シートクッションを引き起こす

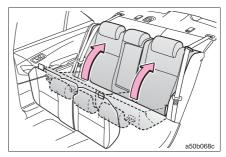


3 レバーを引きながら、背もたれ を前方に倒す



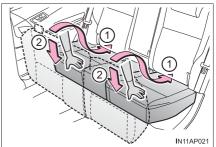
■ もどすとき

1 背もたれを起こし、固定する



② シートクッション後部を背もたれの下端に挿し込み(①)、シートクッション前端を押さえ付けてロックする(②)

シートベルト・バックルがシートクッションの下に挟み込まれていないことを確認してください。



▲ 警告

■リヤシートを操作する

次のことを必ずお守りください。

お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- ●走行中に背もたれの前倒しや折りたたみなどの操作をしない
- ●平坦な場所でパーキングブレーキを確実にかけ、シフトレバーをPにする
- ●操作中は、パッケージトレイとまわりの部品とのあいだに指や腕などを入れない
- ●倒した背もたれの上やトランクに人を乗せて走行しない
- ●お子さまがトランクに入らないよう注意する

■リクライニング調整について

背もたれを必要以上に倒さないでください。

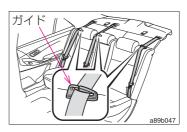
必要以上に倒しすぎると、事故のときに体がシートベルトの下にもぐり、腹部などに強い圧迫を受けたり肩部ベルトが首にかかるなどして、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

▲ 警告

■背もたれをもとの位置にもどしたあとは

次のことを必ずお守りください。 お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながる おそれがあります。

- シートを前後に軽くゆさぶり、確実に固定する
- シートベルトが挟み込まれていないか確認する
- ●中央席用シートベルトを分離したときは、もとどおりに結合する(→ P. 27)
- シートベルトがガイドに通っていること を確認する



⚠ 注意

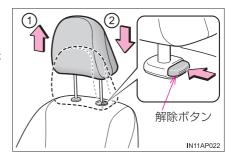
■シートを操作する

- ●可動部や結合部に手や足などを挟まないように注意してください。
- ●シートに人が乗っている状態でシートアレンジ操作をしないでください。

ヘッドレスト

- ① 上げる
- ② 下げる

下げるときは、解除ボタンを押しながら操作します。



__ 知識

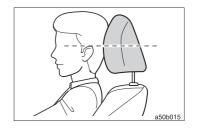
■ヘッドレストを取りはずすとき

解除ボタンを押しながら取りはずします。



■フロント席のヘッドレストの高さについて

必ずヘッドレストの中心が両耳のいちばん 上のあたりになるよう調整してください。



■リヤ席のヘッドレストの使用について

使用するときは、常に格納位置 (ヘッドレストが最も下がった位置) から一段上げた位置にしてください。

▲ 警告

■ヘッドレストについて

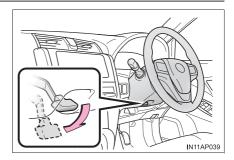
次のことをお守りください。 お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながる おそれがあります。

- ●ヘッドレストは、それぞれのシート専用のものを使用する
- ●ヘッドレストを正しい位置に調整する
- ●ヘッドレストを調整したあとは、ヘッドレストを押し下げて固定されていることを確認する
- ●ヘッドレストをはずしたまま走行しない

ハンドル

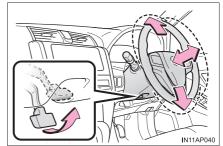
調整のしかた

1 ハンドルを持ち、レバーを下げる



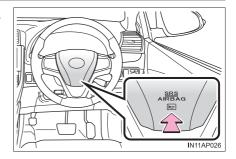
2 ハンドルを上下・前後に動かし適切な位置にする

位置が決定したら、レバーを上げてハ ンドルを固定してください。



ホーン(警音機)

ハンドルの **▶** 周辺部を押すとホーンが鳴ります。



□ 知識

■ハンドル位置を調整したあとは

ハンドルが確実に固定されていることを確認してください。 固定が不十分だと、ホーンが鳴らない場合があります。



■走行中の警告

走行中はハンドル位置の調整をしないでください。 運転を誤り、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■ハンドル位置を調整したあとは

ハンドルが確実に固定されていることを確認してください。 固定が不十分だとハンドルの位置が突然かわり、思わぬ事故につながり、重大 な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

インナーミラー

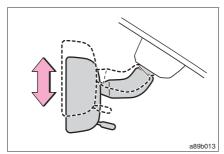
後方を十分に確認できるようにミラーの位置を調整することができます。

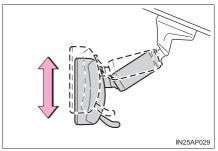
上下調整のしかた

運転姿勢に合わせてインナーミラーの高さを調整することができます。

▶ タイプ A







インナーミラー本体を持って、上下方向に調整する

防眩機能

レバーを操作することで、後続車のヘッドランプによる反射光を減少させます。

- 1 通常使用時
- ② 防眩時



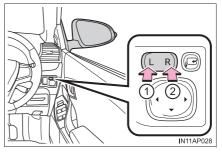
▲ 警告

運転中はミラーの調整をしないでください。 運転を誤って、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

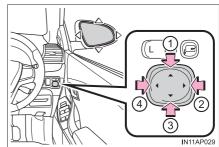
ドアミラー

調整のしかた

- 1 調整するミラーを選ぶには、スイッチを押す
 - ① 左
 - ② 右



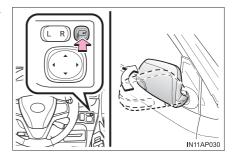
- **2** ミラーの鏡面を調整するには、ス イッチを押す
 - ① 上
 - 2)右
 - ③ 下
 - (4) 左



ドアミラーを格納する

スイッチを押して、ドアミラーを格 納する

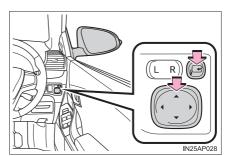
もう一度押すと、もとの位置にもどります。



オート作動

スマートエントリー&スタートシステムやワイヤレスリモコンによるドアの施錠・解錠に連動して、ドアミラーを自動的に格納・復帰します。次の手順でオート作動を停止できます。

- 1 エンジンスイッチを "LOCK" (スマートエントリー&スタートシステム非装着車) または OFF (スマートエントリー&スタートシステム装着車) にする
- 2 電動格納スイッチと鏡面調整ス イッチの上側を、同時に約 2 秒 以上押す
 - もう一度同じ操作をすると、オー ト作動が復帰します



リバース連動機能について

ミラー選択スイッチのLまたはRどちらかが選択されているときは、後退時に鏡面が下向きになり、下方が見やすくなります。この機能を使用しないときは、ミラー調整スイッチを中立の位置(L·Rとも選択していない状態)にしてください。

■ 後退時に下向きになる角度を調整するとき

シフトレバーを R に入れた状態で、鏡面位置を調整することで、下向きに動く角度を調整できます。次回からシフトレバーを R にするたびに、その角度で作動します。

通常時(シフトレバーが R 以外のとき)の鏡面位置を基準に下向きに動く角度を記憶するため、調整後に通常時の鏡面位置を変更すると、それに伴って後退時の鏡面位置も変化します。通常時の鏡面位置を変更したときは、後退時に下向きになる角度も調整してください。

□知識

■作動条件

- ▶スマートエントリー&スタートシステム非装着車
- エンジン スイッチが "ACC" または "ON" のとき
- ▶スマートエントリー&スタートシステム装着車

エンジンスイッチがアクセサリーモード、またはイグニッション ON モードのとき

■バッテリー端子の脱着をしたとき

オート電動格納機能の設定がリセットされ、ON の状態にもどります。機能をOFF にするときは、再度、オート電動格納機能のON・OFF 切りかえを行ってください。

■ミラーが曇ったとき(ミラーヒーター装着車)

ミラーヒーターを作動させて、曇りを取ることができます。(→ P. 237, 244)

■寒冷時に「オート作動」で使用するとき

寒冷時に「オート作動」で使用しているとき、ドアミラーが凍結すると、自動で 格納・復帰ができないことがあります。この場合、ドアミラーに付着している氷 や雪などを取り除いたあと、「マニュアル作動」で作動させるか、手で動かして ください。

■レインクリアリングミラー(寒冷地仕様車)

鏡面に付着した水滴を膜状に広げる親水効果を持つコーティングを施しており、 雨天時における後方視認性を向上させます。

- ●鏡面に汚れなどが付着したときや、地下や屋内駐車場などの日のあたらない場所に長時間駐車したときなどは親水効果が低下しますが、晴天時に 1・2 日間太陽光をあてることで親水効果は徐々に回復します。
- ●低下した親水効果を早く回復させたいときは回復作業 (→ P. 273) を行ってください。

▲ 警告

■走行中の留意事項

走行中は次のことを必ずお守りください。 お守りいただかないと、運転を誤って重大な傷害におよぶか、最悪の場合死 亡につながるおそれがあります。

- ●ミラーの調整をしない
- ●ミラーを格納したまま走らない 走行前に必ず、運転席側および助手席側のミラーをもとの位置にもどして、正 しく調整する

■ミラーが動いているとき

手をふれないでください。手を挟んでけがや、ミラーの故障などの原因になるおそれがあります。

■ミラーヒーター★が作動しているとき

鏡面が熱くなるのでふれないでください。

⚠ 注意

■レインクリアリングミラーの取り扱いについて(寒冷地仕様車)

親水効果には限りがあります。長持ちさせるためには次のことをお守りください。

- ●シリコーン入りの撥水剤や油膜取り剤、ワックス、その他のカーメンテナンス 商品を使用する場合は、鏡面に付着させないよう十分注意してください。
- ●砂の付いた布、油膜取り剤、研磨剤など、鏡面を傷付けるものでこすらないでください。
- 鏡面が凍結したときは、温水をかけるか、ミラーヒーターを作動させるなどして解氷してください。

鏡面の凍結部分はプラスチックの板などで削り落とさないでください。

●撥水洗車を行ったときは、鏡面を大量の水で洗い、きれいなやわらかい布などでふき取ってください。

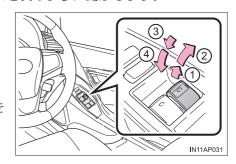
パワーウインドウ

開閉のしかた

スイッチでドアガラスを開閉できます。

スイッチを操作すると、ドアガラスを次のように動かします。

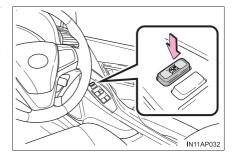
- (1) 閉める
- ② 自動全閉※
- (3) 開ける
- 4) 自動全開※
 - ※ 途中で停止するときは、スイッチを 反対側へ操作します。



ウインドウロックスイッチ

スイッチを押すと、運転席以外のド アガラスが作動不可になります。

お子さまが誤ってドアガラスを開閉することを防止できます。



□ 知識

■作動条件

- ▶スマートエントリー&スタートシステム非装着車
- エンジン スイッチが "ON"のとき
- ▶スマートエントリー&スタートシステム装着車
- エンジンスイッチがイグニッション ON モードのとき

■挟み込み防止機能

ドアガラスを閉めているときに、窓枠とドアガラスのあいだに異物が挟まると、作動が停止し、少し開きます。

■巻き込み防止機能

ドアガラスを開けているときに、異物がドアガラスとドアのすき間に巻き込まれると、作動が停止します。

■ドアガラスを開閉することができないとき

挟み込み防止機能や巻き込み防止機能が異常に作動してしまい、ドアガラスを開閉することができないときは、開閉することができないドアのパワーウインドウスイッチで、次の操作を行ってください。

- ●車を停止し、エンジンスイッチを "ON"(スマートエントリー & スタートシステム非装着車)、またはイグニッション ON モード(スマートエントリー & スタートシステム装着車)の状態で、挟み込み防止機能や、巻き込み防止機能が作動したあと約4秒以内に、パワーウインドウスイッチを「自動全閉」の位置で引き続ける、または「自動全開」の位置で押し続けることでドアガラスを開閉することができます。
- ●上記の操作を行ってもドアガラスが開閉できない場合、機能の初期化を次の手順で実施してください。
- 1 エンジンスイッチを ON またはイグニッション ON モードにする
- 2 パワーウインドウスイッチを「自動全閉」の位置で引き続け、ドアガラスを全閉にする
- 3 いったんパワーウインドウスイッチから手を離して、再度パワーウインドウスイッチを「自動全閉」の位置で約6秒以上引き続ける
- 4 パワーウインドウスイッチを「自動全開」の位置で押し続け、ドアガラスを全開にしたあと、さらにスイッチを約1 秒以上押し続ける
- 5 いったんパワーウインドウスイッチから手を離して、再度パワーウインドウスイッチを「自動全開」の位置で約4秒以上押し続ける
- 6 再度、パワーウインドウスイッチを「自動全閉」の位置で引き続け、ドアガラスを閉めたあと、さらにスイッチを約1秒以上引き続ける

ドアガラス作動途中でスイッチから手を離すと、最初からやり直しとなります。 以上の操作を行っても反転して閉じ切らない、または全開にならない場合は、 トヨタ販売店で点検を受けてください。

■エンジンスイッチ "LOCK" (エンジンスイッチ OFF) 後の作動

▶スマートエントリー&スタートシステム非装着車

エンジン スイッチを "ACC" または "LOCK" にしたあとでも、約 45 秒間 ドアガラスを開閉できます。ただし、そのあいだに運転席ドアを開閉すると作動 しなくなります。

▶スマートエントリー&スタートシステム装着車

エンジンスイッチをアクセサリーモード、または OFF にしたあとでも、約 45 秒間ドアガラスを開閉できます。ただし、そのあいだに運転席ドアを開閉すると作動しなくなります。

▲ 警告

次のことを必ずお守りください。 お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるお それがあります。

■ドアガラスを開閉するとき

- ●運転者は、乗員の操作を含むすべてのドアガラス開閉操作について責任があります。特にお子さまの誤った操作による事故を防ぐため、お子さまにはドアガラスの操作をさせないでください。お子さまや他の人がドアガラスに挟まれたり巻き込まれたりするおそれがあります。
 - また、お子さまが同乗するときはウインドウロックスイッチを使用することをおすすめします。 (\rightarrow P. 113)
- ドアガラスを開閉するときは、乗員の手・腕・頭・首などを挟んだり巻き込んだりしないようにしてください。特にお子さまへは手などを出さないように声かけをしてください。
- ●車から離れるときはエンジンスイッチを "LOCK" (スマートエントリー&スタート システム非装着車) またはエンジンスイッ チを OFF (スマートエントリー&スター トシステム装着車) にし、キーを携帯して お子さまも一緒に車から離れてください。 いたずらなどによる誤った操作により、思 わぬ事故につながるおそれがあります。



A 警告

■挟み込み防止機能

- ●挟み込み防止機能を故意に作動させるため、乗員の手・腕・頭・首などを挟んだりしないでください。
- ●挟み込み防止機能は、ドアガラスが完全に閉まる直前に異物を挟むと作動しない場合があります。また、挟み込み防止機能は、スイッチを引き続けた状態では作動しません。指などを挟まないように注意してください。

■巻き込み防止機能

- ●巻き込み防止機能を故意に作動させるため、乗員の手・腕・服などを巻き込ませたりしないでください。
- ●巻き込み防止機能は、ドアガラスが完全に開く直前に異物を巻き込むと作動しない場合があります。手・腕・服などが巻き込まれないように注意してください。

運転

4-1. 運転にあたって	4-3. ランプのつけ方・
運転にあたって118	ワイパーの使い方
荷物を積むときの注意 129	ランプスイッチ144
4-2. 運転のしかた	フロントフォグランプ
エンジン(イグニッション)	スイッチ149
スイッチ	ワイパー & ウォッシャー
(スマートエントリー	(フロント)150
&スタートシステム 121	ワイパー & ウォッシャー (リヤ)153
非装着車)131	
エンジン(イグニッション) スイッチ	4-4. 給油のしかた
(スマートエントリー	給油口の開け方155
&スタートシステム	4-5. Toyota Safety Sense
装着車)134	Toyota Safety Sense 159
オートマチック	PCS(プリクラッシュ
トランスミッション139	セーフティシステム) 164
方向指示レバー142	LDA (レーンディパーチャー
パーキングブレーキ143	アラート/ 車線逸脱警報)177
	オートマチックハイビーム 183
	4-6. 運転支援装置について
	先行車発進告知機能187
	クルーズコントロール 189
	クリアランスソナー193
	インテリジェント
	クリアランスソナー201
	Stop & Start System213
	運転を補助する装置224

4-7. 運転のアドバイス

寒冷時の運転......232

運転にあたって

安全運転を心がけて、次の手順で走行してください。

エンジンをかける

→ P. 131. 134

発進する

- $\boxed{1}$ ブレーキペダルを踏んだまま、シフトレバーを D にする $(\rightarrow P. 139)$
- 2 パーキングブレーキを解除する (→ P. 143)
- 3 ブレーキペダルから徐々に足を離し、アクセルペダルをゆっくり踏み 発進する

停車する

- 1 シフトレバーは D のまま、ブレーキペダルを踏む
- ② 必要に応じて、パーキングブレーキをかける 長時間停車する場合は、シフトレバーを P または N にします。(→ P. 139)

駐車する

- 1 シフトレバーは D のまま、ブレーキペダルを踏む
- 2 パーキングブレーキをかけて (→ P. 143) シフトレバーを P にする (→ P. 139)
- 3 スマートエントリー&スタートシステム非装着車: エンジン スイッチを "LOCK"にしてエンジンを停止する スマートエントリー&スタートシステム装着車: エンジンスイッチを OFF にしてエンジンを停止する
- 4 キーを携帯していることを確認し、ドアを施錠する 坂道の途中で駐車をする場合は、必要に応じて輪止め*を使用してください。 ** 輪止めはトヨタ販売店で購入することができます。

上り坂の発進のしかた

- 1 パーキングブレーキをしっかりかけ、シフトレバーを D にする
- 2 アクセルペダルをゆっくり踏む
- 3 車が動き出す感触を確認したら、パーキングブレーキを解除し、発進 する

─ 知識

■上り坂発進について

ヒルスタートアシストコントロールが作動します。(→ P. 224)

■雨の日の運転について

- ●雨の日は視界が悪くなり、またガラスが曇ったり、路面がすべりやすくなったりするので、慎重に走行してください。
- ●雨の降りはじめは路面がよりすべりやすいため、慎重に走行してください。
- ●雨の日の高速走行などでは、タイヤと路面のあいだに水膜が発生し、ハンドルやブレーキが効かなくなるおそれがあるので、スピードは控えめにしてください。

■走行中のエンジン回転数について

次の場合、走行中にエンジン回転数が高くなることがあります。これは走行状況にあわせてシフトアップの制限、またはシフトダウンの実施を自動的に行うためで、急加速を示すものではありません。

- ●車両が上り坂、または下り坂を走行していると判断したとき
- ●アクセルペダルを離したとき

■エンジン出力の抑制について(ブレーキオーバーライドシステム)

- ●アクセルペダルとブレーキペダルが同時に踏まれたとき、エンジン出力を抑制 する場合があります。
- ブレーキオーバーライドシステム作動中は、マルチインフォメーションディスプレイにメッセージが表示されます。表示された画面の指示に従ってください。

■マルチインフォメーションディスプレイに「ブレーキオーバーライドシステム故障 販売店で点検してください」が表示されたとき

システムの異常が考えられます。ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。

■急発進の抑制について(ドライブスタートコントロール)

- ●次のような通常と異なる操作が行われた場合、エンジン出力を抑制する場合があります。
 - ・アクセルペダルを踏み込んだまま、シフトレバーを操作した(R から D、D から R、N から R、P から D、P から R)とき。(D は S ポジションを含む) この場合、マルチインフォメーションディスプレイに「アクセルを戻してください」が表示されます。表示された画面の指示に従ってください。
 - ・後退時にアクセルペダルを踏みすぎたとき。
- トライブスタートコントロールが作動していると、ぬかるみや新雪などからの脱出が困難な場合があります。そのようなときは、TRC の作動を停止(→ P. 226) することにより、ドライブスタートコントロールが停止し、脱出しやすくなります。
- ■マルチインフォメーションディスプレイに「ドライブスタートコントロール故障 販売店で点検してください」が表示されたとき

システムの異常が考えられます。ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。

■運転者標識の取り付け

磁石式の初心運転者標識や高齢運転者標識などを樹脂バンパーやアルミボデー 部に取り付けることはできません。

■オーバーヒートについて

次のようなきびしい走行状況ではオーバーヒートになるおそれがあります。

- ●暑い日に長い上り坂を走行する
- ●高速走行直後に急減速や急停止をする

次の警告をお守りください。お守りいただかないと重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■発進するとき

エンジンがかかったまま停車しているときは、常にブレーキペダルを踏んでください。クリープ現象で車が動き出すのを防ぎます。

■運転するとき

- ●踏み間違いを避けるため、ブレーキペダルとアクセルペダルの位置を把握しない状態で運転しないでください。
 - ・アクセルペダルをブレーキペダルと間違えて踏むと、車が急発進して思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
 - ・後退するときは体をひねった姿勢となるため、ペダルの操作がしにくくなります。ペダル操作が確実にできるよう注意してください。
 - ・車を少し移動させるときも正しい運転姿勢をとり、ブレーキペダルとアク セルペダルが確実に踏めるようにしてください。
 - ・ブレーキペダルは右足で操作してください。左足でのブレーキ操作は緊急 時の反応が遅れるなど、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。
- ●燃えやすいものの上を走行したり、可燃物付近に車を停めたりしないでください。排気管や排気ガスは高温になり、可燃物が近くにあると火災になるおそれがあり危険です。
- ●通常走行時は、走行中にエンジンを停止しないでください。走行中にエンジンを停止してもハンドルやブレーキの操作は可能ですが、操作力補助がなくなりハンドルとブレーキの操作が困難になります。安全を確認した上で、すみやかに道路脇に停車してください。
 - なお、通常の方法で車両を停止することができないような非常時は、P. 314 を参照してください。
- ●急な下り坂では、エンジンブレーキを使用してスピードを下げてください。 フットブレーキを連続して使いすぎると、ブレーキがオーバーヒートして正常 に機能しなくなります。(→ P. 140)

▲ 警告

次の警告をお守りください。お守りいただかないと重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■運転するとき

- ●走行中はハンドル・シート・ドアミラー・インナーミラーの調整をしないでください。運転を誤るおそれがあります。
- ●すべての乗員は頭や手、その他の体の一部を車から出さないようにしてくだ さい。
- ●オフロード走行をしないでください。 やむを得ずオフロードを走行するときは、慎重に運転してください。 また 4WD 車でも、この車は本格的なオフロード走行を目的とした車両では ありません。
- ●渡河などの水中走行はしないでください。電装品のショートやエンジンの破損など、重大な車両故障の原因になるおそれがあります。
- ●シートの上や付近に荷物を置いて走行しないでください。 急ブレーキをかけたときや、旋回しているときなどに荷物が飛び出したりして 乗員にあたったり、荷物を破損したり、荷物に気をとられたりして、思わぬ事 故につながるおそれがあり危険です。

■すべりやすい路面を運転するとき

- 急ブレーキ・急加速・急ハンドルはタイヤがスリップし、車両の制御ができなくなるおそれがあります。
- ●急激なアクセル操作、シフト操作によるエンジンブレーキやエンジン回転数の 変化は、車が横すべりするなどのおそれがあります。
- ●水たまり走行後はブレーキペダルを軽く踏んでブレーキが正常に働くことを確認してください。ブレーキパッドがぬれるとブレーキの効きが悪くなったり、ぬれていない片方だけが効いたりしてハンドルをとられるおそれがあります。

次の警告をお守りください。お守りいただかないと重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■シフトレバーを操作するとき

- ●シフトレバーを前進側のシフトポジションに入れたまま惰性で後退したり、R に入れたまま惰性で前進することは絶対にやめてください。 エンジンが停止し、ブレーキの効きが悪くなったり、ハンドル操作が重くなったりして、思わぬ事故や故障の原因となるおそれがあります。
- ●車両が動いているあいだは、シフトレバーをPに入れないでください。 トランスミッションにダメージを与えたり、車両のコントロールができなくなるおそれがあります。
- ●車両が前進しているあいだは、シフトレバーを R に入れないでください。 トランスミッションにダメージを与えたり、車両のコントロールができなくなるおそれがあります。
- ●車両が後退しているあいだは、シフトレバーを前進側のシフトポジションに入れないでください。トランスミッションにダメージを与えたり、車両のコントロールができなくなるおそれがあります。
- ●走行中にシフトレバーをNにすると、トランスミッションとエンジンの動力伝達が解除され、エンジンブレーキが効かなくなります。
- ●アクセルペダルを踏み込んだまま操作しないように気を付けてください。 シフトレバーが P または N 以外にあると、車が急発進し、思わぬ事故につな がるおそれがあり危険です。

▲ 警告

次の警告をお守りください。お守りいただかないと重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■継続的にブレーキ付近から警告音(キーキー音)が発生したとき

できるだけ早くトヨタ販売店で点検を受け、ブレーキパッドを交換してください。必要なときにパッドの交換が行われないと、ディスクローターの損傷につながる場合があります。

パッドやローターなどの部品は、役割を果たすと共に摩耗していきます。摩耗の限界をこえて走行すると故障を引き起こすばかりでなく、事故につながるおそれがあり危険です。

■停車するとき

- ●空ぶかしをしないでください。 シフトレバーが P または N 以外にあると、車が急発進して思わぬ事故につ ながるおそれがあり危険です。
- ●車が動き出すことによる事故を防ぐため、エンジン回転中は常にブレーキペダルを踏み、必要に応じてパーキングブレーキをかけてください。
- ●坂道で停車するときは、前後に動き出して事故につながるのを防ぐため、 常にブレーキペダルを踏み、必要に応じてパーキングブレーキをかけてくだ さい。
- 停車中に空ぶかしをしないでください。排気管が過熱し、可燃物が近くにある と火災につながるおそれがあり危険です。

次の警告をお守りください。お守りいただかないと重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■駐車するとき

- ●炎天下では、メガネ・ライター・スプレー缶・炭酸飲料の缶などを車内に放置 しないでください。放置したままでいると、次のようなことが起こるおそれが あり危険です。
 - ライターやスプレー缶からガスがもれたり、出火する
 - ・プラスチックレンズ・プラスチック素材のメガネが、変形またはひび割れ を起こす
 - ・ 炭酸飲料の缶が破裂して車内を汚したり、電気部品がショートする原因に なる
- ライターを車内に放置したままにしないでください。ライターをグローブボックスなどに入れておいたり、車内に落としたままにしておくと、荷物を押し込んだりシートを動かしたときにライターの操作部が誤作動し、火災につながるおそれがあり危険です。
- ●ウインドウガラスなどには吸盤を貼り付けないでください。また、インストルメントパネルやダッシュボードの上に芳香剤などの容器を置かないでください。

吸盤や容器がレンズの働きをして、車両火災につながるおそれがあり危険です。

- ●シルバー色などの金属蒸着フィルムを曲面ガラスに貼った場合は、ドアやウインドウを開けたまま放置しないでください。直射日光が曲面ガラスの内側に反射し、レンズの働きをして火災につながるおそれがあり危険です。
- ●車から離れるときは、必ずパーキングブレーキをかけ、シフトレバーをPにしてエンジンを停止し、施錠してください。
 エンジンがかかっているあいだは、車から離れないでください。
 パーキングブレーキをかけずにシフトレバーをPにした状態では、車が動き思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。
- ●エンジン回転中または停止直後は排気管にふれないでください。 やけどをするおそれがあります。

A 警告

次の警告をお守りください。お守りいただかないと重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■仮眠するとき

必ずエンジンを停止してください。

エンジンをかけたまま仮眠すると、無意識にシフトレバーを動かしたり、アクセルペダルを踏み込んだりして、事故やエンジンの異常過熱による火災が発生するおそれがあります。さらに、風通しの悪い場所に停めると、排気ガスが車内に侵入し、重大な健康障害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■ブレーキをかけるとき

- ●ブレーキがぬれているときは、普段よりも注意して走行してください。 ブレーキがぬれていると、制動距離が長くなり、ブレーキのかかりに、左右の 違いが出るおそれがあります。また、パーキングブレーキがしっかりとかから ないおそれもあります。
- ●ブレーキ倍力装置が機能しないときは、他の車に近付いたりしないでください。また、下り坂や急カーブを避けてください。この場合ブレーキは作動しますが、通常よりも強く踏む必要があります。また制動距離も長くなります。ただちにブレーキの修理を受けてください。
- 万一エンジンが停止したときは、ブレーキペダルをくり返し踏まないでください。 ペダルを踏むたびに、ブレーキのアシスト力の蓄えを使い切ってしまいます。
- ●ブレーキシステムは2つの独立したシステムで構成されており、一方の油圧システムが故障しても、もう一方は作動します。この場合、ブレーキペダルを通常より強く踏む必要があり、制動距離が長くなります。ただちにブレーキの修理を受けてください。

■万一脱輪したとき(4WD車)

いずれかのタイヤが宙に浮いているときは、むやみに空転させないでください。駆動系部品の損傷や、車両の飛び出しによる思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠ 注意

■運転しているとき

- ●運転中にアクセルペダルとブレーキペダルを同時に踏まないでください。 アクセルペダルとブレーキペダルを同時に踏むと、エンジン出力を抑制する場合があります。
- 坂道で停車するために、アクセルペダルを使ったり、アクセルペダルとブレー キペダルを同時に踏んだりしないでください。

■駐車するとき

必ずパーキングブレーキをかけシフトレバーを P にしてください。パーキングブレーキをかけシフトレバーを P にしておかないと、車が動き出したり、誤ってアクセルペダルを踏み込んだときに急発進するおそれがあります。

■部品の損傷を防ぐために

- ●パワーステアリングモーターの損傷を防ぐため、ハンドルをいっぱいにまわした状態を長く続けないでください。
- ●ディスクホイールなどの損傷を防ぐため、段差などを通過するときは、できる だけゆっくり走行してください。

■走行中にタイヤがパンクしたら

次のようなときはタイヤのパンクや損傷が考えられます。ハンドルをしっかり持って徐々にブレーキをかけ、スピードを落としてください。

- ●ハンドルがとられる
- ●異常な音や振動がある
- ●車両が異常に傾く

タイヤがパンクした場合の対処法は、P. 332 を参照してください。

⚠ 注意

■冠水路走行に関する注意

大雨などで冠水した道路では、次のような重大な損傷を受けるおそれがあるため、走行しないでください。

- ●エンストする
- ●電装品がショートする
- ●水を吸い込んでのエンジン破損

万一、冠水した道路を走行し、水中に浸かってしまったときは必ずトヨタ販売 店で次の点検をしてください。

- ブレーキの効き具合
- ●エンジン・トランスアクスル・トランスファー (4WD 車)・ディファレンシャルなどのオイルやフルードの量および質の変化
- ●プロペラシャフト (4WD 車) · 各ベアリング · 各ジョイント部などの潤滑不良

荷物を積むときの注意

安全で快適なドライブをするために、荷物を積むときは次のことをお守りください。

▲ 警告

■積んではいけないもの

次のようなものを積むと引火するおそれがあり危険です。

- ●燃料が入った容器
- ●スプレー缶

■荷物を積むとき

次の警告をお守りください。お守りいただかないと、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

- ●できるだけ荷物はトランクに積んでください。
- ●次の場所には荷物を積まないでください。 お守りいただかないと、ブレーキペダル・アクセルペダルを正しく操作できな かったり、荷物が視界をさえぎったり、荷物が乗員に衝突したりして、思わぬ 事故につながるおそれがあります。
 - · 運転席足元
 - ・助手席やリヤ席(荷物を積み重ねる場合)
 - ・パッケージトレイ
 - ・インストルメントパネル
 - ・ダッシュボード

▲ 警告

- ●室内に積んだ荷物はすべてしっかりと安定させてください。 安定していないと、急ブレーキや事故の際に投げ出され、乗員を傷付けるおそれがあります。
- ●後席のシート背もたれを折りたたんで、寸法が長い荷物を積むときは、できる だけ前席シート背もたれの真うしろには積まないでください。
- ●トランク内に人を乗せないでください。乗員用には設計されていません。乗員は、適切にシートベルトを着用させ、座席に座らせてください。 お守りいただかないと、急ブレーキや衝突の際に、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■荷物の重量・荷重のかけ方について

- ●荷物を積み過ぎないでください。
- 荷重を不均等にかけないようにしてください。 これはタイヤに負担をかけるだけでなく、ハンドル操作性やブレーキ制御の低 下により思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につ ながるおそれがあります。

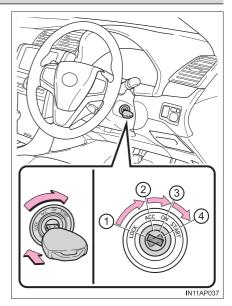
エンジン(イグニッション)スイッチ(スマートエント リー&スタートシステム非装着車)

エンジンのかけ方

- 1 パーキングブレーキがかかっていることを確認する
- **2** シフトレバーが P の位置にあることを確認する
- 3 ブレーキペダルをしっかり踏む
- 4 エンジン スイッチを "START" の位置にまわす

エンジン スイッチの位置の切りかえ

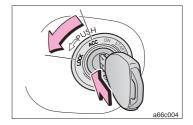
- 1) "LOCK" (OFF)
 - ・ステアリングロックがかかりま す。
 - ・シフトレバーの位置が P のとき、 キーを抜き挿しすることができま す。
- ② "ACC" アクセサリーソケットなどの電装品が 使用できます。
- ③ "ON"すべての電装品が使用できます。
- 4 "START"エンジンが始動できます。



__ 知識

■ キーを " ACC " から " LOCK " にまわすには

- 1 シフトレバーがPの位置にあることを確認する
- 2 キーを押し込みながら "LOCK" までま わす



■ステアリングロックを解除するには

ハンドルを左右に動かしながら、エンジン スイッチをまわしてください。



■キー抜き忘れ警告ブザー

キーが挿してあり、エンジン スイッチが "ACC" または "LOCK" のとき、 運転席ドアを開けると警告音が鳴ります。

■エンジンを始動するとき

必ず運転席に座って行ってください。このとき決してアクセルペダルは踏まないでください。思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■走行中の警告

走行中はエンジン スイッチを "LOCK" にしないでください。 緊急時、走行中にエンジンを停止したい場合には "ACC" にしてください。 走行中にエンジンが停止すると思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

⚠ 注意

■バッテリーあがりを防止するために

エンジンがかかっていないときは、エンジン スイッチを "ACC" または "ON" にしたまま長時間放置しないでください。

■エンジンを始動するとき

- ●一度に30秒以上スターターをまわさないでください。
- ●エンジンが冷えた状態で空ぶかししないでください。
- ●もしエンジンが始動しにくかったり、ひんぱんにエンストする場合は、ただ ちにエンジンの点検を受けてください。

エンジン(イグニッション)スイッチ(スマートエント リー&スタートシステム装着車)

電子キーを携帯して次の操作を行うことで、エンジンの始動またはエンジンスイッチのモードを切りかえることができます。

エンジンのかけ方

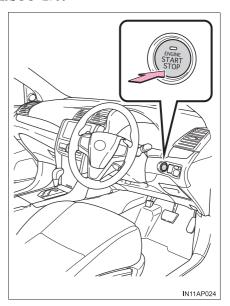
- 1 パーキングブレーキがかかっていることを確認する
- **2** シフトレバーが P の位置にあることを確認する
- 3 ブレーキペダルをしっかり踏む スイッチ上のインジケーターが緑色に点灯します。 緑色に点灯していないと、エンジンは始動しません。
- 4 エンジンスイッチを短く確実に 押す

短く確実に押せば、押し続ける必要はありません。

エンジンが始動するまで最大 30 秒間 スターターが回転します。

完全にエンジンが始動するまで、ブレーキペダルを踏み続けてください。

エンジンスイッチのどのモードからで もエンジンを始動できます。



■エンジン停止のしかた

- | **1**| 車両を完全に停止させる
- **2** パーキングブレーキをかけて (→ P. 143) シフトレバーを P の位置にす る
- 3 エンジンスイッチを押す
- 4 ブレーキペダルから足を離した状態にしてエンジンスイッチのインジ ケーターが消灯していることを確認する

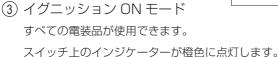
|エンジンスイッチのモード切りかえ

ブレーキペダルを踏まずにエンジンスイッチを押すと、モードを切りか えることができます。

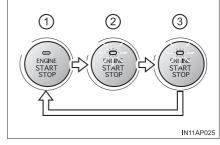
(スイッチを押すごとにモードが切りかわります)

- (1) OFF * 非常点滅灯が使用できます。
- (2) アクヤサリーモード アクセサリーソケットなどの電装品が 使用できます。

スイッチ上のインジケーターが橙色に 点灯します。



※ シフトレバーが P 以外のときはアクセサリーモードになり、OFF になりませ ん。



■シフトレバーが P 以外でエンジンを停止したとき

シフトレバーが P 以外でエンジンを停止させた場合、エンジンは停止しますが、エンジンスイッチのモードは OFF になりません。次の手順でOFF にしてください。

- 1 パーキングブレーキがかかっていることを確認する
- 2 シフトレバーを P の位置にする
- 3 スイッチ上のインジケーターが緑色にゆっくりと点滅していることを確認し、エンジンスイッチを 1 回押す
- 4 スイッチ上のインジケーターが消灯していることを確認する

□知識

■自動電源 OFF 機能

シフトレバーが P にあるとき、1 時間以上アクセサリーモードのままにしておくと、エンジンスイッチが自動で OFF になります。

ただし、自動電源 OFF 機能は、バッテリーあがりを完全に防ぐものではありません。エンジンがかかっていないときは、エンジンスイッチをアクセサリーモードまたはイグニッション ON モードにしたまま長時間放置しないでください。

■エンジンスイッチの操作について

- ●スイッチを短く確実に押せていない場合は、モードの切りかえやエンジン始動ができない場合があります。
- ●エンジンスイッチ OFF 後、すぐに再始動した場合は、エンジンが始動しない場合があります。エンジンスイッチ OFF 後の再始動は、数秒待ってから操作してください。

■電子キーの電池の消耗について

- → P. 80
- ■スマートエントリー&スタートシステムが正常に働かないおそれのある状況
 - → P. 94
- ■ご留意いただきたいこと
 - → P. 95
- ■エンジンが始動しないとき

エンジンイモビライザーシステム★が解除されていない可能性があります。 (→ P. 60) トヨタ販売店へご連絡ください。

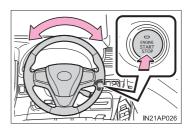
★:グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

■ステアリングロックについて

エンジンスイッチを OFF にしたあとにドアを開閉すると、ステアリングロック機能によりハンドルが固定されます。エンジンスイッチを操作すると、ステアリングロックは自動で解除されます。

■ステアリングロックが解除できないとき

マルチインフォメーションディスプレイに メッセージが表示され、エンジンスイッチ上 のインジケーターが緑色に点滅します。 ハンドルを左右にまわしながら、再操作して ください。



■マルチインフォメーションディスプレイに「ステアリングロックシステムチェック」が表示されたとき

システムに異常があるおそれがあります。ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。

■ステアリングロックモーターのオーバーヒート防止について

短時間にエンジン始動・停止をくり返すと、モーターのオーバーヒート防止のために作動制限することがあります。その場合は操作を控えてください。10 秒程度でもとの状態にもどります。

■エンジンスイッチ上のインジケーターが橙色に点滅したとき

システムに異常があるおそれがあります。ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。

■電子キーの電池が切れたとき

- → P. 292
- ■カスタマイズ機能でスマートエントリー&スタートシステムを非作動にしたとき
 - → P. 346

▲ 警告

■エンジンを始動するとき

必ず運転席に座って行ってください。このとき決してアクセルペダルは踏まないでください。思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■走行中の警告

エンジンの停止などで車両滑走状態になったときは、車両が安全な状態で停止するまでドアを開けたり、ロック操作をしたりしないでください。ステアリングロック機能が作動し、思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■緊急時のエンジン停止方法

走行中にエンジンを緊急停止したい場合には、3 秒以上エンジンスイッチを押し続けてください。

ただし、緊急時以外は走行中にエンジンスイッチにふれないでください。走行中にエンジンを停止してもハンドルやブレーキの操作は可能ですが、操作力補助がなくなり、ハンドルとブレーキの操作が困難になります。安全を確認した上で、すみやかに道路脇に停車してください。

⚠ 注意

■バッテリーあがりを防止するために

- エンジンがかかっていないときは、エンジンスイッチをアクセサリーモードまたはイグニッション ON モードにしたまま長時間放置しないでください。
- エンジンがかかっていないときに、スイッチ上のインジケーターが消灯していない場合、エンジンスイッチが OFF になっていません。 エンジンスイッチを OFF にしてから車両を離れてください。
- ●シフトレバーが P 以外でエンジンを停止させないでください。シフトレバーが P 以外でエンジンを停止させた場合、エンジンスイッチがアクセサリーモードとなるため、そのまま放置するとバッテリーあがりの原因になります。

■エンジンを始動するとき

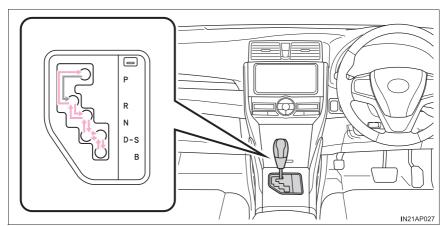
- ●エンジンが冷えた状態で空ぶかししないでください。
- ●もしエンジンが始動しにくかったり、ひんぱんにエンストする場合は、ただ ちにエンジンの点検を受けてください。

■エンジンスイッチの操作について

エンジンスイッチ操作時に引っかかりなどの違和感があるときは、故障のおそれがあります。すみやかにトヨタ販売店にご連絡ください。

オートマチックトランスミッション

シフトレバーの動かし方



- ▶ スマートエントリー&スタートシステム非装着車
 - ◆ エンジン スイッチが "ON"の状態で、ブレーキペダルを踏んだまま操作します。
- ▶ スマートエントリー&スタートシステム装着車
 - ◆ エンジンスイッチがイグニッション ON モードの状態で、ブレーキペダルを踏んだまま操作します。

P と D のあいだの操作は、ブレーキペダルを踏み、車を完全に止めてから行ってください。

シフトポジションの使用目的

シフトポジション	目的
Р	駐車またはエンジン始動
R	後退
N	動力が伝わらない状態
D	通常走行**
S	坂道走行
В	急な下り坂走行

[※] 燃費向上や騒音の低減のために、通常は D ポジションを使用してください。

□ 知識

■リバース警告ブザー

シフトレバーをRに入れるとブザーが鳴り、Rにあることを運転者に知らせます。

■シフトロックシステム

シフトロックシステムは、発進時のシフトレバーの誤動作を防ぐシステムです。

エンジンスイッチが "ON" (スマートエントリースタートシステム非装着車) または、イグニッション ON モード (スマートエントリー&スタートシステム装着車) でブレーキペダルを踏んだ状態でなければ、シフトレバーを P からシフトできません。

■シフトレバーを P からシフトできないとき

ブレーキペダルを踏んでいることを確認してください。

ブレーキペダルを踏んだ状態でシフトレバーがシフトできない場合、シフトロックシステムなどの故障が考えられます。ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。

ただし、一時的な処置として、次の方法でシフトレバーをシフトすることができます。

シフトロック解除のしかた:

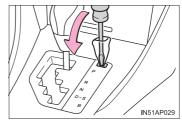
1 パーキングブレーキをかける

エンジンスイッチを OFF にする

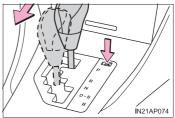
- 2 スマートエントリー&スタートシステム非装着車: エンジンスイッチを "LOCK"にする スマートエントリー&スタートシステム装着車:
- 3 ブレーキペダルを踏む

4 カバーをはずす

傷が付くのを防ぐため、マイナスドライバーの先端に布などを巻いて保護してください。



シフトロック解除ボタンを押すボタンを押しているあいだは、レバーをシフトできます。



▲ 警告

■すべりやすい路面では

急なアクセル操作や、シフト操作を行わないでください。エンジンブレーキカの急激な変化が、横すべりやスピンの原因になりますので注意してください。

■シフトロック解除時の事故を防ぐために

シフトロック解除ボタンを押すときは、必ずパーキングブレーキをかけブレーキペダルを踏んでください。

誤ってアクセルペダルを踏んでいると、シフトロック解除ボタンを押してシフトレバーを操作したときに、車が急発進して思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

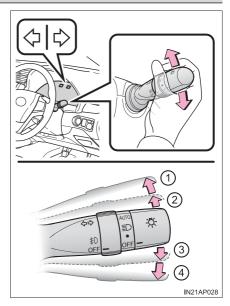
方向指示レバー

操作のしかた

- (1) 左折
- ② 左側へ車線変更 (レバーを途中で保持)

レバーを離すまで、左側方向指示灯が 点滅します。

- ③ 右側へ車線変更 (レバーを途中で保持) レバーを離すまで、右側方向指示灯が 点滅します。
- (4) 右折



□ 知識

■作動条件

- ▶スマートエントリー&スタートシステム非装着車 エンジンスイッチが "ON"のとき
- ▶スマートエントリー&スタートシステム装着車 エンジンスイッチがイグニッション ON モードのとき

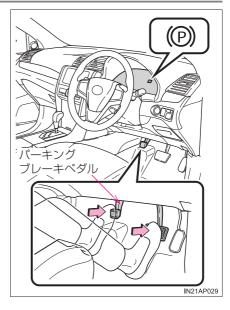
■表示灯の点滅が異常に速くなったとき

方向指示灯の電球が切れていないか確認してください。

パーキングブレーキ

操作のしかた

パーキングブレーキをかけるには、 右足でブレーキペダルを踏みながら、左足でパーキングブレーキペダ ルをいっぱいまで踏み込む(再度踏 み込むと解除される)



□ 知識

■駐車するとき

→ P. 118

■冬季のパーキングブレーキの使用について

「寒冷時の運転」(→ P. 233) の記載を参照してください。

■パーキングブレーキ未解除走行時警告ブザー

パーキングブレーキをかけたまま走行すると、警告ブザーが鳴ります。

▲ 注意

■走行前の注意

パーキングブレーキを完全に解除してください。

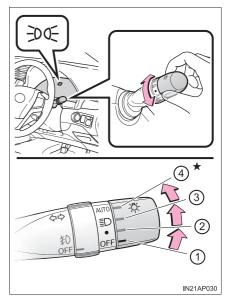
パーキングブレーキをかけたまま走行すると、ブレーキ部品が過熱し、ブレーキの効きが悪くなったり、早く摩耗したりするおそれがあります。

ランプスイッチ

自動★または手動でヘッドランプなどを点灯できます。

操作のしかた

- ① OFF 消灯
- ② 車幅灯・尾灯・番号灯を 点灯
- ③ ■D 上記ランプとヘッドランプを点灯
- ④ AUTO ヘッドランプ・車幅灯などを自動点灯・消灯★ (エンジンスイッチがイグニッション ON モードのとき)



^{★:}グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

ハイビームにする

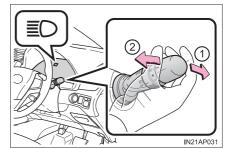
① ランプ点灯時ハイビームに切りかえ

レバーをもとの位置へもどすとロー ビームにもどります。

② レバーを引いているあいだ、ハイ ビームを点灯

ランプが消灯していても、ハイビーム が点灯します。

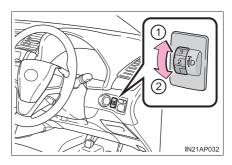
レバーを離すと、ロービームにもどる、 または消灯します。



■手動光軸調整ダイヤル(ハロゲンヘッドランプ装着車)

乗車人数や荷物の量などによる車の姿勢の変化に合わせて、ヘッドランプ の光軸を調整することができます。

- (1) 上向きに調整
- ② 下向きに調整



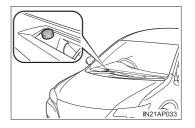
■ 目盛り設定の目安

乗員と荷物の条件		ダイヤル位置
乗員	荷物	
運転者	なし	0
運転者と助手席乗員	なし	0
全乗員	なし	1.5
全乗員	ラゲージルーム満載時	2
運転者	ラゲージルーム満載時	3.5

□知識

■ライトセンサー (コンライト装着車)

センサーの上にものを置いたり、センサーを ふさぐようなものをウインドウガラスに貼らないでください。周囲からの光がさえぎられると、自動点灯・消灯機能が正常に働かな くなります。



■ランプ消し忘れ防止機能(コンライト装着車)

エンジンスイッチがイグニッション ON モードで、ランプスイッチが OFF 以外の場合に働きます。

- ●ランプスイッチをOFFにしないまま、エンジンスイッチをアクセサリーモード、 または OFF にして運転席ドアを開けると、点灯していた車幅灯などが自動で消 灯します。
- ●再びランプを点灯する場合は、エンジンスイッチをイグニッションONモードにするか、一度ランプスイッチを OFF にもどし、再度 または **■** の位置にします。

■ランプ消し忘れ警告ブザー

- ▶スマートエントリー&スタートシステム非装着車
- ●エンジン スイッチが "LOCK" のときに働きます。
- ランプスイッチが または **■** の位置にあると、運転席ドアを開けたとき 警告音("ピー"という連続音)が鳴ります。
- ▶スマートエントリー&スタートシステム装着車

ライト消し忘れ防止機能が働かない場合に作動します。

- ●エンジンスイッチが OFF のときに働きます。
- ランプスイッチが または **■** の位置にあると、運転席ドアを開けたとき 警告音("ピー"という連続音)が鳴ります。

■オートレベリングシステム(LED ヘッドランプ装着車)

通行人や対向車がまぶしくないように、乗車人数・荷物の量などによる車の姿勢 の変化に合わせて、ヘッドランプの光軸を自動で調整します。

■マルチインフォメーションディスプレイに「ヘッドランプシステム故障 販売店で 点検してください」が表示されたとき

システムの故障が考えられます。トヨタ販売店で点検を受けてください。

■カスタマイズ機能

コンライト装着車は、ライトセンサーの感度の設定などを変更できます。 (カスタマイズ一覧:→P.367)

⚠ 注意

■バッテリーあがりを防止するために

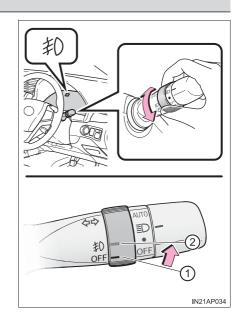
エンジンを停止した状態でランプを長時間点灯しないでください。

フロントフォグランプスイッチ★

雨や霧などの悪天候下での視界を確保します。

操作のしかた

- (1) 消灯する
- (2) 点灯する



🗌 知識

■点灯条件

ヘッドランプまたは車幅灯が点灯しているときに使用できます。

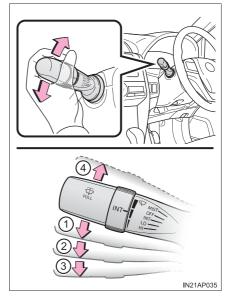
★:グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

ワイパー& ウォッシャー (フロント)

操作のしかた

次のようにレバーを操作して、ワイパーの作動を選択します。

- (1) 間欠作動 (INT)
- ② 低速作動 (LO)
- ③ 高速作動(HI)
- (4) 一時作動 (MIST)



間欠作動が選択されているときは、次のようにツマミをまわして間欠時間を調整できます。

- (5) 間欠ワイパーの作動頻度(減)
- (6) 間欠ワイパーの作動頻度(増)



⑦ ウォッシャー液を出す ワイパーが連動して作動します。



□ 知識

■作動条件

- ▶スマートエントリー&スタートシステム非装着車 エンジン スイッチが "ON"のとき
- ▶スマートエントリー&スタートシステム装着車 エンジンスイッチがイグニッション ON モードのとき

■ウォッシャー液が出ないとき

ウォッシャー液量が不足していないのにウォッシャー液が出ないときは、ノズル のつまりを点検してください。

▲ 警告

■ウォッシャー使用時の警告

寒冷時はフロントウインドウガラスが暖まるまでウォッシャー液を使用しないでください。ウォッシャー液がフロントウインドウガラスに凍りつき、視界不良を起こして思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

⚠ 注意

■フロントガラスが乾いているとき

ワイパーを使わないでください。ガラスを傷付けるおそれがあります。

■ウォッシャー液が出ないとき

ウォッシャースイッチを操作し続けないでください。ポンプが故障するおそれがあります。

■ノズルがつまったとき

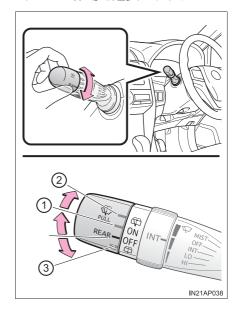
ノズルがつまったときはトヨタ販売店へご連絡ください。 ピンなどで取り除かないでください。 ノズルが損傷するおそれがあります。

ワイパー&ウォッシャー(リヤ)*

操作のしかた

次のようにレバーの端をまわして、ワイパーの作動を選択します。

- (1) 通常作動
- ② ウォッシャー液を出す (ワイパー作動中)
- ③ ウォッシャー液を出す (ワイパー停止中)



□知識

■作動条件

- ▶スマートエントリー&スタートシステム非装着車 エンジン スイッチが "ON"のとき
- ▶スマートエントリー&スタートシステム装着車 エンジンスイッチがイグニッション ON モードのとき

■ウォッシャー液が出ないとき

ウォッシャー液量が不足していないのにウォッシャー液が出ないときは、ノズル のつまりを点検してください。

★:グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

▲ 注意

■リヤウインドウガラスが乾いているとき

ワイパーを使わないでください。ガラスを傷付けるおそれがあります。

■ウォッシャー液が出ないとき

ウォッシャースイッチを操作し続けないでください。ポンプが故障するおそれがあります。

■ノズルがつまったとき

ノズルがつまったときはトヨタ販売店へご連絡ください。 ピンなどで取り除かないでください。 ノズルが損傷するおそれがあります。

給油口の開け方

給油する前に

- ▶ スマートエントリー&スタートシステム非装着車
- 燃料の種類を確認してください。
- ドアとドアガラスを閉め、エンジン スイッチを "LOCK "にしてください。
- ▶ スマートエントリー&スタートシステム装着車
- 燃料の種類を確認してください。
- ドアとドアガラスを閉め、エンジンスイッチを OFF にしてください。

□ 知識

■燃料の種類

- ●無鉛レギュラーガソリン
- ●バイオ混合ガソリン(レギュラー)

■バイオ混合ガソリンについて

エタノールの混合率 10% 以下、または ETBE の混合率 22%以下のガソリン (酸素含有率 3.7% 以下) を使用することができます。

▲ 警告

■給油するとき

次のことを必ずお守りください。

お守りいただかないと火災を引き起こすなど、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

● 給油前にボデーなどの金属部分にふれて体の静電気を除去してください。除去したあとは給油が完了するまで、車内にもどったり、他の人やものにふれないでください。また、給油口に静電気を除去していない人を近付けないでください。

静電気を帯電した人が給油口に近付くと、放電による火花で燃料に引火するお それがあります。

- ●キャップはツマミ部分を持ち、ゆっくりと開けてください。また、キャップを ゆるめたときに、"シュー" という音がする場合は、その音が止まるまでキャッ プを保持してください。
 - すぐに開けると、気温が高いときなどに、給油口から燃料が噴き出るおそれが あります。
- ●気化した燃料を吸わないようにしてください。 燃料の成分には、有害物質を含んでいるものもあります。
- ●喫煙しないでください。
- ●給油口にノズルを確実に挿入してください。
- ●継ぎ足し給油をしないでください。
- ●正常に給油できない場合は、スタンドの係員を呼んで指示に従ってください。

⚠ 注意

■給油するとき

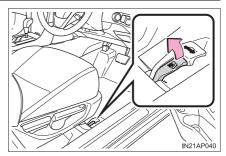
指定のガソリンを使用してください。

指定以外のガソリンや他の燃料(粗悪ガソリン・軽油・灯油・高濃度バイオ混合ガソリン[※])を使用したり、燃料をこぼしたりしないでください。 次のような状態になるおそれがあります。

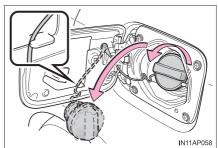
- ●エンジンの始動性が悪くなる
- ●エンジンからの異音や振動など(ノッキング)が発生する
- ●エンジン出力が低下する
- ●排気制御システムが正常に機能しない
- ●燃料系部品が損傷する
- ●塗装が損傷する
- ** エタノール混合率 10%をこえるもの、または ETBE 混合率 22%をこえるもの

給油口の開け方

1 オープナーを上げて、給油扉を開ける



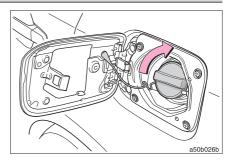
2 キャップをゆっくりまわして開け、キャップをハンガーにかける



給油口のキャップを閉める

キャップを"カチッ"と音がするま でまわして閉める

手を離すと、キャップが逆方向に少し もどります。



▲ 警告

■キャップが正常に閉まらないとき

必ずトヨタ販売店へご連絡ください。

正常に閉まらないキャップをそのまま使用したり、純正品以外のキャップを使 用すると、火災などを引き起こし、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡に つながるおそれがあります。

Toyota Safety Sense *

Toyota Safety Sense は、次の運転支援装置によって運転者を補助し、安全で快適なドライブを支援します。

- ◆ PCS (プリクラッシュセーフティシステム)
 - → P. 164
- ◆ LDA (レーンディパーチャーアラート)
 - → P. 177
- ◆ オートマチックハイビーム
 - → P. 183
- ◆ その他の運転支援機能

先行車発進告知機能

→ P. 187

▲ 警告

■Toyota Safety Sense について

Toyota Safety Sense は運転者の安全運転を前提としたシステムであり、事故被害や運転負荷の軽減に寄与することを目的としています。本システムは認識性能・制御性能に限界があります。システムを過信せず、運転者は常に自らの責任で周囲の状況を把握し、安全運転を心がけてください。

^{★:}グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

車両データの記録について

プリクラッシュセーフティシステムには、車両の制御や操作に関する データなどを記録するコンピューターが装備されており、主に次のよう なデータを記録します。

- ・アクセルペダルの操作状況
- ・ブレーキペダルの操作状況
- ・車速
- ・プリクラッシュセーフティシステムの各機能の作動状況
- ・先行車などの障害物との距離、相対速度などの情報

上記に加え、プリクラッシュブレーキが作動した場合、前方センサーの 画像情報も記録します。なお、会話などの音声や車内の映像は記録しま せん。

● データの取り扱いについて

トヨタはコンピューターに記録されたデータを車両の故障診断・研究開発・品質の向上を目的に取得・利用することがあります。

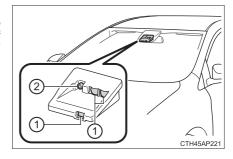
なお、次の場合を除き、トヨタは取得したデータを第三者へ開示また は提供することはありません。

- ・お車の使用者の同意(リース車は借主の同意)がある場合
- ・警察・裁判所・政府機関などの法的強制力のある要請に基づく場合
- ・トヨタが訴訟で使用する場合
- ・統計的な処理を行う目的で、使用者や車両が特定されないように加工したデータを研究機関などに提供する場合
- 記録した画像情報は特別な装置を使用して消去することが可能です。 また、画像情報を記録する機能を停止することも可能です。ただし、 機能を停止するとプリクラッシュセーフティシステム作動時のデータ は残りません。

前方センサー

フロントウインドウガラス上部に ある2種類のセンサーにより、各運 転支援装置の作動に必要な情報を 認識します。

- ① レーザーレーダー
- (2) 単眼カメラ



▲ 警告

前方センサーは、前方車両の検出にレーザー光を使用しており、IEC 60825-1 規格におけるレーザー等級 1 M に相当します。通常の使用においてレーザー光が目に障害をおよぼす危険はありませんが、次のことを必ずお守りください。お守りいただかないと重大な視覚障害におよぶか、最悪の場合失明につながるおそれがあります。

- ●有害なレーザー照射を避けるため、前方センサーは絶対に分解や取りはずしをしないでください。また、分解した前方センサーは IEC 60825-1 規格におけるレーザー等級 3B に相当し、目に有害です。
- ●光学機器(拡大鏡・顕微鏡・虫眼鏡など)を使用して、100mm 以内の距離からセンサーをのぞきこまないでください。

レーザー等級ラベル

INVISIBLE LASER RADIATION DO NOT VIEW DIRECTLY WITH OPTICAL INSTRUMENTS (MAGNIFIERS) CLASS 1M LASER PRODUCT

レーザー説明ラベル

Max average power: 45 mW Pulse duration: 33 ns Wavelength: 905 nm

IEC 60825-1:2007

Complies with FDA performance standards for laser products except for deviations pursuant to Laser Notice No. 50, dated July 26th, 2001

レーザー放射仕様

最大出力(平均): 45 mW パルス持続時間: 33 ns

波長:905 nm

発散角(水平×垂直): 28°× 12°

⚠ 注意

■前方センサーの故障や誤作動を防ぐために

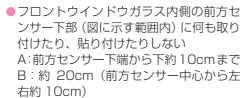
次のことをお守りください。

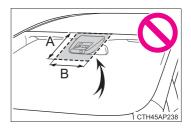
お守りいただかないと、前方センサーが正常に作動せず、思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

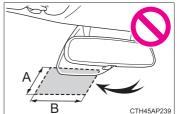
- ●フロントウインドウガラスは常にきれいにしておく フロントウインドウガラス外側に汚れ・油膜・水滴・雪などが付着した場合 は、取り除いてください。 フロントウインドウガラス内側の前方センサー取り付け部が汚れた場合は、
 - フロントウインドウガラス内側の前方センサー取り付け部が汚れた場合は、 トヨタ販売店にご相談ください。
- フロントウインドウガラス外側の前方センサー前部(図に示す範囲内)にステッカー(透明なものを含む)などを貼り付けない

A: フロントウインドウガラス上端から前 方センサー下端より下約 10cm まで

B:約 20cm (前方センサー中心から左 右約 10cm)







●冬季のように、車室内と外気の温度差が大きいときなどは、フロントウインドウガラスが曇りやすくなります。フロントウインドウガラスの前方センサー前部が曇ったり、結露したり、凍結したりすると、システムが一時的に作動しなくなることがあり、PCS 警告灯が点滅しマルチインフォメーションディスプレイにメッセージが表示されます。その場合は、エアコンの除湿機能で曇りなどを取り除いてください。(→ P. 237, 244)

▲ 注意

- ●前方センサー前部に水滴が付着したときはワイパーでふき取る 水滴のふき取りが不十分な場合、性能が低下することがあります。
- ●フロントウインドウガラスの前方センサー前部の水滴をワイパーが正しくふき取れないときは、ワイパーゴムまたはワイパーブレードを交換するワイパーブレードの交換が必要な場合は、トヨタ販売店にご相談ください。
- フロントウインドウガラスにフィルムを貼らない
- ●フロントウインドウガラスに傷・ひびなどが生じた場合は、そのまま放置せずに交換する フロントウインドウガラスの交換が必要な場合は、トヨタ販売店にご相談ください。
- ●前方センサーの前にアンテナを取り付けない
- ●前方センサーに液体をかけない
- ●前方センサーに強い光を照射しない
- ●前方センサーのレンズを汚したり、傷を付けたりしない フロントウインドウガラス内側を掃除するときは、ガラスクリーナーがレンズ に付着しないようにしてください。また、レンズにはふれないでください。 レンズに汚れ、傷がある場合は、トヨタ販売店にご相談ください。
- ●前方センサーに強い衝撃や力を加えない
- ●前方センサーの取り付け位置や向きを変更したり、取りはずしたりしない
- ●前方センサーを分解しない
- ●前方センサー付近に電子機器や、強い電波を発信する機器を取り付けない
- ●インナーミラー·サンバイザーなどの前方センサー周辺部品や天井を改造しない
- ●ボンネット・フロントグリル・フロントバンパーに、前方センサーの視界をさ えぎる可能性のあるアクセサリーを取り付けない 詳しくはトヨタ販売店にご相談ください。
- ●ルーフ上に全長の長い荷物(サーフボードなど)を積むときは、前方センサー の視界をさえぎらないようにする
- ●ヘッドランプなどのランプ類を改造しない
- ●ダッシュボードには、何も取り付けたり置いたりしない

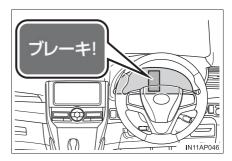
PCS(プリクラッシュセーフティシステム)*

進路上の車両を前方センサーで検出し、衝突の可能性が高いと判断したときに、警報やブレーキ力制御により運転者の衝突回避操作を補助します。また、衝突の可能性がさらに高まったと判断したときは、自動的にブレーキを作動させることで、衝突回避を支援、あるいは衝突被害の軽減に寄与します。

必要に応じて、プリクラッシュセーフティシステムの ON / OFF や警報タイミングを切りかえることができます。(→ P. 167)

◆ 衝突警報

先行車と衝突の可能性が高いと判断したとき、"ピピピ・・・"とブザー音が鳴り、マルチインフォメーションディスプレイに警告メッセージを表示し、回避操作をうながします。



◆ プリクラッシュブレーキアシスト

先行車と衝突の可能性が高いと判断したとき、ブレーキペダルが踏まれる強さに反応してブレーキ力を増強します。

◆ プリクラッシュブレーキ

先行車と衝突の可能性が高いと判断したときに衝突警報を行い、さらに衝突の可能性が高まったと判断したときは、ブレーキが自動でかかり、衝突回避を支援、あるいは衝突速度の低減に寄与します。

★:グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

▲ 警告

■安全にお使いいただくために

- ●安全運転を行う責任は運転者にあります。常に周囲の状況を把握し、安全運転 に努めてください。
 - プリクラッシュセーフティシステムを日常のブレーキ操作のかわりには絶対に使用しないでください。本システムはあらゆる状況で衝突を回避または衝突の被害を軽減するものではありません。システムに頼ったり、安全を委ねる運転をしたりすると思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- ●プリクラッシュセーフティシステムは衝突の回避を支援、あるいは衝突被害の 軽減に寄与することを目的として設計していますが、その効果はさまざまな条件によりかわり、常に同じ性能を発揮できるものではありません。 次の項目をお読みいただき、システムを過信せず安全運転に努めてください。
 - ・衝突の可能性がなくてもシステムが作動するおそれがあるとき:→P. 169
 - ・システムが正常に作動しないおそれがあるとき:→P. 173
- お客様ご自身でプリクラッシュセーフティシステムの作動テストを行わない でください。状況によってシステムが正常に作動せず、思わぬ事故につながる おそれがあります。

■プリクラッシュブレーキについて

- ●プリクラッシュブレーキは運転者の操作状態によっては作動しません。運転者がアクセルペダルを強く踏んでいたり、ハンドルを操作したりしていると、場合によっては運転者の回避操作とシステムが判断し、プリクラッシュブレーキが作動しない場合があります。
- ●プリクラッシュブレーキ作動中に、アクセルペダルを強く踏んだり、ハンドルを操作したりすると、場合によっては運転者の回避操作とシステムが判断し、 プリクラッシュブレーキの作動が解除されます。
- ●プリクラッシュブレーキ作動時は、強いブレーキがかかります。プリクラッシュブレーキは車両が停止してから約2秒後に解除されます。必要に応じて運転者自らブレーキをかけてください。
- ●ブレーキペダルを踏んでいるときは、運転者の回避操作とシステムが判断し、 プリクラッシュブレーキの作動開始タイミングを遅らせる場合があります。
- ●走行中、システムは踏切の遮断機などの前方障害物を衝突対象物と認識し、プリクラッシュブレーキを作動させることがあります。万一踏切内に閉じ込められた場合などは、以下の操作で車両を前進させ、状況に応じて安全を確保して下さい。
 - ・車両停止後に再度アクセルペダルを踏む
 - ・減速中にアクセルペダルを深く踏み込む (→ P. 168)
 - ・プリクラッシュセーフティシステムを OFF にする (→ P. 167)

▲ 警告

■プリクラッシュセーフティシステムを OFF にするとき

次のときは、システムを OFF にしてください システムが正常に作動せず、思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、 最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- けん引されるとき
- けん引するとき
- ▶ラック・船舶・列車などに積載するとき
- ●車両をリフトで上げ、エンジンを始動しタイヤを空転させるとき
- ●点検でシャシーダイナモやフリーローラーなどを使用するとき
- ●事故や故障で自車の走行が不安定なとき
- ●オフロード走行やスポーツ走行をするとき
- ●タイヤの性能を発揮できないとき
- ●メーカー指定のサイズ以外のタイヤを取り付けているとき
- ●タイヤチェーンを装着しているとき
- ●応急用タイヤやタイヤパンク応急修理キットを使用しているとき

プリクラッシュセーフティシステムの設定変更

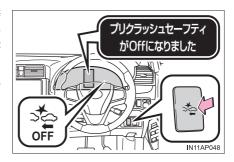
■ プリクラッシュセーフティシステムの ON/OFF を変更する

システムを OFF にするには、PCS スイッチを 3 秒以上押す。

システムを OFF にすると、PCS 警告灯が点灯し、マルチインフォメーションディスプレイにメッセージが表示されます。

システムを ON にするには、もう一度 PCS スイッチを押します。

エンジンを始動するたび、プリクラッシュセーフティシステムは ON になります。



■ プリクラッシュセーフティシステムの警報タイミングを変更する

PCS スイッチを押すとマルチインフォメーションディスプレイに現在の警報タイミングが表示されます。表示された状態で PCS スイッチを押すごとに、次のように警報タイミングが切りかわります。

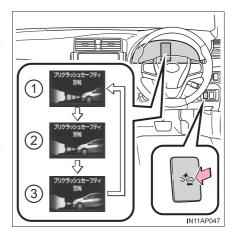
いったん警報タイミングを変更すると、次回エンジンを始動したときにも、そのままの状態が続きます。

(1) 遠い

「中間」より警報タイミングが早くな る

- ② 中間初期設定
- ③ 近い

「中間」より警報タイミングが遅くな る



□ 知識

■システムの作動条件

プリクラッシュセーフティシステムが ON で、先行車と衝突の可能性が高いと判断したときに作動します。

各機能の作動速度は次のとおりです。

●衝突警報

- · 自車速度約 15km/h ~ 140km/h
- ・自車から見た先行車との相対速度約 15km/h 以上
- プリクラッシュブレーキアシスト
 - · 自車速度約30~80km/h
 - ・自車から見た先行車との相対速度約 30km/h 以上
- ●プリクラッシュブレーキ
 - · 自車速度約 10~80km/h
 - ・自車から見た先行車との相対速度約 10km/h 以上

ただし、次のときシステムは作動しません。

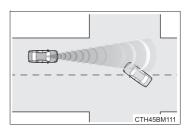
- ●バッテリー端子を脱着したあと、しばらく走行するまでのあいだ
- ●シフトレバーが R のとき
- VSC が OFF のとき(衝突警報のみ作動可能状態になります)
- ●PCS 警告灯が点滅または点灯しているとき

■プリクラッシュブレーキの作動解除

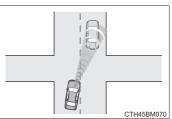
- ●プリクラッシュブレーキ作動中に次の操作をすると、プリクラッシュブレーキ の作動が解除されます。
 - · アクセルペダルを強く踏み込む[※]
 - ・ハンドルを大きくきる、またはすばやく操作する
 - ** 車速が約15 km/h 以下でアクセルペダルを強く踏み込んだ場合、誤発進操作とシステムが判断してプリクラッシュブレーキの作動が解除されないことがあります。
- ●プリクラッシュブレーキの作動により車両が停止したときは、車両が停止して から約2秒後にプリクラッシュブレーキの作動が解除されます。

■衝突の可能性がなくてもシステムが作動するおそれがあるとき

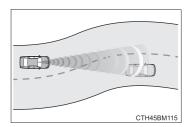
- ●例えば次のような状況では、システムが衝突の可能性があると判断し、作動するおそれがあります。
 - ・右左折待ちの対向車とすれ違うとき



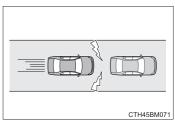
・右左折時に対向車とすれ違ったとき



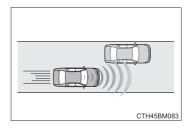
・隣の車線の前方車両との位置関係がずれる道(曲がりくねった道など)を走行するとき



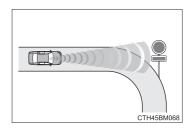
・先行車に急速に接近したとき



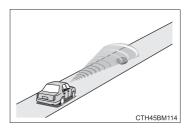
- ・路面にうねり・凹凸があるときなど、車両姿勢が変化しているとき
- ・車両や構造物のすぐそばを通過すると き



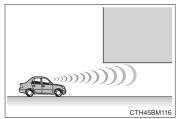
・カーブの入り口の道路脇に車両・構造物 が存在するとき



- ・ 道路脇が構造物に囲まれた狭い道 (狭いトンネル・鉄橋など) を走行するとき
- ・路上または道路脇に反射物(マンホール・鉄板など)・段差・くぼみ・突起物があるとき



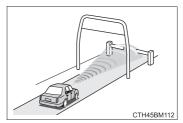
・道路上方に構造物(天井の低いトンネル・道路標識など)がある場所を走行するとき



・上り坂で進行方向の道路上方に構造物 (立体交差・道路標識・看板・街灯など) があるとき

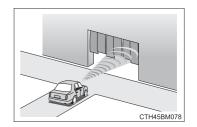


・ETC ゲートや駐車場のゲートなどの開 閉バーに急速に接近したとき

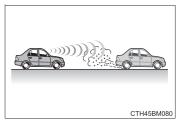


洗車機を使用するとき

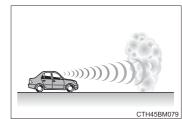
・車両に覆い被さるような障害物(垂れ 幕・垂れ下がった枝・生い茂った草な ど)がある場所を走行するとき



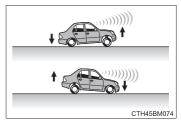
・前方車両から水・雪・土埃などの巻き上げがあるとき



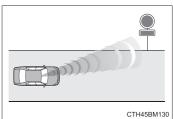
・車両前方に水蒸気や煙などがあるとき



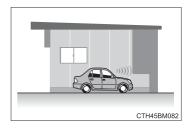
- ・路面または壁面に車両との区別がつきにくい模様・ペイントがあるとき
- ・車両姿勢が変化しているとき



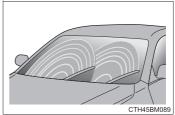
・センサーへの強い衝撃などにより、センサーの向きがずれているとき



・前方センサーの高さに突き出た障害物 がある場所に駐停車するとき

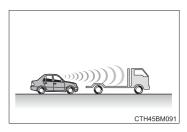


フロントウインドウガラスが雨滴などで覆われているとき

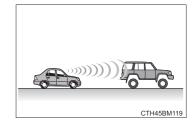


■システムが正常に作動しないおそれのあるとき

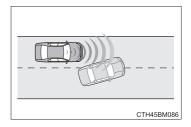
- 例えば次のような状況では、前方センサーが対象となる車両を検出できず、システムが正常に作動しないおそれがあります。
 - 前方から自車に向かって車両が近づいてくるとき
 - ・前方車両が横向き、自車向きのとき
 - ・ 先行車の後端面積が小さいとき (空荷のトラックなど)
 - ・ 先行車の後端が低い位置にあるとき (低 床トレーラーなど)



- ・前方車両の荷台から荷物がはみ出しているとき
- ・前方車両の最低地上高が極端に高いとき

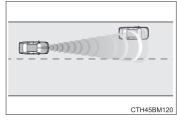


- ・ 前方車両が特殊な形状のとき (トラクター・サイドカーなど)
- ・前方車両が太陽光などを強く反射しているとき
- ・車両が横から割り込んできたり、飛び出してきたりしたとき



- ・ 前方車両が急な動きをしたとき (急ハンドル・急加速・急減速など)
- ・自車が車線変更を行い、変更した車線の先行車に急接近したとき

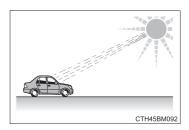
・前方車両と自車の中心がずれていると き



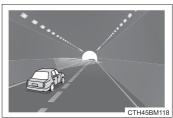
· 悪天候(雨·霧·雪·砂嵐など)のとき



- 前方車両から水・雪・土埃などの巻き上げがあるとき
- ・水蒸気や煙などで前方車両が見えないとき
- ・周囲の明るさが急激に変化する場所を走行するとき(トンネルの出入り口など)
- ・強い光 (太陽光や対向車のヘッドランプ 光など) が前方センサーに直接あたって いるとき

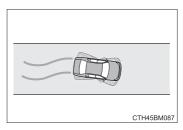


・薄暗いとき(朝方・夕方など)、および 夜間やトンネル内

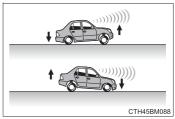


・カーブ走行中およびカーブを曲がりきってからしばらくの間

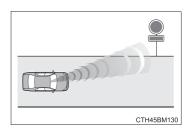
・自車が横すべりしているとき



・車両姿勢が変化しているとき



- ・ホイールアライメントがずれているとき
- ワイパーブレードが前方センサーの視界をさえぎっているとき
- ふらつき運転をしているとき
- ・過度な高速走行をしているとき
- きついカーブや起伏がある場所を走行するとき
- ・先行車がレーザー波を反射しにくい状態のとき
- ・センサーへの強い衝撃などにより、センサーの向きがずれているとき



- 例えば次のような状況では、制動力が十分に得られず、システムの性能を発揮できないおそれがあります。
 - ・ブレーキ性能が十分に発揮できない場合(ブレーキ部品が極度に冷えている・加熱している・濡れているなど)
 - ・車両の整備状態(ブレーキ部品・タイヤの磨耗や空気圧など)が良好でない とき
 - ・砂利道や滑りやすい路面を走行しているとき

■PCS 警告灯が点滅、およびマルチインフォメーションディスプレイに「プリクラッシュセーフティ現在使用できません」が表示されたとき

システムが一時的に作動しない、またはシステムに異常があるおそれがあります。

- ●次のときは、状況が改善されると PCS 警告灯・警告メッセージが消え、作動可能状態になります。
 - ・炎天下に駐車したあとなど、前方センサー周辺の温度が高いとき
 - ・フロントウインドウガラスが曇ったり、結露したり、凍結したりしていると き (→ P. 238, 245)
 - ・極寒の環境などで、前方センサーや前方センサー周辺の温度が低いとき
 - ・ボンネットが開いているときや、フロントウインドウガラスの前方センサー 付近にシールが貼り付けられているときなど、前方センサーの前方がさえぎ られているとき
- PCS 警告灯が点滅したままのとき、および警告メッセージが表示されたままのときは、トヨタ販売店で点検を受けてください。
- ■マルチインフォメーションディスプレイに「プリクラッシュセーフティ故障 販売店で点検してください」が表示されたときは

システムに異常があるおそれがあります。トヨタ販売店で点検を受けてください。

■VSC を停止したとき

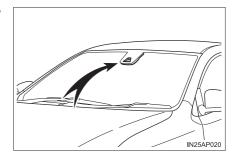
- TRC と VSC の作動を停止(→ P. 226) したときは、プリクラッシュブレーキアシスト・プリクラッシュブレーキの作動も停止します。ただし、衝突警報は作動します。
- PCS 警告灯が点灯し、マルチインフォメーションディスプレイに「VSC が Off のためプリクラッシュブレーキも停止します」が表示されます。

LDA(レーンディパーチャーアラート∕車線逸脱警報)★

機能概要

白(黄)線の整備された道路を走行中、車線からの逸脱の可能性を運転 者に警告します。

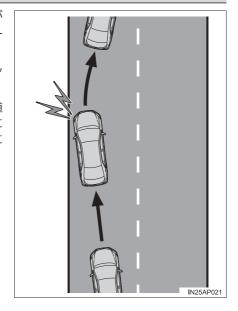
LDA は、フロントウィンドウガラ ス上部の前方センサーで、白(黄) 線を認識します。



車線逸脱警報機能

車両が車線から逸脱する可能性がある場合に、マルチインフォメーションディスプレイの表示および、警報ブザーにより注意をうながします。

警報ブザーが鳴ったときは、周りの道路状況を確認の上、ハンドルを慎重に操作して、白(黄)線内の中央付近にもどってください。



★:グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

A 警告

■LDA をお使いになる前に

LDA を過信しないでください。LDA は自動で運転する装置でも前方への注意を軽減する装置でもないため、運転者は常に自らの責任で周囲の状況を把握し、ハンドル操作で進路を修正し、安全運転を心がけてください。また、長時間の運転などによる疲労時は適切に休憩をとってください。

適切な運転操作をしなかったり、注意を怠ったりすると、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

■誤作動を防ぐために

LDA を使用しないときは、LDA スイッチでシステムを OFF にしてください。

■LDA の故障、または誤作動を防ぐために

- ◆ヘッドランプを改造したり、ランプの表面にステッカーなどを貼ったりしないでください。
- ●サスペンションなどを改造しないでください。交換が必要な場合は、トヨタ販売店にご相談ください。
- ●ボンネットやグリルの上には、何も取り付けたり置いたりしないでください。 また、グリルガード(ブルバー・カンガルーバーなど)を取り付けたりしない でください。
- ●フロントウインドウガラスの修理が必要な場合は、トヨタ販売店にご相談ください。

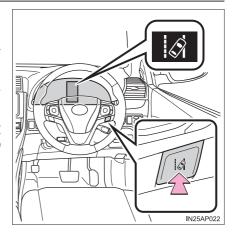
設定のしかた

LDA を使用するにはLDAスイッチ を押す

メーター内のLDA表示灯が緑色で点灯します。

OFF にするには再度 LDA スイッチを押します。

いったん LDA を ON/OFF すると、次 回エンジンを始動したときにも、その ままの状態が続きます。

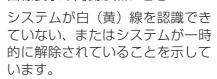


IN25AP025

マルチインフォメーションディスプレイ表示



白線表示の内側が黒いとき:



白線表示の内側が白いとき:

システムが白(黄)線を認識してい ることを示しています。車両が車線 から逸脱した場合、逸脱している側 の白線表示が橙色で点滅します。

知識

■作動条件

次の条件をすべて満たしたとき作動します。

- ●LDA を ON にしているとき
- ●車速が約50km/h以上のとき
- ●システムが白(黄)線を認識しているとき
- ●車線の幅が約 3m 以上のとき
- 方向指示レバーを操作していないとき
- ●直線路または半径が約 150m よりゆるいカーブを走行しているとき
- ●システムの異常が検知されていないとき (→ P. 182)

■機能の一時解除

作動条件(→ P. 180) が満たされなくなった場合、一時的に機能が解除されますが、ふたたび作動条件が満たされると、自動的に復帰します。

■車線逸脱警報機能について

外部の騒音やオーディオの音などにより、警報ブザーが聞きとりにくい場合があります。

■白(黄)線が片側にしかないとき

白(黄)線が認識できていない方向への車線逸脱警報は作動しません。

■炎天下に駐車したあとは

走行開始後、しばらくのあいだ LDA は作動せず、マルチインフォメーションディスプレイに警告メッセージが表示されることがあります。室内温度が低下し、前方センサー周辺(→ P. 160)の温度が適温になると作動するので、いったんLDA スイッチを OFF にして、しばらくしてから ON にしてください。

■機能が正常に作動しないおそれのある状況

次のような状況では、前方センサーが白(黄)線を正しく検知できず、車線逸脱 警報機能が正しく作動しないおそれがあります。

- ●白(黄)線に平行するような影がある、または白(黄)線が影の中にあるとき
- ▶料金所や検札所の手前や交差点など、白(黄)線がない場所を走行するとき
- ●白(黄)線がかすれている、またはキャッツアイ(道路鋲)や置き石などがあるとき
- ●白(黄)線が砂ぼこりなどで見えない、または見えにくくなっているとき
- ●雨天・雨上がり・水たまりなどぬれた路面を走行しているとき
- ●車線が黄色のとき(白線にくらべて認識率が低下することがあります)
- ●白(黄)線が縁石等の上に引かれているとき
- ●コンクリート路のような明るい路面を走行しているとき
- ●照り返しなどにより明るくなった路面を走行しているとき
- ●トンネルの出入口など明るさが急変する場所を走行しているとき
- ■対向車のヘッドランプ光・太陽光などがカメラに入射しているとき
- ●分岐・合流路などを走行しているとき
- ●坂道を走行しているとき
- ●左右に傾いた道路やうねった道路を走行しているとき
- ●舗装されていない道路や荒れた道路を走行しているとき
- ●急カーブを走行しているとき
- ●車線の幅が極端に狭いとき、または広いとき
- ●重い荷物の積載やタイヤ空気圧の不足などで、車両が著しく傾いているとき
- ●先行車との車間距離が極端に短くなったとき
- ●走行中の路面状況(悪路・道路の継ぎ目など)により、車両が上下に大きく揺れているとき
- 夜間にヘッドランプのレンズが汚れて照射が弱いときや、光軸がずれていると き
- ●車線変更をした直後、または交差点を通過した直後

■警告メッセージ

走行操作に関して注意が必要な場合や、システムに異常が発生したときには、警告メッセージで注意をうながします。(→P. 182)

警告メッセージが表示されても、通常の走行に支障はありません。

■警告メッセージ

次のメッセージがマルチインフォメーションディスプレイに表示された場合は、対処方法に従って適切に対処してください。

警告メッセージ	警告内容·対処方法		
LDA 故障 販売店で点検 してください	システムが正常に作動しなくなっているおそれがある 警告ブザーが鳴り、マスターウォーニングが点灯します。 → ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。		
前方カメラー時使用不可 ガラスの汚れや曇りを 取ってください	カメラセンサーの前のフロントウインドウガラスの汚れ・雨滴・結露・氷雪などが付着している → いったん LDA を OFF にして、汚れ・雨滴・結露・氷雪などを取り除いてから、再度 LDA を ON にしてください。		
前方カメラー時使用不可 しばらくお待ちください	カメラセンサーの作動条件(温度など)が満た されていない → カメラセンサーの作動条件(温度など)が満 たされると、LDA は使用可能になります。 いったん LDA を OFF にして、しばらく待っ てから、再度 LDA を ON にしてください。		
LDA 約50km/h以下 で使用できません	車速が約50km/h以下のためLDAが使用できません → 約50km/h以上で走行してください。		
LDA 現在の車速では 使用できません	車速が LDA の作動可能範囲を超えたため、使用できない → 車速を落として走行してください。		

その他の警告メッセージが表示されたときは、表示された画面の指示に従ってください。

■カスタマイズ機能

次の設定を変更できます。

機能	設定内容	
車線逸脱警報	警報感度	

設定変更のしかたは、P. 74を参照してください。

オートマチックハイビーム*

オートマチックハイビームは、フロントウインドウガラス上部に設置された前方センサーにより前方車両や街路灯などの明るさを判定し、自動的にハイビームとロービームを切りかえます。

▲ 警告

■安全にお使いいただくために

オートマチックハイビームを過信しないでください。運転者は常に自らの責任 で周囲の状況を把握し、安全運転を心がけ、必要に応じて手動でハイビームと ロービームを切りかえてください。

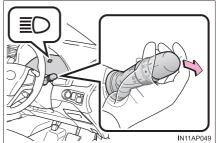
■オートマチックハイビームの誤操作を防ぐために

荷物を積み過ぎないでください。

オートマチックハイビームの使い方

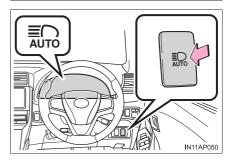
1 ランプスイッチをAUTO★または





2 オートマチックハイビームス イッチを押す

オートマチックハイビームが作動する と、オートマチックハイビーム表示灯 が点灯します。



★:グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

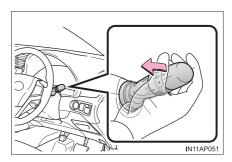
手動切りかえのしかた

■ ロービームへの切りかえ

レバーをもとの位置にもどす

オートマチックハイビーム表示灯が 消灯します。

オートマチックハイビームにもどすには、再度レバーを前方に押します。

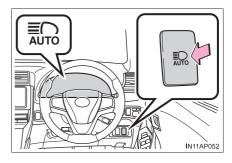


■ ハイビームへの切りかえ

オートマチックハイビームス イッチを押す

オートマチックハイビーム表示灯が 消灯し、ハイビーム表示灯が点灯し ます。

オートマチックハイビームにもどすときは、再度スイッチを押します。



□ 知識

■作動条件

スマートエントリー&スタートシステム非装着車: エンジン スイッチが "ON"のとき

スマートエントリー&スタートシステム装着車: エンジンスイッチがイグニッション ON モードのとき

■ハイビームとロービームの自動切りかえ条件

次の条件をすべて満たすと、ハイビームを点灯します。

- ●車速が約 30km/h 以上
- ●車両前方が暗い
- ■対向車または先行車が存在しない、またはランプを点灯していない
- ●前方の道路沿いの街路灯の光が少ない

次の条件のいずれかのときはロービームが点灯します。

- ●車速が約 25km/h 以下
- ●車両前方が明るい
- ●対向車または先行車がランプを点灯している
- ●前方の道路沿いの街路灯の光が多い

■前方センサーについて

- ●次の状況では、ハイビームが自動でロービームに切りかわらない場合があります。
 - ・見通しの悪いカーブで対向車と突然すれ違ったとき
 - ・他車が前方を横切ったとき
 - ・連続するカーブや中央分離帯、街路樹などで対向車や先行車が見え隠れするとき
- 対向車のフォグランプにより、ハイビームがロービームに切りかわる場合があります。
- ●街路灯や信号・広告などの照明、または標識・看板などの反射物によりハイビームがロービームに切りかわる場合や、ロービームが継続する場合があります。

- ●次の原因により、ハイビームとロービームの切りかえのタイミングが変化する場合があります。
 - 対向車または先行車のランプの明るさ
 - ・対向車または先行車の動きや向き
 - 対向車または先行車のランプが片側のみ点灯しているとき
 - 対向車または先行車が二輪車のとき
 - ・道路の状態(勾配やカーブ、路面状況など)
 - ・ 乗車人数や荷物の量
- ●ハイビームとロービームが運転者の感覚に合わず切りかわる場合があります。
- ●自転車などの軽車両は検知しない場合があります。
- ●次の状況では、周囲の明るさが正確に検知されず、ハイビームが対向車や先行車の迷惑になる場合や、ロービームが継続する場合があります。このような場合は、手動でハイビームとロービームを切りかえてください。
 - ・悪天候時(霧・雪・砂嵐・大雨など)
 - フロントウインドウガラスが汚れているときや、曇っているとき
 - フロントウインドウガラスにひび割れや破損があるとき
 - 前方センサーが変形しているときや、汚れているとき
 - 前方センサーの温度が非常に高いとき
 - ・周囲にヘッドランプや尾灯などに似た光があるとき
 - ・前方車両のランプが無灯火のときや、ランプに汚れや変色があったり光軸が ずれているとき
 - ・急激な明るさの変化が連続するとき
 - ・起伏や段差が多い道路を走行しているとき
 - カーブが多い道路を走行しているとき
 - ・車両前方に標識やミラーのように光を強く反射するものがあるとき
 - ・コンテナなど、先行車両の後部が光を強く反射するとき
 - ・自車のヘッドランプが破損または汚れているとき
 - パンクやけん引などにより車両が傾いているとき
 - ハイビームとロービームをひんぱんに切りかえているとき
 - ・ハイビームの使用に問題がある、または他の運転者・付近の歩行者の迷惑に なると思われるとき
- ■マルチインフォメーションディスプレイに「AHB はハイビーム点灯が必要です」 のメッセージが表示されたとき

ハイビームに切りかえてください。

■マルチインフォメーションディスプレイに「ヘッドランプシステム故障 販売店で 点検してください」の警告メッセージが表示されたとき

システムに異常があるおそれがあります。トヨタ販売店で点検を受けてください。

先行車発進告知機能★

先行車の発進後、自車が停車し続けた場合、警告ブザーと表示でお知ら せする機能です。

先行車発進告知機能

前の車に続いて停車しているとき に先行車を認識し続け、先行車が発 進してしばらく進んでも自車が停 車し続けた場合にマルチインフォ メーションディスプレイに告知し ます。



□知識

■作動条件

シフトレバーが P、R 以外の位置でブレーキペダルを踏んで停車している、またはシフトレバーが N で停車しているとき

■先行車が発進したのに告知されない可能性があるとき

次の状況では先行車発進告知機能による告知がされない場合があります。

- ●自車と先行車の停車位置がずれており、先行車を正しく認識できないとき
- ●坂道やカーブなどにより、先行車を正しく認識できないとき
- 先行車の背面形状 (けん引をしている車両や荷物を積んでいないトレーラー、雪や泥などが大量に付着している車両など)により、先行車を正しく認識できないとき
- ●前方センサー視界上のフロントガラスに泥、雪、氷、ステッカー等が付着し、先 行車を正しく認識できないとき
- ●先行車が二輪車のとき
- ●先行車の右左折や車線変更などにより、先行車を認識できなくなったとき
- ●先行車を認識できないような悪天候時(霧・雪・砂嵐・激しい雨など)
- ●前方センサー周辺への強い衝撃などにより、前方センサーの向きがずれ、先行車を正しく認識できないとき
- ハンドルを大きくきっているとき
 - ★:グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

■先行車が発進していなくても告知する可能性があるとき

次の状況では告知されない状況でも告知がされるおそれがあります。システムを過信せずに、先行車の動きを確認してから発進してください。

- ■悪天候(霧・雪・砂嵐・激しい雨など)により、先行車の発進を誤認識したとき
- ●坂道やカーブなどにより、間違った対象を先行車と認識しているとき
- ●前方センサー周辺への強い衝撃などにより、前方センサーの向きがずれ、間違った対象を先行車と認識しているとき
- ●交差点を先頭で停車時、交差点の先の車両や正面を横切る車両などを先行車と 認識したとき
- ●自車と先行車のあいだに、他の車両や歩行者などが割りてんだり通過したとき

■先行車発進告知機能を ON / OFF するには

マルチインフォメーションディスプレイの設定画面(→ P. 74)により、先行車 発進告知機能を ON / OFF にできます。

- 1 メーター操作スイッチを押し、設定画面から「先行車発進」を選択し決定ボタンを押す
- 2 先行車発進画面の「告知設定」を選択し、決定ボタンを押す
- 3 ON / OFF を選択し、決定ボタンを押す
 - ① ON (告知機能有)
 - ② OFF (告知機能なし)



■先行車発進告知機能の告知タイミングを切りかえるには

マルチインフォメーションディスプレイの設定画面 (→ P. 74) により、先行車 発進告知機能の告知タイミングを変更することができます。

- 1 メーター操作スイッチを押し、設定画面から「先行車発進」を選択し決定ボタンを押す
- 2 先行車発進画面の「告知タイミング」を選択し、決定ボタンを押す
- 3 告知タイミングを選択し、決定ボタンを押す
 - (1) 早い
 - ② 普通
 - ③ 遅い

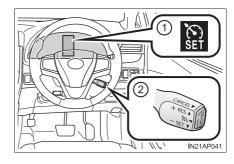


クルーズコントロール★

機能概要

アクセルペダルを踏まなくても、一定の速度で走行できます。

- (1) クルーズコントロール表示灯
- ② クルーズコントロールスイッチ

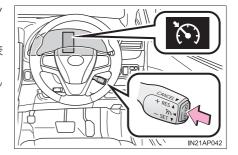


速度を設定する

1 ON-OFF スイッチを押して、システムを ON にする

メーター内のクルーズコントロール表示灯が点灯します。

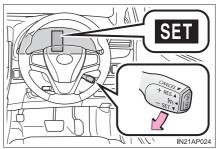
OFF にするには、再度スイッチを押します。



2 希望の速度まで加速/減速し、レ バーを下げて設定する

メーター内のクルーズコントロールセット表示灯が点灯します。

レバーを離したときの速度で定速走行できます。



★:グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

設定速度を変えるには

設定速度を変えるには、希望の速度になるまでレバーを操作します。

- (1) 速度を上げる
- (2) 速度を落とす

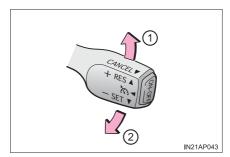
微調整:レバーを上または下に軽く操 作して手を離す

調整:希望の車速になるまでレバーを 保持する

設定速度は、次の通りに増減されます: 微調整: レバー操作するごとに約

1.6km/h

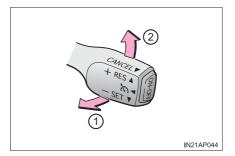
調整:レバーを保持する間



定速走行を解除する・復帰させる

- 1 解除するには、レバーを手前に引く
 - ブレーキを踏んだときも解除されます。
- ② 定速走行にもどすには、レバーを 上げる

レバーを上げると、もとの定速走行に もどります。ただし、実際の速度が約 40 km/h 以下になると設定速度が消 去されるため、復帰しません。



■設定条件について

- ●シフトレバーが D または S のとき設定できます。
- 東度は約40~約100 km/hの範囲で設定できます。

■車速設定後の加速について

- ●通常走行と同様にアクセルで加速できます。加速後、設定車速にもどります。
- ●クルーズコントロールを解除しなくても、希望の速度まで加速して、レバーを 下げることにより設定車速を変更することができます。

■定速走行の自動解除

次のとき、自動的に定速走行が解除されます。

- ●設定速度より実際の速度が約 16 km/h 以上低下した
- ●実際の速度が約 40 km/h 以下になった
- VSC が作動した
- ■定速走行中、マルチンフォメーションディスプレイに「クルーズコントロール故障 販売店で点検してください」が表示されたとき

ON-OFF スイッチでシステムを一度 OFF にし、再度設定してください。 設定できないとき、またはすぐに解除されるときは、システム異常のおそれがあ ります。トヨタ販売店で点検を受けてください。

▲ 警告

■誤操作を防ぐために

クルーズコントロールを使用しないときは、ON-OFF スイッチでシステムをOFF にしてください。

■クルーズコントロールを使用してはいけない状況

次の状況では、クルーズコントロールを使用しないでください。 車のコントロールを失い、思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最 悪の場合死亡につながるおそれがあります。

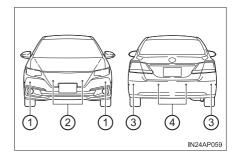
- ●交通量の多い道
- ●急カーブのある道
- ●曲がりくねった道
- ●雨天時や、凍結路、積雪路などのすべりやすい路面
- ●急な下り坂 急な下り坂では設定車速以上になることがあります。

クリアランスソナー★

クリアランスソナーは、低速(約 10km/h 以下)で運転しているときに、車両と障害物とのおおよその距離を超音波センサーによって感知して、メーター内のマルチインフォメーションディスプレイの距離表示とブザー音で運転者にお知らせする補助装置です。

センサーの位置・種類

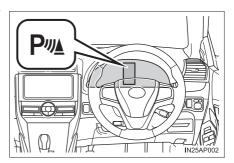
- (1) フロントコーナーセンサー
- ② フロントセンサー
- ③ リヤコーナーセンサー
- (4) バックセンサー



クリアランスソナーの設定変更

マルチインフォメーションディスプレイの 画面 (→ P. 74) から、クリアランスソナーの ON (作動) / OFF (非作動) を変更することができます。

ON(作動)を選択すると、クリアランスソナー表示灯が点灯します。

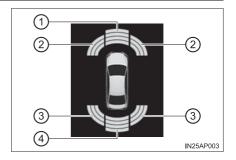


OFF (非作動) に切りかえて、クリアランスソナーを停止させた場合、再度、マルチインフォメーションディスプレイの 画面から ON (作動) に切りかえないとシステムは復帰しません。
(エンジンスイッチの操作では復帰しません)

★:グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

クリアランスソナーの表示のしかた

- (1) フロントセンサー作動表示
- ② フロントコーナーセンサー作動表示
- ③ リヤコーナーセンサー作動表示
- 4 バックセンサー作動表示



距離表示の見方

	障害物までのおおよその距離			
表示*	_	フロントコーナー& フロントセンサー	リヤコーナー& バックセンサー	
(点灯)	遠い 本	フロントセンサー: 約 100cm ~ 60cm	バックセンサー: 約 150cm ~ 60cm	
(点灯)		コーナーセンサー: 約 60cm ~ 45cm フロントセンサー: 約 60cm ~ 45cm	コーナーセンサー: 約 60cm ~ 45cm バックセンサー: 約 60cm ~ 45cm	
(点灯)		コーナーセンサー: 約 45cm ~ 35cm フロントセンサー: 約 45cm ~ 35cm	コーナーセンサー: 約 45cm ~ 35cm バックセンサー: 約 45cm ~ 35cm	
(点滅)	▼ 近い	コーナーセンサー: 約 35cm 以下 フロントセンサー: 約 35cm 以下	コーナーセンサー: 約 35cm 以下 バックセンサー: 約 35cm 以下	

[※] イラストは説明のための例であり、センサーの検知状態により表示は異なります。(→ P. 194)

ブザーについて

障害物を感知すると、ブザーが鳴ります。

■ フロント側またはリヤ側のみで障害物を感知しているとき

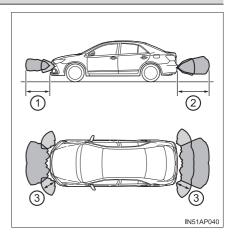
- 障害物との距離が近付くと、ブザーの断続時間が短くなります。障害物との距離が次のとき、ブザーは断続音「ピピピ」から連続音「ピー」になります。
 - ・フロントコーナーセンサーが感知した障害物との距離が約 35cm以下
 - ・フロントセンサーが感知した障害物との距離が約 35cm 以下
 - ・リヤコーナーセンサーが感知した障害物との距離が約 35cm 以下
 - ・バックセンサーが感知した障害物との距離が約 35cm 以下
- 複数のセンサーが同時に障害物を感知しているときは、最も近い障害物との距離に合わせたブザー音が鳴ります。

■ 障害物を車両の前後で同時に感知したとき

- フロント側、またはリヤ側で障害物を感知してブザーが連続で鳴っているとき、反対側(フロントまたはリヤ)で新たに障害物を感知すると、ブザー音は「ピピピピピピピピピピピピピピー」をくり返します。
- フロント側、またはリヤ側で障害物を感知してブザーが連続で鳴っているとき、反対側(フロントまたはリヤ)でもブザーが連続で鳴る範囲内に障害物を感知すると、ブザー音は「ピピピーピー」をくり返します。

障害物を感知できる範囲

- (1)約100cm (約1.0m)
- ②約150cm(約1.5m)
- ③ 約60cm (約0.6m)
 - ・感知できる範囲は右図のとおりで す。ただし、障害物がセンサーに 近付きすぎると感知できません。
 - ・障害物の形状・条件によっては感知できる距離が短くなることや、感知できないことがあります。



□ 知識

■作動条件

エンジンスイッチが ON または ON モードのとき

- フロントコーナーセンサー:
 - シフトポジションが P 以外にあるとき
 - ・車速が約 10km/h 以下のとき
- フロントセンサー:
 - シフトポジションが P・R 以外にあるとき
 - ・車速が約10km/h以下のとき
- リヤコーナーセンサー/バックセンサー:
 - ・シフトポジションが B にあるとき
 - ・車速が約10km/h以下のとき

■センサーの感知について

- ●センサーの感知範囲は車両前部と後部のバンパー周辺に限られます。
- ●障害物の形状・条件によって感知できる範囲が短くなることや、感知できない ことがあります。
- ●センサーが障害物に近付きすぎると感知できないことがあります。
- ●障害物を感知してから、表示やブザーが出るまでに多少時間がかかります。低速走行時の場合でも、表示やブザーが出る前に障害物まで、約35cm以内に接近するおそれがあります。
- ●センサーより低い物体や細い杭などは、一度感知しても接近すると突然感知しなくなることがあります。
- ●オーディオ(装着車のみ)・エアコン使用時は、音楽やファンの音などにより、 ブザーの音が聞き取りづらくなる場合があります。

▲ 警告

■クリアランスソナーをお使いになる前に

必ず次のことをお守りください。

お守りいただかないと思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

- ●車速が約 10km/h をこえないようにしてください
- ●センサーの感知範囲、作動速度には限界があります。車を前進・後退するときは、必ず車両周辺(特に車両側面など)センサー感知範囲外の安全を確認し、ブレーキで車速を十分に制御し、ゆっくり運転してください
- ●センサーが感知する範囲にはアクセサリー用品などを取り付けないでください

▲ 警告

■センサーについて

次のとき、クリアランスソナーが正常に作動しないことがあり、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。注意して運転してください。

- ●センサーに氷・雪・泥などが付着したとき(取り除けば、正常に復帰します)
- ●センサー部が凍結したとき(解ければ、正常に復帰します) 特に低温時には凍結などにより異常表示が出たり、障害物があっても感知しないことがあります。
- ●ヤンサーを手などで覆ったとき
- ●炎天下や寒冷時
- ●凸凹道・坂道・砂利道・草むら走行時など
- ●他車のホーン・オートバイのエンジン音・大型車のエアブレーキ音・他車のクリアランスソナーなどの超音波を発生するものが近付いたとき
- どしゃぶりの雨や水しぶきがかかったとき
- ●冠水している道路でセンサーに水が被ったとき
- ●車両姿勢が大きく傾いたとき
- ●市販のフェンダーポール・無線機アンテナ・フォグランプを車に付けたとき
- ●背の高い縁石や直角の縁石に向かって進んだとき
- ●標識などのものによっては感知距離が短くなります。
- ●バンパー真下付近は感知しません。 センサーより低いものや細い杭などは、一度感知しても接近すると突然感知しなくなることがあります。
- ●センサーに障害物が近付きすぎたとき
- ●バンパーやセンサー部付近にものをぶつけたときや、たたくなどの強い衝撃を 与えたとき
- ▶ヨタ純正品以外のサスペンションを取り付けたとき
- ●自車付近にクリアランスソナーを装備している別の車両があるとき
- ●けん引フックを取り付けたとき
- ●字光式ナンバープレートを取り付けたとき

上記に加えて障害物の形状・条件によっては感知できる範囲が短くなることや、 感知できないことがあります。

▲ 警告

■正確に感知できないことがある障害物

次のようなものは感知しないことがあります。注意して運転してください。

- 針金・フェンス・ロープなどの細いもの
- ●綿・雪などの音波を吸収しやすいもの
- ●鋭角的な形のもの
- ●背の低いもの
- ●背が高く上部が張り出しているもの
- 人・動物などの動いているもの

特に人は衣類の種類によっても検知できない場合がありますので、常に目視で確認してください。

⚠ 注意

■クリアランスソナー使用時の注意

次のとき、センサーの異常などにより装置が正常に作動しなくなっているおそれがあります。トヨタ販売店で点検を受けてください。

- ●障害物を感知してない状態で、クリアランスソナーの作動表示が点滅し、ブザーが鳴ったとき
- ●センサー部付近に物をぶつけたときや、たたくなどの強い衝撃を与えたとき
- ●バンパーをぶつけたとき
- ●ブザー音がしないのにクリアランスソナーの作動表示が点灯したままのとき

■洗車時の注意

- ●高圧洗車機を使用して洗車するときは、センサー部に直接水をあてないでください。強い水圧により衝撃が加わり、正常に作動しなくなるおそれがあります。
- ●スチームを使用した洗車機などで洗車するときは、スチームをセンサー部に近付けすぎないようにしてください。スチームにより、正常に作動しなくなるおそれがあります。

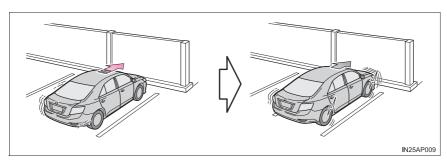
インテリジェントクリアランスソナー*

駐車時や低速走行時における障害物への衝突のおそれがあるときや、アクセルペダルの踏み間違いや踏みすぎによる急発進、および、シフトポジション選択を誤っての発進時に、センサーが前後進行方向の障害物を検知するとシステムが作動し、壁などの障害物への衝突を緩和し被害低減に寄与します。

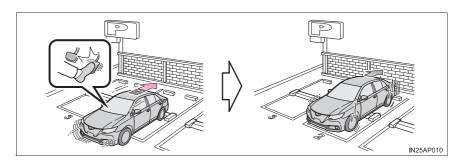
システム作動例

次のようなときに進行方向の障害物を感知してシステムが作動します。

◆ 低速走行時にブレーキペダルを踏み忘れてしまった、または踏み遅れ てしまったとき

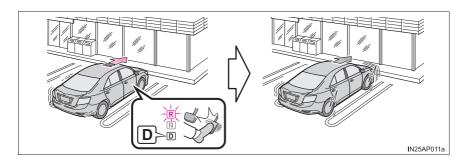


◆ アクセルペダルを踏みすぎてしまったとき



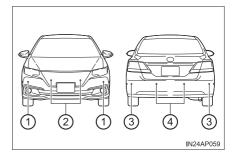
★:グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

◆ シフトポジションの選択を誤って発車してしまったとき



センサーの種類

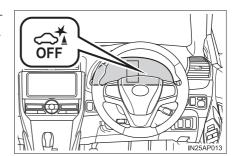
- (1) フロントコーナーセンサー
- ② フロントセンサー
- ③ リヤコーナーセンサー
- (4) バックセンサー



インテリジェントクリアランスソナーの設定変更

マルチインフォメーションディスプレイの設定画面 (→ P. 74) から、インテリジェントクリアランスソナーの ON (作動) / OFF (非作動) を変更することができます。

インテリジェントクリアランスソナーが OFF (非作動) になっているときは、ICS OFF 表示灯が点灯します。

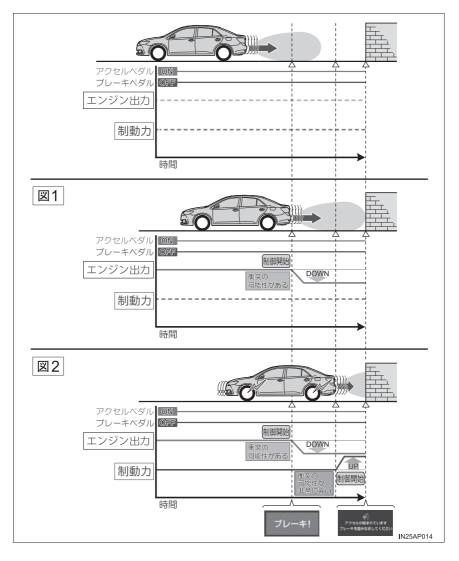


OFF (非作動) に切りかえて、インテリジェントクリアランスソナーを停止させた場合、再度、マルチインフォメーションディスプレイの設定画面から ON (作動) に切りかえないとシステムは復帰しません。(エンジンスイッチの操作では復帰しません)

作動について

インテリジェントクリアランスソナーは、衝突の可能性がある障害物を 感知したとき、エンジンの出力を抑制することにより車速の上昇を抑え ます。(エンジン出力抑制制御:下記図 1)

また、そのままアクセルペダルを踏み続けた場合は、ブレーキをかけ減速させます。(ブレーキ制御:下記図2)



作動条件について

■ 作動開始条件

ICS OFF 表示灯が点灯・点滅 (→ P. 203, 210) しておらず、次の 条件をすべて満たすと作動します。

- ▶ エンジン出力抑制制御
- ・インテリジェントクリアランスソナーを ON (作動) にしているとき
- ・車速が 15km/h 以下
- ・車両進行方向に障害物がある(2~4m 先まで)
- ・衝突回避には、通常よりやや強めのブレーキ操作が必要とシステム が判断した
- ▶ ブレーキ制御
- ・エンジン出力抑制制御作動中
- ・衝突回避には、急ブレーキ操作が必要とシステムが判断した

■ 作動終了条件

次のいずれかの条件のときに作動が終了します。

- ▶ エンジン出力抑制制御
- ・インテリジェントクリアランスソナーを OFF(停止)にした
- ・通常のブレーキ操作で衝突回避が可能になった
- ・車両進行方向の障害物がなくなった(2~4m 先まで)
- ▶ ブレーキ制御
- ・インテリジェントクリアランスソナーを OFF (停止) にした
- ・ブレーキ制御により車両が停止して約2秒が経過した
- ・ブレーキ制御により車両が停止したあとに、ブレーキペダルを踏んだ
- ・車両進行方向の障害物がなくなった(2~4m 先まで)

■エンジン出力抑制制御・ブレーキ制御の表示・ブザーについて

エンジン出力抑制制御・ブレーキ制御が作動したときは、ブザーでお知らせするとともに、マルチインフォメーションディスプレイにメッセージが表示されます。

出力抑制制御は状況により、加速制限制御か出力最大抑制制御のいずれかが作動します。

制御	状況	マルチ インフォメーション ディスプレイ表示	ICS OFF 表示灯	ブザー
エンジン出力 抑制制御作動中 (加速制限 制御)	一定以上の加速ができない状況	加速抑制中です	消灯の まま	
エンジン出力 抑制制御作動中 (出力最大抑制 制御)	通常よりやや強 めのブレーキ操 作が必要な状況	ブレーキ!	消灯の まま	"ポーン" (単発音)
ブレーキ制御 作動中	急ブレーキが 必要な状況			
システム作動により車両停止	ブレーキ制御作 動後に車両が 停止した状況	アクセルが踏まれています ブレーキを踏みなおしてください	点灯	

■センサーの感知範囲について

インテリジェントクリアランスソナーの感知範囲は、クリアランスソナーの感知 範囲 (→ P. 197) とは異なります。

そのため、クリアランスソナーが障害物との接近をお知らせしても、インテリジェントクリアランスソナーは作動を開始していない場合があります。

■システムが作動したとき

システム作動により車両が停止した場合、インテリジェントクリアランスソナーが停止して、ICS OFF 表示灯が点灯します。

■システムの復帰について

システム作動によりインテリジェントクリアランスソナーが停止したときに、インテリジェントクリアランスソナーを復帰させたい場合は、再度、インテリジェントクリアランスソナーを ON にし停止を解除 (→ P. 203) するか、エンジンスイッチをいったん OFF にしてから再度、ON モードにしてください。また、進行方向の障害物がなくなった状態で東西を表行させたとき、または東西

また、進行方向の障害物がなくなった状態で車両を走行させたとき、または車両の進行方向が入れかわった(前進から後退、または後退から前進に切りかえた)ときはシステムが自動的に復帰します。

■センサーが感知しない障害物について

次のような障害物は、センサーが感知しない場合があります。

- ●人や綿、雪など音波を反射しにくいもの (特に人は衣類の種類によっても感知できない場合があります)
- ●地面に対して垂直でないもの、車両進行方向に対して直角でないもの、凸凹な もの、波打っているもの
- ●背の低いもの
- ●針金・フェンス・ロープ・標識の支柱などの細いもの
- バンパーに非常に近いもの

■クリアランスソナーのブザーについて

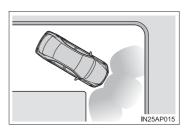
クリアランスソナーの ON / OFF に関係なく (→ P. 193)、インテリジェント クリアランスソナーを停止させていなければ (→ P. 203)、前側センサーまた はうしろ側センサーが障害物を感知してブレーキ制御が作動すると、クリアランスソナーのブザーも鳴り、障害物とのおよその距離をお知らせします。

■衝突の可能性がなくてもシステムが作動する状況

次のような状況では、衝突の可能性がなくてもシステムが作動する場合があります。

周辺環境の影響

・狭い道路を走行するとき



砂利道・草むらなどを走行するとき



- ・垂れ幕や旗、垂れ下がった枝、遮断機(踏切のバー・ETC のバー・駐車場の バーなど)に向かって走行するとき
- ・道路脇に障害物があったとき(狭いトンネル・狭い鉄橋・狭い道路などを走 行したとき)
- · 紛列駐車時
- ・地面にわだちや穴がある場合
- ・排水溝などの金属のフタ(グレーチング)走行時
- ・ 急な登坂路を走行するとき
- ・冠水している道路でセンサーに水が被ったとき

● 天候の影響

- ・ センサーに氷・雪・泥などが付着したとき(取り除けば、正常に復帰します)
- どしゃぶりの雨や水しぶきがかかったとき
- ・霧・雪・砂嵐などの悪天候の状況

●他の音波の影響

- ・他車のホーン・オートバイのエンジン音・大型車のエアブレーキ音・車両感 知器・他車のクリアランスソナーなど超音波を発生するものが付近にいたと き
- ・センサー付近に市販の電装部品 (字光式ナンバープレート < 特に蛍光灯タイプ>・フォグランプ・フェンダーポール・無線アンテナなど)を取り付けたとき

●車両の変化

- ・車両姿勢が大きく傾いたとき
- ・ 積載状況などにより車高が著しく変化した場合(ノーズアップ・ノーズダウンなど)
- ・衝突などで、センサーの方向ズレが発生したとき

■万一、踏切などでインテリジェントクリアランスソナーが誤って作動したとき

万一、踏切などでインテリジェントクリアランスソナーが誤って作動しても、ブレーキ制御は約2秒で解除されるため、そのまま前進することで脱出できます。また、ブレーキペダルを踏んでも、ブレーキ制御は解除されるため、再度アクセルペダルを踏むことで前進し、脱出できます。

■システムが正常に作動しないおそれのある状況

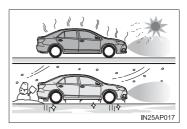
次のような状況では、システムが正常に作動しない場合があります。

■周辺環境の影響

- ・感知できる障害物と車両のあいだに、感知できない障害物がある場合
- ・車・二輪車・自転車・歩行者などの障害物が車両の横から割り込んだり、飛び出してきたとき

●天候の影響

・炎天下や寒冷時でセンサー周辺部が著 しく高温または低温の場合



・ 風が強いとき



- ・センサーに氷・雪・泥などが付着したとき(取り除けば、正常に復帰します)
- どしゃぶりの雨や水しぶきがかかったとき
- ・霧・雪・砂嵐などの悪天候の状況

●他の音波の影響

- ・他車のホーン・オートバイのエンジン音・大型車のエアブレーキ音・車両感 知器・他車のクリアランスソナーなど超音波を発生するものが付近にいたと き
- ・センサー付近に市販の電装部品 (字光式ナンバープレート < 特に蛍光灯タイプ>・フォグランプ・フェンダーポール・無線アンテナなど)を取り付けたとき

車両の変化

- ・車両姿勢が大きく傾いたとき
- ・ 積載状況などにより車高が著しく変化した場合(ノーズアップ・ノーズダウンなど)
- ・衝突などで、センサーの方向ズレが発生したとき

■バッテリーを脱着したとき

システムを初期化する必要があります。

約35km/h以上の車速で5秒以上直進走行することで初期化できます。

■マルチインフォメーションディスプレイに「ICS 現在使用できません」が表示され ICS OFF 表示灯が点滅したとき

- ●センサー部に氷・雪・泥などが付着していることが考えられます。 この場合はセンサーの氷・雪・泥などを取り除けば、正常に復帰します。 また、低温時にはセンサーの凍結などにより異常表示が出たり、障害物があっても感知しないことがあります。氷が解ければ、正常に復帰します。
- ●センサーの汚れを取り除いても表示が出るとき、センサーが汚れていなくても表示が出るときは、トヨタ販売店で点検を受けてください。
- バッテリーを脱着したあとにシステムの初期化がされていないことが考えられます。システムの初期化を行ってください。
- ■マルチインフォメーションディスプレイに「ICS故障 販売店で点検してください」 が表示され ICS OFF 表示灯が点滅しブザーが鳴ったとき

システムが正常に作動しなくなっているおそれがあります。 トヨタ販売店で点検してください。

▲ 警告

■安全にお使いいただくために

システムを過信しないでください。システムを過信すると思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

- ●安全運転を行う責任は運転者にあります。常に周囲の状況を把握し、安全運転に努めてください。インテリジェントクリアランスソナーは衝突緩和という支援ができる場合がありますが、状況によっては作動しない場合もあります。
- ●インテリジェントクリアランスソナーは、完全に車両を停止させるシステムではありません。また、車両を停止させることができたとしても、ブレーキ制御は約2秒で解除されるため、すぐにブレーキペダルを踏んでください。

■システムを正しく作動させるために

センサー (\rightarrow P. 203) について、次のことをお守りください。お守りいただかないと、センサーが正しく作動せず、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です

- ●改造・分解・塗装などをしない
- ●純正品以外に交換しない
- ●センサー周辺へ衝撃を与えない
- ●ヤンサーに傷を付けたりせずに、常にきれいにしておく

■サスペンションの取り扱いについて

車高や車の傾きが変化すると、センサーが障害物を正しく感知できなくなり、システムが作動しなくなったり、不要に作動してしまう場合があるため、サスペンションの改造はしないでください。

注意

■センサーの故障を防ぐために

- ●センサー周辺に衝撃を受けたときは、センサーの故障などにより装置が正常に 作動しなくなっているおそれがあります。トヨタ販売店で点検を受けてください。
- ●高圧洗車機を使用して洗車するときは、センサー部に直接水をあてないでください。強い水圧により衝撃が加わり、正常に作動しなくなるおそれがあります。
- ●スチームを使用した洗車機などで洗車するときは、スチームをセンサー部に近付けすぎないようにしてください。スチームにより、正常に作動しなくなるおそれがあります。

■不要な作動を防ぐために

次のときは、インテリジェントクリアランスソナーを OFF にしてください。 衝突の可能性がなくてもシステムが作動する場合があります。

- 点検などで、シャシーローラー・シャシーダイナモ・フリーローラーなどを使用する場合
- ●船舶・トラックなどへ積載する際の進入時
- ●ローダウンサスペンションや、純正と異なるサイズのタイヤを取り付けた場合
- 積載状況などにより車高が著しく変化した場合 (ノーズアップ・ノーズダウン など)
- ●けん引フックを取り付けた場合

Stop & Start System *

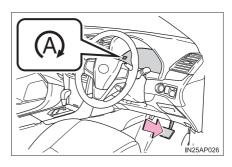
赤信号や交差点などの一時的な停車中、燃費向上やアイドリング騒音低減のため、エンジンスイッチを操作することなく、ブレーキペダルなどの操作によってエンジンを停止・再始動させるシステムです。

D・S・B レンジアイドリングストップ

■ エンジンが停止する

シフトレバーを D·S·B で走行中、ブレーキペダルを踏み車両を完全に停止させると、エンジンが自動的に停止します。

Stop & Start 表示灯がマルチイン フォメーションディスプレイに点灯 します。



■ エンジンが再始動する

ブレーキペダルから足を離すと、エンジンが再始動します。 Stop & Start 表示灯が消灯します。

★:グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

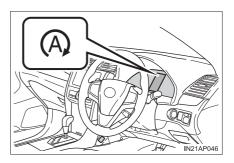
P・N レンジアイドリングストップ

■ エンジンが停止する

- 1 ブレーキペダルを踏み、車両を完全に停止させる
- 2 シフトレバーをNにすると、エンジンが自動的に停止します。 (→ P. 139)

エンジンが停止し Stop & Start 表示灯がマルチインフォメーション ディスプレイに点灯します

D·S·B レンジアイドリングストップ状態で、シフトレバーを P または N にしても、エンジンの停止状態は継続されます。



■ エンジンが再始動する

シフトレバーを D·S·B·R のいずれかにすると、エンジンが再始動します。(\rightarrow P. 139)

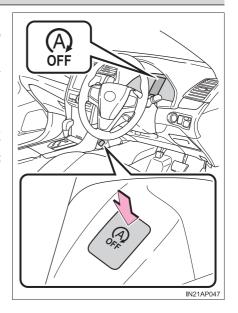
シフトレバーの操作はブレーキペダルを踏んで行ってください。 エンジンが再始動し、Stop & Start 表示灯が消灯します。

Stop & Start システムを非作動にするには

Stop & Start システムを非作動に するには Stop & Start キャンセル スイッチを押す

Stop & Start キャンセル表示灯がマルチインフォメーションディスプレイに点灯します。

もう一度 Stop & Start キャンセルス イッチを押すと、作動可能状態にもど り、Stop & Start キャンセル表示灯が 消灯します。



■ Stop & Start システムの自動再開

Stop & Start システムを Stop & Start キャンセルスイッチによって非作動にしていても、一度エンジンスイッチを "LOCK"(スマートエントリー&スタートシステム非装着車)または OFF(スマートエントリー&スタートシステム装着車)にしてから、エンジンスイッチを "ON"(スマートエントリー&スタートシステム非装着車)またはイグニッション ON モード(スマートエントリー&スタートシステム装着車)にすることによって、Stop & Start システムは自動的に作動可能状態にもどります。

■ Stop & Start キャンセルスイッチを押したとき

- Stop & Start システムによるエンジン停止中、Stop & Start キャンセルスイッチを押すとエンジンが再始動します。
- Stop & Start システムが非作動のとき、もう一度 Stop & Start キャンセルスイッチを押すと、Stop & Start システムが作動可能 状態にもどりますがエンジンは停止しません。 次に車両が停止したときに、Stop & Start システムによってエンジンが停止します。

坂道発進補助機能

Stop & Start システムによるエンジン停止後、エンジンが再始動し駆動力が発生するまでのあいだ、ブレーキ力を一時的に保持し坂道での車両後退を抑制します。

駆動力が発生すると、保持していたブレーキ力を自動的に解除します。

- 坂道だけでなく、平坦な場所でも作動します。
- ブレーキから音が発生することがありますが異常ではありません。
- ブレーキペダルの踏み応えが変わったり、振動が発生したりすること がありますが異常ではありません。

知識

■作動条件

- ●次の条件がすべて満たされたとき、Stop & Start システムが作動可能状態になります。
 - ブレーキペダルをしっかりと踏んでいるとき
 - エンジンが十分暖まっているとき
 - ・外気温が-5℃以上のとき
 - シフトレバーが R 以外のとき
 - ・ (m) が OFF のとき(オートエアコン装着車)
 - ・ボンネットが閉まっているとき (→ P. 280)
 - 運転席シートベルトを着用しているとき
 - 運転席ドアが閉まっているとき
 - アクセルペダルを踏んでいないとき
- ●次の状況では、Stop & Start システムによるエンジン停止が行われない場合がありますが、異常ではありません。
 - ・外気温が高い、または低いときに、エアコンを使用しているとき
 - ・バッテリーが十分に充電されていないとき(長期間の駐車後などバッテリー の充電量が低下、電気負荷が大きい、バッテリー温度が低い、バッテリー劣 化など)、および定期的な充電中のとき
 - ・ブレーキ倍力装置の負圧が低下したとき
 - ・ 勾配が急な坂道で停車したとき
 - ハンドル操作をしているとき
 - ・渋滞などで、断続的に停車するとき
 - · 標高が高いとき
 - ・エンジン冷却水温やトランスミッション油温が低いとき、または高すぎるとき
 - バッテリー液温が低いとき、または高すぎるとき
 - ・バッテリーを交換したあとしばらくの期間、またはバッテリー端子をはずし たあとしばらくの期間

- Stop & Start システムによるエンジン停止中、次のときはエンジンが自動的に 再始動します。(Stop & Start システムによるエンジン停止を再度行うには、 一度走行してください)
 - ・エアコンを ON にしたとき
 - ・ (w) を ON にしたとき(オートエアコン装着車)
 - ハンドルを操作したとき
 - ・シフトレバーが P・N で、アイドリングストップ中、シフトレバーを D・S・B・Bに操作したとき
 - 運転席シートベルトをはずしたとき
 - 運転席ドアを開けたとき
 - アクセルペダルを踏んだとき
 - · Stop & Start キャンセルスイッチを押したとき
 - ・坂道などで車両が動き出したとき
- Stop & Start システムによるエンジン停止中、次のときはエンジンが再始動する場合があります。(Stop & Start システムによるエンジン停止を再度行うには、一度走行してください)
 - ブレーキペダルをさらに強く踏み込む、またはポンピングブレーキをしたとき
 - エアコンを使用しているとき
 - ・バッテリーの充電量が低下しているとき

■ボンネットを開けたときは

- シフトレバーが D·S·B でアイドリングストップ中にボンネットを開けた場合、 エンジンは自動で再始動しません。シフトレバーを P にして通常のエンジン始 動操作 (\rightarrow P. 131, 134) でエンジンを始動させてください。
- ●ボンネットが開いている状態でエンジンを始動したときは、ボンネットを閉めても Stop & Start システムは作動しません。ボンネットを閉め一度エンジンスイッチを "LOCK" (スマートエントリー&スタートシステム非装着車)または OFF (スマートエントリー&スタートシステム装着車)にし、30 秒以上待ってからエンジンを始動してください。

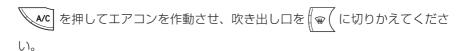
■Stop & Start システムについて

- Stop & Start システムは赤信号や交差点などの一時的な停車のときに使用し、長時間停車する場合などには、エンジンを停止してください。
- Stop & Start システムが作動できないときやキャンセルされたとき、または Stop & Start システムに異常が発生したときには、警告メッセージ・警告ブザーで注意を促します。(\rightarrow P. 220)
- ●アイドリングストップ中にエンジンスイッチを押してもエンジンは自動で再始動しません。シフトレバーを P にして通常のエンジン始動操作でエンジンを始動してください。
- Stop & Start システムの作動によりエンジン停止状態からエンジンが再始動するとき、一時的にアクセサリーソケットなどが使用できないことがありますが異常ではありません。
- ●電装品・無線機の取り付け・取りはずしは Stop & Start システムに悪影響をおよぼす可能性がありますので、トヨタ販売店にご相談ください。

■ Stop & Start システムによるエンジン停止中、フロントウインドウガラスが曇ったとき

Stop & Start キャンセルスイッチを押してエンジンを再始動してください。

▶マニュアルエアコン装着車



▶ オートエアコン装着車

(象) を押してください。

断続的にフロントウインドウガラスが曇るときは、Stop & Start キャンセルス イッチを押して Stop & Start システムを非作動にしてください。

■Stop&Start システムによるエンジン停止中、エアコン吹き出し口から臭いが発生したとき

▶マニュアルエアコン装着車

アイドリングストップ時間の「LONG(長め)」を選択しているときは「NORMAL(通常)」を選択してください。

「NORMAL(通常)」を選択して臭いが発生したときは、Stop & Start キャンセルスイッチを押して Stop & Start システムの作動を停止してください。

▶オートエアコン装着車

Stop & Start キャンセルスイッチを押して Stop & Start システムの作動を停止してください。

■Stop & Start システムによるエンジン停止中のエアコン作動について

- ●オート設定で空調システムを使用しているときに、Stop & Start システムによりエンジンが停止した場合は、冷房時の温度上昇や暖房の温度低下を抑えるためファンの風量を弱めたり、停止したりすることがあります。
- ●空調の効きをより良くしたいときは、Stop&Start キャンセルスイッチを押し、 Stop & Start システムを非作動にしてください。

■エアコンが ON のときのアイドリングストップ時間の切りかえについて

次のそれぞれの操作により、エアコンが ON のときの Stop & Start システムによるエンジン停止時間を切りかえることができます。(エアコンが OFF のときの Stop & Start システムによるエンジン停止時間は切りかえできません)

▶ Stop & Start キャンセルスイッチ長押しによる設定

Stop & Start キャンセルスイッチを 3 秒以上押し続けるごとに、「NORMAL」 (通常)・「LONG」(長め) が切りかわります。 (マルチインフォメーションディスプレイの「Stop & Start システム情報」画面、または「設定」画面で確認できます)

- ▶ 「設定 | 画面からの設定
- → P. 74

■Stop & Start システム保護機能(販売店装着オプションのオーディオ装着車)

- ▶スマートエントリー&スタートシステム非装着車
- ●大音量でオーディオを使用しているとき、バッテリーの消費を抑えるために オーディオを自動的に OFF にする場合があります。この場合、エンジンスイッ チを"LOCK"にして 3 秒以上待ってから"ACC"または"ON"にし、オー ディオを再開させてください。
- ●バッテリーの端子を外して再接続したときに、オーディオが作動しないことがあります。この場合、いったんエンジンスイッチを"LOCK"にし、次の操作を2回繰り返すことでオーディオが作動します。
 - ・エンジンスイッチを"ON"にし、再度エンジンスイッチを"LOCK"する
- ▶スマートエントリー&スタートシステム装着車
- ●大音量でオーディオを使用しているとき、バッテリーの消費を抑えるために オーディオを自動的に OFF にする場合があります。この場合、エンジンスイッ チを OFF にして 3 秒以上待ってからアクセサリーモードまたはイグニッショ ン ON モードにし、オーディオを再開させてください。
- ●バッテリーの端子を外して再接続したときに、オーディオが作動しないことがあります。この場合、いったんエンジンスイッチを OFF にし、次の操作を 2 回繰り返すことでオーディオが作動します。
 - ・エンジンスイッチをイグニッション ON モードにし、再度エンジンスイッチを OFF にする

■バッテリーを交換するとき

→ P. 351

■アイドリングストップ時間など Stop & Start システムの作動表示

マルチインフォメーションディスプレイの「Stop & Start システム情報」 (\rightarrow P. 70) で Stop & Start システムの作動状態を表示します。

現在	現在のアイドリングストップ時間(Stop & Start システムによるエンジン停止時間)を表示します。
始動後	エンジン始動後のアイドリングストップ時間(Stop & Start システムによるエンジン停止時間)を通算で表示します。
リセット間	リセット後のアイドリングストップ時間(Stop & Start システムによるエンジン停止時間)を通算で表示します。
始動後節約燃料	エンジン始動後のアイドリングストップで節約した 燃料(参考)を表示します。
リセット間節約燃料	リセット後のアイドリングストップで節約した燃料 (参考) を表示します。

「リセット間」と「リセット間節約燃料」をリセットできます。

→ P. 72

■マルチインフォメーションディスプレイのメッセージについて

Stop & Start システムによるエンジン停止が行われないときや、Stop & Start システムによるエンジン停止中にエンジンが自動的に再始動したときにマルチインフォメーションディスプレイに次のメッセージが表示されます。

● Stop & Start システムによるエンジン停止が行われないとき

メッセージ	状況
グ ブレーキをもう少し 踏み込んでください	ブレーキペダルを踏む力が足りない → 車両停止後、ブレーキペダルを少し踏み足 すと作動開始します
グ エアコン優先	 ・外気温が高い、または低いときにエアコンを使用している →設定温度と室内温度の差が小さくなると作動しやすくなります ・ を押している(オートエアコン装着車)

メッセージ	状況
	 ・バッテリーの充電量が低下している可能性があります → バッテリーの充電を優先するため、一時的にアイドリングストップを禁止していますが、エンジンをしばらく作動させると作動可能状態になります。
	・リフレッシュ充電中の可能性があります(参考シーン:定期的な充電中のときバッテリー交換したあとしばらくの期間、またはバッテリー端子をはずしたあとしばらくの期間など) →約5~60分間のリフレッシュ充電が完了
グ バッテリー充電中	すると作動可能状態になります。 ・ボンネットが開いている状態でエンジン始動 した可能性があります → ボンネットを閉め一度エンジンスイッチを OFF にし、30 秒以上待ってからエンジン を始動してください
	・バッテリーが冷えている可能性があります→ エンジンをしばらく作動させることでエンジンルーム内の温度上昇に伴い回復します
	・バッテリーが非常に熱くなっている可能性があります→ エンジンルーム内の温度が十分に下がると作動可能状態になります。
	●長期間にわたって継続的に表示される場合 バッテリー劣化の可能性がありますので トヨタ販売店に相談してください。
グブレーキシステム	・ブレーキ倍力装置の負圧が低下した・標高が高い→ ブレーキ倍力装置の負圧が所定値まで生成されると作動可能状態に戻ります
グ シートベルト非装着	運転席のシートベルトをはずしている
グ ボンネット開	ボンネットが開いている
グ 専用バッテリー非装着	・Stop & Start システム専用品以外のバッテリーを装着した可能性があります→Stop & Start システムが作動しません。トヨタ販売店で点検を受けてください。

● Stop & Start システムによるエンジン停止中にエンジンが自動的に再始動したとき

メッセージ	状況	
ズ エアコン優先	・エアコンを ON にした、またはエアコンを使用している ・	
グ ブレーキシステム	・ブレーキペダルをさらに強く踏み込む、またはポンピングブレーキをした → 走行することによりブレーキ倍力装置の負圧が所定値まで生成されると作動可能状態に戻ります	
グ バッテリー充電中	・バッテリーの充電量が低下している可能性があります→ バッテリーの充電を優先させるため、エンジンを再始動しました。エンジンをしばらく作動させると回復します	
グ ハンドル操作	ハンドル操作をした	
グ シートベルト非装着	運転席のシートベルトをはずした	
ボンネット開	ボンネットが開いている	

■システムに異常があるおそれについて

次のときはシステムに異常があるおそれがあります。ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。

- ●マルチインフォメーションディスプレイに「アイドリングストップ故障 販売店 で点検してください」が表示された
- ●Stop & Start キャンセル表示灯が点滅している

▲ 警告

■Stop & Start システムが作動しているとき

- Stop & Start システムによるエンジン停止中 (Stop & Start 表示灯が点灯中) は、ブレーキペダルを踏み、必要に応じてパーキングブレーキをかけてください。
- Stop & Start システムによるエンジン停止中 (Stop & Start 表示灯が点灯中) は、車から離れないでください。エンジンが自動的に始動する場合があるため、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。
- ●換気が悪い場所では、Stop & Start システムを非作動にしてください。 エンジンが自動的に再始動する場合があるため、排気ガスが充満し、重大な健 康障害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

⚠ 注意

■Stop & Start システムを正常に作動させるために

次のようなときは Stop & Start システムが正常に作動しないおそれがあります。トヨタ販売店で点検を受けてください。

- ■運転席シートベルトを着用しているときに、メーター内のシートベルト非着用 警告灯が点滅するとき
- ■運転席シートベルトをはずしているときに、メーター内のシートベルト非着用 警告灯が点灯しないとき
- ●運転席ドアを閉めているときに、マルチインフォメーションディスプレイにドア開警告表示が表示される、またはフロントパーソナルランプスイッチがドアポジションのときにフロントパーソナルランプが点灯するとき
- ●運転席ドアを開けているときに、マルチインフォメーションディスプレイにドア開警告表示が表示されない、またはフロントパーソナルランプスイッチがドアポジションのときにフロントパーソナルランプが点灯しないとき

運転を補助する装置

走行の安全性や運転性能を高めるため、走行状況に応じて次の装置が自動で作動します。ただし、これらの装置は補助的なものなので、過信せずに運転には十分に注意してください。

◆ ABS (アンチロックブレーキシステム)

急ブレーキ時や、すべりやすい路面でのブレーキ時にタイヤのロック 防止に貢献し、スリップを抑制します。

◆ ブレーキアシスト

急ブレーキ時などに、より大きなブレーキ力を発生させます。

◆ VSC (ビークルスタビリティコントロール)

急なハンドル操作や、すべりやすい路面で旋回するときに横すべりを 抑え、車両の姿勢維持に寄与します。

◆ S-VSC (ステアリングアシステッドビークルスタビリティコントロール)

ABS・TRC・VSC・EPS を協調して制御します。 すべりやすい路面などの走行で急なハンドル操作をした際に、ハンドル操作力を制御することで、車両の方向安定性確保に貢献します。

◆ TRC (トラクションコントロール)

すべりやすい路面での発進時や加速時にタイヤの空転を抑え、駆動力 の確保に貢献します。

◆ EPS (エレクトリックパワーステアリング)

電気式モーターを利用して、ハンドル操作を補助します。

◆ ヒルスタートアシストコントロール

上り坂やすべりやすい丘面での発進する時に、ブレーキペダルから足を離しても一時的に制動力を保持し、発進操作を補助します。

◆ 緊急ブレーキシグナル

急ブレーキ時に非常点滅灯を自動的に点滅させることにより、後続車に注意をうながし、追突される可能性を低減させます。

◆ アクティブトルクコントロール 4WD ★

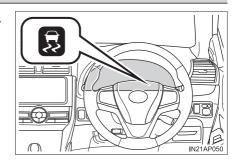
通常走行からコーナリング時、登坂時、発進時、加速時や雪や雨などですべりやすい路面など様々な走行状態に応じて、FF(前輪駆動)走行状態から 4WD(4 輪駆動)走行状態まで自動的に制御し、安定した操縦性・走行安定性に寄与します。

◆ 坂道発進補助機能★

坂道での発進性を補助するため、駆動力が発生するまでのあいだブレーキ油圧(ブレーキの効き)を一時的に保持して、車両が後退するのを抑制し、坂道発進を容易にします。(→ P. 215)

VSC・TRC が作動しているとき

TRC・VSC が作動しているときは、 スリップ表示灯が点滅します。



TRC を停止するには

ぬかるみや砂地、雪道などから脱出するときに、TRC が作動していると、 アクセルペダルを踏み込んでもエンジンの出力が上がらず、脱出が困難

な場合があります。このようなときに



スイッチを押すことによ

り、脱出しやすくなる場合があります。

TRC を停止するには



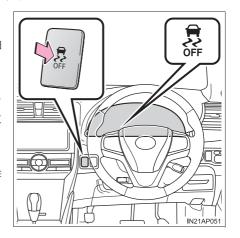
を押

す

VSC OFF 表示灯が点灯し、マルチインフォメーションディスプレイに「TRC Off しました」と表示されます

もう一度 を押すと、システム作

動可能状態にもどります。



■TRC と VSC を停止するには

TRC と VSC を停止するには停車時に Physics を押し、3 秒以上保持してください。

VSC OFF 表示灯が点灯し、マルチインフォメーションディスプレイに「TRC Off しました」と表示されます。**

もう一度 🌡 を押すと、システム作動可能状態にもどります。

** PCS (プリクラッシュセーフティシステム) 装着車は、プリクラッシュブレー キアシスト・プリクラッシュブレーキも停止します。PCS 警告灯が点灯し、マ ルチインフォメーションディスプレイにメッセージが表示されます。 (→ P. 176)

■VSC OFF スイッチを押さなくても TRC OFF 表示灯が点灯したとき

TRC およびヒルスタートアシストコントロールが作動できない状態になっています。トヨタ販売店にご相談ください。

■ABS・ブレーキアシスト・TRC・VSC・ヒルスタートアシストコントロールの 作動音と振動

- ■エンジン始動時や発進直後、エンジンルームから作動音が聞こえることがありますが、異常ではありません。
- ●上記のシステムが作動すると、次のような現象が発生することがありますが、異常ではありません。
 - ・車体やハンドルに振動を感じる
 - ・車両停止後もモーター音が聞こえる
 - · ABS の作動時に、ブレーキペダルが小刻みに動く
 - · ABS の作動終了後、ブレーキペダルが少し奥に入る

■EPS モーターの作動音

ハンドル操作を行ったとき、モーターの音("ウィーン" という音)が聞こえる ことがありますが、異常ではありません。

■TRC や VSC の自動復帰について

TRC や VSC を作動停止にしたあと、以下のときはシステム作動可能状態に戻ります。

- ●エンジンスイッチが "LOCK" (スマートエントリー&スタートシステム非装着車) または OFF (スマートエントリー&スタートシステム装着車) にしたとき
- (TRC のみを作動停止にしている場合) 車速が高くなったとき 但し、TRC と VSC の作動を停止している場合は、車速による自動復帰はあり ません。

■EPS の効果が下がるとき

停車中か極低速走行中に長時間ハンドルをまわし続けると、EPSシステムのオーバーヒートを避けるため、EPSの効果が下がりハンドル操作が重く感じられるようになります。

その場合は、ハンドル操作を控えるか、停車し、エンジンを停止してください。 10分程度でもとの状態にもどります。

■ヒルスタートアシストコントロールの作動条件

次のときシステムが作動します。

- ●シフトレバーの位置が P または N 以外(前進または後退での上り坂発信時)
- ●車両停止状態
- ●アクセルを踏んでいない
- パーキングブレーキがかかっていない

■ヒルスタートアシストコントロールの自動解除

次のいずれかのときシステムが解除されます。

- シフトレバーを P または N の位置にした
- ●アクセルを踏んだ
- ●パーキングブレーキをかけた
- ●ブレーキペダルから足を離して約2 秒経過した

■緊急ブレーキシグナルの作動条件

次のときシステムが作動します。

- ●非常点滅灯が点滅していないこと
- ●車速 55km/h 以上
- ●ブレーキペダルが踏み込まれ、車両の減速度から急ブレーキだと判断された

■緊急ブレーキシグナルの自動解除

次のいずれかのときシステムが解除されます。

- 非常点滅灯を点滅させた
- ●ブレーキペダルを離した
- ●車両の減速度から急ブレーキではないと判断された

⊿

■マルチインフォメーションディスプレイに 4WD システムに関するメッセージが表示されたときは(4WD車)

それぞれ、次のように対処してください。

メッセージ	状況	対処方法
4WD システム高温 2WD 走行に 切りかわりました	過熱のため4WDシス テムが一時解除され、 2WD走行に切りかわ りました。	しばらくのあいだ停車する、または車速10km/h 以上で走行することで、 4WD システムの負荷を 低減してください。警告 メッセージが消えれば、 問題ありません。
4WD システム故障 2WD 走行になります 販売店で点検	システムの異常により、4WDシステムが 停止し、2WD走行に 切りかわりました。	すみやかにトヨタ販売店 で点検を受けてくださ い。

▲ 警告

■ABS の効果を発揮できないとき

- ●タイヤのグリップ性能の限界をこえたとき(雪に覆われた路面を過剰に摩耗したタイヤで走行するときなど)
- ●雨でぬれた路面やすべりやすい路面での高速走行時に、ハイドロプレーニング 現象が発生したとき

■ABS が作動することで、制動距離が通常よりも長くなる可能性があるとき

ABS は制動距離を短くする装置ではありません。特に次の状況では、常に速度を控えめにして前車と安全な車間距離をとってください。

- ●泥・砂利の道路や積雪路を走行しているとき
- ●タイヤチェーンを装着しているとき
- ●道路のつなぎ目など、段差をこえたとき
- ●凹凸のある路面や石だたみなどの悪路を走行しているとき

▲ 警告

■ヒルスタートアシストコントロールについて

- ●ヒルスタートアシストコントロールを過信しないでください。急勾配の坂や、 凍った路面ではヒルスタートアシストコントロールが効かないことがあります。
- ●ヒルスタートアシストコントロールはパーキングブレーキのように車を長時間駐停車するための機能ではありませんので、同機能を坂道での駐停車のために使用しないでください。思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

■TRC の効果を発揮できないとき

すべりやすい路面では、TRC が作動していても、車両の方向安定性や駆動力が得られないことがあります。車両の方向安定性や駆動力を失うような状況では、特に慎重に運転してください。

■スリップ表示灯が点滅しているとき

VSC が作動中であることを知らせています。常に安全運転を心がけてください。無謀な運転は思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。表示灯が点滅したら、特に慎重に運転してください。

■TRC や VSC を OFF にするとき

TRC や VSC は駆動力や車両の方向安定性を確保しようとするシステムです。 そのため、必要なとき以外は TRC・VSC を作動停止状態にしないでください。 TRC や VSC を作動停止状態にしたときは、路面状況に応じた速度で、特に慎 車な運転を心がけてください。

■タイヤまたはホイールを交換するとき

4輪とも指定されたサイズで、同じメーカー・ブランド・トレッドパターン(溝模様)のタイヤを使用し、推奨された空気圧にしてください。(→ P. 364) 異なったタイヤを装着すると、ABS・TRC・VSC・アクティブトルクコントロール 4WD ★など、運転を補助するシステムが正常に作動しません。 タイヤ、またはホイールを交換するときは、トヨタ販売店に相談してください。



■タイヤとサスペンションの取り扱い

問題があるタイヤを使用したり、サスペンションを改造したりすると、運転を補助するシステムに悪影響をおよぼし、システムの故障につながるおそれがあります。

■アクティブトルクコントロール 4WD について(4WD 車)

- ●ラリー走行などが目的ではなく、一般道での走行安定性への寄与を目的とした 4WDですので、無理な運転はしないでください。
- ●滑りやすい路面での走行は慎重に行ってください。

寒冷時の運転

寒冷時に備えて、準備や点検など正しく処置していただいた上で適切に 運転してください。

冬を迎える準備

- 次のものはそれぞれ外気温に適したものをお使いください。
- ・エンジンオイル
- ・冷却水
- ウォッシャー液
- バッテリーの点検を受けてください。
- 冬用タイヤ(4 輪)やタイヤチェーン(前部タイヤ用)を使用してください。

タイヤは 4 輪とも指定サイズで同一銘柄のものを、タイヤチェーンは タイヤサイズに合ったものを使用してください。 (タイヤについて:→ P. 285)

運転する前に

状況に応じて次のことを行ってください。

- ドアやワイパーが凍結したときは無理に開けたり動かしたりせず、ぬるま湯をかけるなどして氷を溶かし、すぐに水分を十分にふき取ってください。
- フロントウインドウガラス前の外気取り入れ口に雪が積もっているときは、エアコンのファンを正常に作動させるために、雪を取り除いてください。
- 外装ランプ・車両の屋根・タイヤの周辺やブレーキ装置に雪や氷が付いているときは、取り除いてください。
- 乗車する前に靴底に付いた雪をよく落としてください。

運転するとき

ゆっくりスタートし、車間距離を十分にとって控えめな速度で走行してください。

駐車するとき

- パーキングブレーキをかけると、ブレーキ装置が凍結して解除できなくなるおそれがあります。パーキングブレーキはかけずに、シフトレバーを P に入れて駐車し、必ず輪止め^{※ 1} をしてください。輪止めをしないと、車が動き思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。
- ※ ¹ 輪止めは、トヨタ販売店で購入することができます。
 - パーキングブレーキをかけずに駐車するときは、シフトレバーを P に入れた状態でシフトレバーが動かないこと^{※ 2} を確認してください。
- ** ² ブレーキペダルを踏まないで P からシフトするときにロックがかかります。シフトできる場合は、シフトロックシステムなどの故障が考えられます。 ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。

□ 知識

■タイヤチェーンについて

取り付け・取りはずし・取り扱い方法については次の指示に従ってください。

- ●安全に作業できる場所で行う
- 前2輪に取り付ける
- ●タイヤチェーンに付属の取り扱い説明書に従う
- ●取り付け後 0.5 ~ 1.0 km 走行したら締め直しを行う

■寒冷地用ワイパーブレードについて

- ●降雪期に使用する寒冷地用ワイパーブレードは、雪が付着するのを防ぐために 金属部分をゴムで覆ってあります。トヨタ販売店で各車指定のブレードをお求 めください。
- ●高速走行時は、通常のワイパーブレードよりガラスがふき取りにくくなることがあります。その場合には速度を落としてください。

▲ 警告

■冬用タイヤ装着時の警告

次のことを必ずお守りください。

お守りいただかないと、車両のコントロールが不能となり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- ●指定サイズのタイヤを使用する
- ●空気圧を推奨値に調整する
- ●お使いになる冬用タイヤの最高許容速度や制限速度をこえる速度で走行しない
- ●冬用タイヤを装着する際は、必ず 4 輪とも装着する

■タイヤチェーン装着時の警告

次のことを必ずお守りください。

お守りいただかないと、安全に車を運転することができずに、思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- ●装着したチェーンに定められた制限速度、もしくは 30 km/h のどちらか低い 方をこえる速度で走行しない
- ●路面の凹凸や穴を避ける
- ●急ハンドル・急ブレーキを避ける
- ●カーブの入り口手前で十分減速して車のコントロールを失うのを防ぐ

⚠ 注意

■タイヤチェーンの使用について

トヨタ純正タイヤチェーンのご使用をおすすめします。※

トヨタ純正品以外のタイヤチェーンの中には、使用すると車体にあたり、走行のさまたげとなるおそれがあるものもあります。

詳しくはトヨタ販売店にご相談ください。

※ 195/65R15 および、195/55R16 タイヤ装着車は、必ずプレミオ指定 のトヨタ純正合金鋼チェーンスペシャルを使用してください。

■フロントウインドウガラスに付いた氷を除去するとき

たたいて割らないでください。

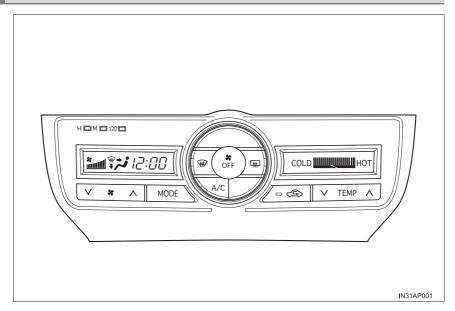
ウインドウガラスの内側(車内側)が割れるおそれがあります。

室内装備・機能

5-1. エアコン・デフォッガーの	5-3. 収納装備の使い方
使い方	収納装備一覧257
マニュアルエアコン236	・グローブボックス258
オートエアコン242	・コンソールボックス259
シートヒーター251	・カップホルダー260
5-2. 室内灯のつけ方	・ボトルホルダー261
室内灯一覧254	・小物入れ262
・フロント	トランク内装備264
パーソナルランプ255	· 三角表示板
・リヤ読書灯255	収納スペース264
	5-4. その他の室内装備の使い方
	その他の室内装備265
	・サンバイザー265
	・バニティミラー265
	· 時計266
	・アクセサリーソケット267
	・リヤセンター
	アームレスト268
	・アシストグリップ268
	・コートフック269
	・オーディオスイッチ 269

マニュアルエアコン★

エアコン操作スイッチについて



■ 温度を調整する

温度を上げるときは 🔽 ฐ 🗥 の "∧" 側を、下げるときは "∨" 側 を押す

押すたびに設定温度が 1 段階ずつかわります。

■ 風量を切りかえる

風量を調整するには、<a>
 「∨ * ∧ の "∧" (増)側か "∨" (減)側を押す 送風停止状態でスイッチを押すと、ファンが作動します。

風量は7段階に調整できます。

送風を止めるときは (off)を押します。

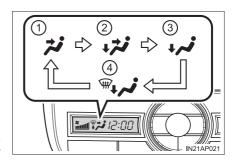
★:グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

■ 吹き出し口を切りかえる

MODE \ を押す

押すたびに吹き出し口が切りかわり ます。

- (1) 上半身に送風
- (2) 上半身と足元に送風
- ③ 足元に送風
- (4) 足元に送風・ガラスの曇りを取 る



【その他の機能

■ 外気導入・内気循環を切りかえるには



押すたびに外気導入・内気循環が切りかわります。 内気循環を選択しているときは、✓□◆● の表示灯が点灯します。

■ フロントウインドウガラスの墨りを取るには



を押して吹き出し口を 🜳 に切りかえる

ファンが作動していないときは、マ・オ・ヘーを押します。



、**ヘ/c** | を押し、エアコン(冷房・除湿機能)を作動させると曇りが早く取れます。

■ リヤウインドウデフォッガー & ミラーヒーター*

リヤウインドウガラスの曇りを取るときや、ドアミラーから雨滴や霜 を取るとき(ミラーヒーター設定車)にご使用ください。



を押す

リヤウインドウデフォッガーとミラーヒーター★は、約 15 分で自動的に OFF になります。

^{★:}グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

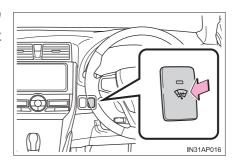
■ フロントワイパーデアイサー★

フロントウインドウガラスとワ イパーブレードの凍結を防ぐた めに使用してください。



を押す

フロントワイパーデアイサーは、 約 15 分で自動的に OFF になり ます。

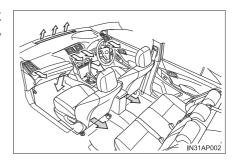


吹き出し口について

■ 吹き出し口の位置

吹き出し口の切りかえ設定によ り、風が出る位置や風量が変化し ます。

← : 寒冷地仕様車のみ

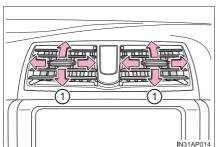


★:グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

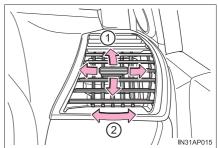
5

■ 風向きの調整と吹き出し口の開閉

▶ 中央吹き出し口



▶ 左右吹き出し口



- (1) 風向きの調整
- (2) 吹き出し口の開閉

吹き出し口を閉じるときは、ノブを 車両外側へ"カチッ"と音がするま で動かします。

知識

■内気循環について

内気循環を使うとガラスが曇る場合があります。

■外気温が O ℃以下のとき



▲/c を押しても冷房・除湿機能が働かない場合があります。

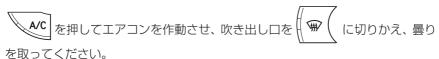
■吹き出し口を 💢 にしたとき

頭寒足熱を目的とした吹き出し口であり、温度調整の設定によっては、足元には、 上半身に送風される風よりも暖められた風が送風されます。

■換気とエアコンの臭いについて

- ●車室外の空気を車室内に取り入れたいときは、外気導入にしてください。
- ■エアコン使用中に、車室内外のさまざまな臭いがエアコン装置内に取り込まれて混ざり合うことにより、吹き出し口からの風に臭いがすることがあります。
- ■エアコン始動時に発生する臭いを抑えるために、駐車時は外気導入にしておく ことをおすすめします。

■Stop & Start システム*によるエンジン停止中、ウインドウガラスが曇ったとき Stop & Start キャンセルスイッチを押してエンジンを再始動してください。



断続的にウインドウガラスが曇るときは、Stop & Start キャンセルスイッチを押し、Stop & Start システムを非作動にしてください。

■Stop & Start システム*によるエンジン停止中に、エアコン吹き出し口から臭いが発生したときは

アイドリングストップ時間の切りかえで「LONG」を選択している場合は、「NORMAL」を選択してください。「NORMAL」を選択して臭いが発生したときは、Stop & Start システムを非作動にしてください。

- ■リヤウインドウデフォッガー、ミラーヒーター*、フロントワイパーデアイサー*の作動条件
 - ▶スマートエントリー&スタートシステム非装着車
 - エンジン スイッチが ON のとき
 - ▶スマートエントリー&スタートシステム装着車
 - エンジン スイッチがイグニッション ON モードのとき

^{★:}グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

▲ 警告

■フロントガラスの曇りを防止するために

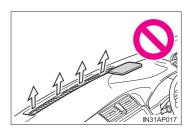
●湿度が非常に高いときにエアコンを低い設定温度で作動させているときは、



を押さないでください。外気とガラスの温度差でガラスの外側が曇

り、視界をさまたげる場合があります。

●フロントウインドウガラスの曇り取りを さまたげないために、吹き出し口を遮るよ うなものを置かないでください。送風が遮 られ、曇りが取れにくくなることがありま す。



- ■リヤウインドウデフォッガー&ミラーヒーター*、フロントワイパーデアイ サー*作動中の警告
 - ●ドアミラーの表面が非常に熱くなります。やけどをするおそれがあるのでふれないでください。(ミラーヒーター装着車)
 - ●フロントウインドウガラス下部およびフロントピラー横の表面が熱くなっており、やけどをするおそれがあるのでふれないでください。(フロントワイパーデアイサー装着車)

<u> 注意</u>

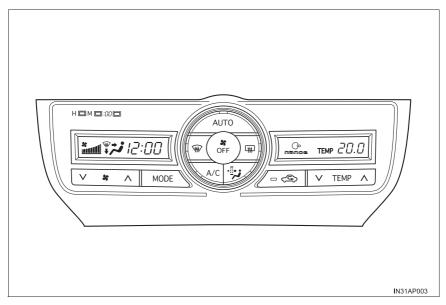
■バッテリーあがりを防ぐために

エンジン停止中は、必要以上にエアコンを使用しないでください。

オートエアコン★

設定温度に合わせて吹き出し口と風量を自動で調整します。

エアコン操作スイッチについて



■ 温度を調整する

温度を上げるときは $\boxed{\lor$ TEMP \land の " \land " 側を、下げるときは " \lor " 側を押す

[★]:グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

■ 風量を切りかえる

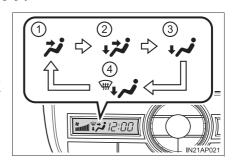
風量をかえるには、<a>▼ ▲ ○ の "△" (増) 側か "▽" (減) 側を押す 風量は7段階に調整できます。

送風を止めるときは off off を押します。

■ 吹き出し口を切りかえる

吹き出し口を切りかえるには、 MODE を押す 押すたびに吹き出し口が切りかわります。

- (1) 上半身に送風
- ② 上半身と足元に送風
- ③ 足元に送風
- ④ 足元に送風·ガラスの曇りを取る



オート設定で使用する

1 Auto を押す

吹き出し口と風量が自動で調整されます。

エアコン(冷房・除湿機能)の ON・OFF を切りかえるには **AC** を押します。 (押すたびに機能の ON・OFF が切りかわります)

② 設定温度を上げるときは ▼ TEMP ∧ の "∧"側を、下げるときは "∨"側を押す

■ オート設定時の作動表示灯について

風量や吹き出し口を切りかえると、AUTO スイッチの作動表示が消灯しますが、操作した機能以外のオート設定は継続します。

その他の機能

■ 外気導入・内気循環を切りかえるには

/- ⇔ を押す

押すたびに外気導入・内気循環が切りかわります。

内気循環を選択しているときは、 /□ ◆ の表示灯が点灯します。

■ フロントウインドウガラスの曇りを取るには



エアコンが作動します。

曇りが取れたら再度 (※) を押すと、前のモードにもどります。

■ 花粉除去機能を使うには



内気循環に切りかわり、上半身に送風して花粉を除去します。通常約3分後に



途中で作動を止めるときは、再度 を押すと前のモードにもどります。

■ リヤウインドウデフォッガー & ミラーヒーター*

リヤウインドウの曇りを取るときや、ドアミラーから雨滴や霜を取るとき(ミラーヒーター設定車)にご使用してください。



リヤウインドウデフォッガーとミラーヒーター★は、約 15 分で自動的に OFF になります。

★:グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

■ フロントワイパーデアイサー*

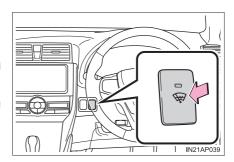
フロントウインドウガラスとワイパーブレードの凍結を防ぐために使用ください。



を押す

途中で動作を止めるときは再度を押 すと前のモードにもどります。

フロントワイパーデアイサーは、約 15 分で自動的に OFF になります。



「ナノイー[※]」を使うには★



かく、またはん



AUTO を押してファンを作動させる

ファンが作動すると自動的に「ナノイー」が作動し、表示部に「nanoe」が表示されます。

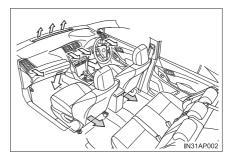
**「nanoe」、「ナノイー」および「nanoe」マークは、パナソニック株式会社の商標です。

吹き出し口について

■ 吹き出し口の位置

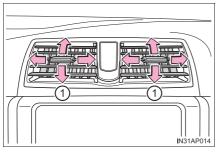
吹き出し口の切りかえ設定により、風が出る位置や風量が変化します。

◆ : 寒冷地仕様車のみ

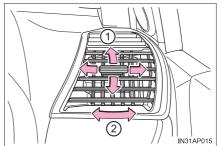


■ 風向きの調整と吹き出し口の開閉

▶ 中央吹き出し口



▶ 左右吹き出し口



- (1) 風向きの調整
- ② 吹き出し口の開閉

吹き出し口を閉じるときは、/ ブを 車両外側へ "カチッ" と音がするま で動かします。

□ 知識

■オート設定の作動について

風量は温度設定と外気の状態により自動で調整されます。次のような制御をする場合があります。

- **/ AUTO** を押した直後、温風や冷風の準備ができるまでしばらく送風が停止する
- ●暖房時、冷風を上半身に向けて送る

■内気循環について

内気循環を使うとガラスが曇る場合があります。

■内外気切りかえについて

設定温度や室内温度などにより、自動的に内気循環または外気導入へ切りかわる場合があります。

■フロントウインドウガラスの曇りを取るとき

内外気の温度によって、自動的に外気導入に切りかわる場合があります。

■吹き出し口を *** にしたとき

頭寒足熱を目的とした吹き出しのため、設定温度によっては、足元に送られる風が上半身に送られる風より暖められて送風されます。

■花粉除去モードについて

- ●外気温が低いときは、フロントガラスの曇りを防止するために次のような制御をする場合があります。
 - ・内気循環に切りかわらない
 - エアコンの電源が自動的に入る
 - ・1分後作動が停止する
- ●雨天時は窓が曇るため、 (噺) を押してください。
- ●湿度が非常に高いときに使うとガラスが曇る場合があります。
- ●花粉除去モードが OFF のときも、花粉はフィルターで取り除かれています。

■「ナノイー」について(「ナノイー」装着車)

エアコンには「ナノイー」技術が搭載されています。この技術は運転席右側の吹き出し口を通じて、水に包まれた肌や髪にやさしい弱酸性の「ナノイー」を放出し、室内を爽やかな空気で満たします[※]。

- ●「ナノイー」の作動中、次の条件で効果を発揮します。次の条件以外では効果が 十分に得られない場合があります。
 - · 吹き出し口が **ズ** 、 **、ズ** 、 **、 、** のとき
 - ・運転席の吹き出し口が開いているとき
- ●「ナノイー」作動時は、微量のオゾンが発生し、かすかに臭うことがありますが、 森林など、自然界に存在する程度の量なので、人体に影響はありません。
- ※ 車室内の環境(温度、湿度)、風量・風向きによっては「ナノイー」の効果が 十分に得られない場合があります。

■換気とエアコンの臭いについて

- ●車室外の空気を車室内に取り入れたいときは、外気導入にしてください。
- ■エアコン使用中に、車室内外のさまざまな臭いがエアコン装置内に取り込まれて混ざり合うことにより、吹き出し口からの風に臭いがすることがあります。
- ■エアコン始動時に発生する臭いを抑えるために、駐車時は外気導入にしておく ことをおすすめします。
- ●エアコン始動時に発生する臭いを抑えるために、オート設定での使用時にはエアコン始動直後、しばらく送風が停止する場合があります。

■Stop & Start システム*によるエンジン停止中のエアコンについて

Stop & Start システムによるエンジン停止中、エアコン(冷房・暖房・除湿機能)がオフになり、送風または無風になります。エアコンがオフにならないようにするには、Stop & Start キャンセルスイッチを押し、Stop & Start システムを非作動にしてください。

■Stop & Start システム*によるエンジン停止中、ウインドウガラスが曇ったとき



を押しエンジンを再始動させて曇りを取ってください。

断続的にウインドウガラスが曇るときは、Stop & Start キャンセルスイッチを押し、Stop & Start システムを非作動にしてください。

■Stop & Startシステム*によるエンジン停止中に、エアコン吹き出し口から臭いが発生したとき

Stop & Startキャンセルスイッチを押してStop & Startシステムの作動を停止してください。

- ■リヤウインドウデフォッガー、ミラーヒーター*、フロントワイパーデアイサー*の作動条件
 - ▶スマートエントリー&スタートシステム非装着車 エンジン スイッチが ON のとき
 - ▶スマートエントリー&スタートシステム装着車
 - エンジン スイッチがイグニッション ON モードのとき

▲ 警告

■フロントウインドウガラスの曇りを防止するために

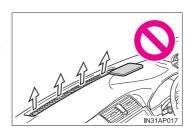
●湿度が非常に高いときにエアコンを低い設定温度で作動させているときは、



を押さないでください。外気とガラスの温度差でガラスの外側が曇り、

視界をさまたげる場合があります。

●フロントウインドウガラスの曇り取りを さまたげないために、吹き出し口を遮るよ うなものを置かないでください。送風が遮 られ、曇りが取れにくくなることがありま す。



■リヤウインドウデフォッガー、フロントワイパーデアイサー*、ミラーヒーター*作動中の警告

- ●ドアミラーの表面が非常に熱くなります。やけどをするおそれがあるのでふれないでください。(ミラーヒーター装着車)
- ●フロントウインドウガラス下部およびフロントピラー横の表面が熱くなっており、やけどをするおそれがあるのでふれないでください。(フロントワイパーデアイサー装着車)

■「ナノイー」について(「ナノイー」装着車)

このシステムは高電圧の部品を含むため、分解・修理はしないでください。修理が必要な場合は、トヨタ販売店にお問い合せください。

⚠ 注意

■バッテリーあがりを防ぐために

エンジン停止中は、必要以上にエアコンを使用しないでください。

■「ナノイー」の損傷を防ぐために(「ナノイー」装着車)

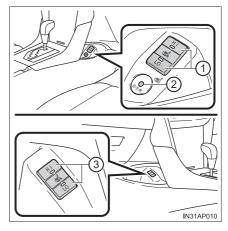
運転席右側の吹き出し口の近くでスプレーを使用したり、吹き出し口にものを はめ込んだり貼ったりしないでください。システムが正常に働かなくなるおそれがあります。

★:グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

シート<u>ヒーター*</u>

運転席・助手席をそれぞれ温めることができます。

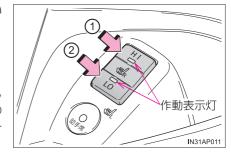
- (1) 運転席側スイッチ
- ② 助手席シートヒーター作動表示 灯
- ③ 助手席側スイッチ



■ 操作のしかた

- 1 使用するときは、スイッチのいずれかの側を押す
 - ① HI (強)
 - ② LO (弱)

押した側の作動表示灯が点灯します。助手席側シートヒーターの作動中は、助手席シートヒーター作動表示灯も点灯します (\rightarrow P. 252)



2 作動を停止するときは、押した側と反対側のスイッチを軽く押す スイッチが中立の位置にもどり、作動表示灯が消灯します。

★:グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

知識

■作動条件

エンジンスイッチがイグニッション ON モードのとき

■HI(強)・LO(弱)の作動の違いについて

① HI(強)での作動時

シートの肩部分・背もたれ全体・クッション部を温めます。

② LO (弱) での作動時

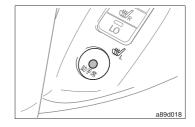
シートの肩部分・背もたれ中央部を温めます。



■助手席シートヒーター作動表示灯

助手席側のシートヒーターが作動しているとき点灯します。

運転席側から、助手席シートヒーターの作動 状態を確認することができます。



5

▲ 警告

■やけどについて

- ●低温やけどを負うおそれがあるため、次の方は特にご注意ください。
 - ・乳幼児・お子さま・お年寄り・病人・体の不自由な方
 - ・皮膚の弱い方
 - ・疲労の激しい方
 - ・深酒や眠気をさそう薬(睡眠薬・風邪薬など)を服用された方
- ●シートに毛布・クッション等を使用しないでください。 シートヒーターの使用により保温性が高まり、異常過熱の原因となります。
- ●仮眠するときは使用しないでください。 シートが異常過熱し、低温やけどをするおそれがあります。

▲ 注意

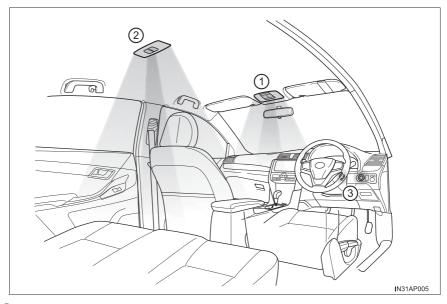
■シートヒーターの故障を防ぐために

凹凸のある重量物をシートの上に置いたり、針金や針などの鋭利なものを突き 刺したりしないでください。

■バッテリーあがりを防ぐために

エンジンが停止しているときは、スイッチを中立の位置にもどし、作動表示灯 が消灯したことを確認してください。

室内灯一覧



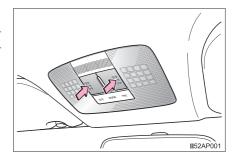
- プロントパーソナルランプ (→ P. 255)
- ② リヤ読書灯★ (→ P. 255)
- ③ エンジン スイッチ照明

フロントパーソナルランプ

■ 独立スイッチでの操作

ランプを点灯・消灯する

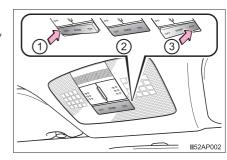
ドア連動スイッチによって点灯しているときは、独立スイッチを押しても消灯しません。



■ ドア連動スイッチでの操作

スイッチを操作すると、連動してリヤ読書灯も作動します。

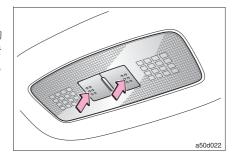
- (1) ランプを消灯する
- ② ドアの開閉作動に連動してランプの点灯・消灯を切りかえる (ドアポジション)
- (3) ランプを点灯する



リヤ読書灯★

ランプを点灯・消灯する

フロントパーソナルランプのドア連動 スイッチによって点灯しているとき は、スイッチを押しても消灯しません。



★:グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

□ 知識

■自動消灯機能について

フロントパーソナルランプのドア連動スイッチがドアポジションのときに、ドア開状態でフロントパーソナルランプ/リヤ読書灯★とエンジンスイッチ照明が点灯したままの場合、約20分後に自動消灯します。

■イルミネーテッドエントリーシステム

▶スマートエントリー&スタートシステム非装着車 ドアの施錠/解錠・ドアの開閉・エンジンスイッチの位置により、各部の照明 *が自動的に点灯・消灯します。

▶ スマートエントリー& スタートシステム装着車

電子キーの検知・ドアの施錠/解錠・ドアの開閉・エンジンスイッチのモードにより、各部の照明*が自動的に点灯・消灯します。

※ フロントパーソナルランプ/リヤ読書灯★は、フロントパーソナルランプのドア連動スイッチがドアポジションのとき、イルミネーテッドエントリーシステムの制御に従って作動します。

■カスタマイズ機能

室内灯の消灯までの時間などの設定を変更できます。 (カスタマイズ一覧:→P.367)

⚠ 注意

■バッテリーあがりを防ぐために

- 独立スイッチによりフロントパーソナルランプ/リヤ読書灯★を点灯している場合、自動消灯機能は働きません。バッテリーあがりにご注意ください。
- ●エンジンが停止した状態で、長時間ランプ類を点灯しないでください。

5

- (1) ボトルホルダー(ドアポケット)(5) コンソールボックス $(\rightarrow P. 261)$
 - (→ P. 259)
- ② グローブボックス (→ P. 258)⑥ 小物入れCタイプ★(→P. 262)
- ③ 小物入れBタイプ★(→P. 262) (7) 小物入れAタイプ★(→P. 262)
- (4) カップホルダー (→ P. 260)

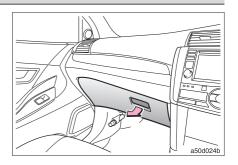
▲ 警告

- ●メガネ、ライターやスプレー缶を収納装備内に放置したままにしないでくださ い。放置したままでいると、次のようなことが起こるおそれがあり危険です。
 - ・室温が高くなったときの熱や、他の収納物との接触などにより、メガネが 変形やひび割れを起こす
 - ・室温が高くなったときにライターやスプレー缶が爆発したり、他の収納物 との接触でライターが着火したりスプレー缶のガスがもれるなどして火災 につながる
- 収納装備を使わないときは、フタを必ず閉じてください。 急ブレーキや急旋回時などに、開いたフタに体があたったり、収納していたも のが飛び出したりして、思わぬ事故につながるおそれがあります。

★:グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

グローブボックス

グローブボックスを開けるには、レ バーを引き上げる

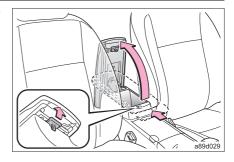


知識

車幅灯が点灯しているとき、グローブボックスを開くとランプが点灯します。

コンソールボックス

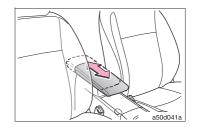
フタを後方にスライドし、レバーを 引いてフタを持ち上げる



□ 知識

■コンソールボックスのフタをアームレストとして使うとき

フタを前方または後方にして位置を調整できます。



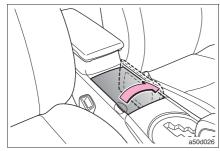
▲ 警告

■コンソールボックスのフタをうしろにスライドさせたとき

フタの後端部分に手をついたりしないでください。不意にフタが開き、けがを するおそれがあります。

カップホルダー

▶ フロント



フタを開ける

▶リヤ

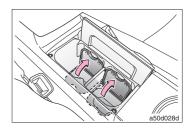


リヤセンターアームレストを引き出す

□ 知識

■フロントカップホルダーについて

背の高いボトルやカップなどを置くときは、 中ブタを持ち上げます。



▲ 警告

■収納してはいけないもの

カップホルダーにはカップや缶以外のものを置かないでください。 急ブレーキや事故により落ちてけがをするおそれがあります。やけどを防ぐために温かい飲み物にはフタを閉めておいてください。

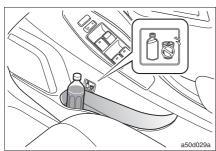


■フロントカップホルダーの破損を防ぐために

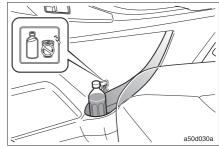
カップホルダーのフタに手をついたり、足で踏んだりしないでください。

ボトルホルダー(ドアポケット)

▶ フロント



▶リヤ



__ 知識

■ボトルホルダーについて

- ●ペットボトルのフタを必ず閉めてから収納してください。
- ●ペットボトルの大きさ・形によっては収納できないことがあります。

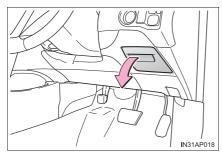
⚠ 注意

■収納してはいけないもの

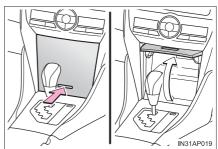
ボトルホルダーには、ジュースなどが入っている紙コップ・ガラス製のコップ などを収納しないでください。ジュースなどがこぼれたり、ガラス製品が割れ たりするおそれがあります。

小物入れ

▶ A タイプ★



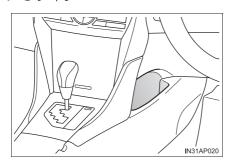
▶ Bタイプ★



手前に引いて開ける

フタを押す

▶ Cタイプ★



▲ 警告

■走行中の警告

必ず次のことをお守りください。お守りいただかないと、急ブレーキ時などに、 開いた小物入れに体があたったり、収納していたものが飛び出したりして、思 わぬ事故につながりけがをするおそれがあります。

- ●開閉が可能な小物入れを開けたままにしないでください。
- ●小物入れ C タイプ[★]内には、転がりやすいものや凹面より高さのあるものを置かないでください。

■小物入れBタイプ*について

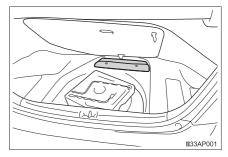
小物入れ B タイプは灰皿ではありません。 マッチやタバコの吸いがらなどを入れない でください。



トランク内装備

三角表示板収納スペース

ラゲージマットの下に三角表示板 を収納することができます。



□ 知識

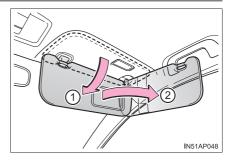
■三角表示板収納について

三角表示板のケースの大きさや形状によっては、収納できない場合があります。

その他の室内装備

サンバイザー

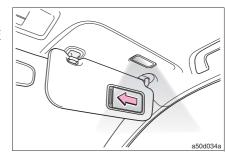
- ① 前方をさえぎるには、バイザーを 下ろす
- ② 側方をさえぎるには、バイザーを 下ろした状態でフックからはず し、横へまわす



バニティミラー

カバーをスライドして開ける

カバーを開けると、バニティミラー天 井照明が点灯します。



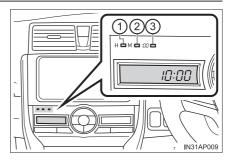
⚠ 注意

バッテリーあがりを防止するためにエンジンが停止した状態で、長時間バニ ティミラー天井照明を点灯しないでください。

時計

- (1) "時"を調整する(H)
- ② "分" を調整する (M)
- ③ "分"を00にする**(:00)

** (例) 1:00 ~ 1:29 → 1:00 1:30 ~ 1:59 → 2:00



□ 知識

■時刻が表示されるとき

- ▶スマートエントリー&スタートシステム非装着車 エンジン スイッチが "ACC" または "ON" のとき
- ▶スマートエントリー&スタートシステム装着車 エンジンスイッチがアクセサリーモード、またはイグニッションONモードのとき

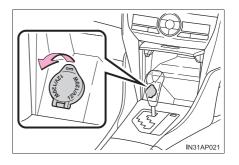
■バッテリー端子の脱着をしたとき

バッテリー端子の脱着を行うと、時計のデータはリセットされます。

アクセサリーソケット

DC12 V/10 A (消費電力 120 W) 未満の電気製品を使用するときの電源としてお使いください。

フタを開けて使用する



□ 知識

■作動条件

- ▶スマートエントリー&スタートシステム非装着車
- エンジン スイッチが "ACC" または "ON" のとき
- ▶スマートエントリー&スタートシステム装着車

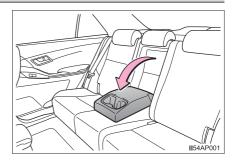
エンジン スイッチがアクセサリーモード、またはイグニッション ON モードのとき

<u></u>注意

- ●ショートや故障を防ぐために、アクセサリーソケットに異物が入ったり、飲料水などがかかったりしないように、使用しないときは、フタを閉めておいてください。
- ●バッテリーあがりを防止するために、エンジンが停止した状態で、アクセサリーソケットを長時間使用しないでください。

リヤセンターアームレスト

手前に倒して使用します。



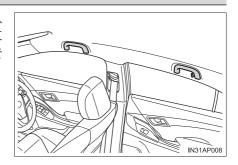
注意

■破損を防ぐために

過度の負荷をかけないでください。

アシストグリップ

天井に取りつけられているアシストグリップは、走行中にシートに座っている状態で体を支えるときにお使いください。



▲ 警告

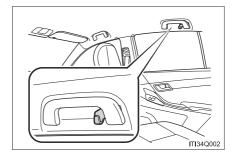
アシストグリップは、乗降時やシートから立ち上がるときなどに使用しないでください。

⚠ 注意

破損を防ぐためにアシストグリップに重いものをかけたり、過度の負荷をかけないでください。

コートフック

リヤのアシストグリップに付いて います。



▲ 警告

■破損を防ぐために

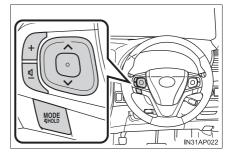
ハンガーや他の硬いもの、鋭利なものをかけないでください。 SRS カーテンシールドエアバッグがふくらんだときにそれらのものが飛び、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。 (SRS サイド & カーテンシールドエアバッグ装着車)

オーディオスイッチ

トヨタ販売店で装着したナビゲー ションシステムや、オーディオを操 作することができます。

モードの切りかえや CD、ラジオなどの操作については、装着されたオーディオにより異なる場合や、操作できない場合があります。

販売店オプションのナビゲーションシステムや、オーディオの操作方法は、各取り扱い説明書を参照してください。



お手入れのしかた

6-1.	お手入れのしかた	
	外装の手入れ	.272
	内装の手入れ	.275
6-2.	簡単な点検・部品交換	
	ボンネット	.280
	ガレージジャッキ	.282
	ウォッシャー液の補充	.283
	タイヤについて	.285
	タイヤ空気圧について	.288
	エアコンフィルターの交換	.290
	キーの電池交換	.292
	ヒューズの点検・交換	.295
	電球 (バルブ) の交換	.298

外装の手入れ

お手入れは、次の項目を実施してください。

- 水を十分かけながら、車体・足まわり・下まわりの順番に上から下へ 汚れを洗い落とす
- 車体はスポンジやセーム皮のようなやわらかいもので洗う
- 汚れがひどいときはカーシャンプーを使用し、水で十分洗い流す
- 水をふき取る
- 水のはじきが悪くなったときは、ワックスがけを行う ボデーの表面の汚れを落としても水が玉状にならないときは、車体の温度が冷えているときにワックスをかける(およそ体温以下を目安としてください)

なお、ボデーコート・ホイールコート・ガラスコートなど、トヨタケミカル商品を施工された場合は、お手入れ方法が異なります。詳しくはトヨタ販売店にお問い合わせください。

□ 知識

■自動洗車機を使うとき

- ●ドアミラーを格納し、車両前側から洗車してください。また、走行前は必ずドアミラーを復帰状態にもどしてください。
- ●ブラシで車体に傷が付き、塗装を損なうことがあります。

■高圧洗車機を使うとき

- ●車内に水が入るおそれがあるため、ノズルの先端をドアガラスやドア枠付近に 近付けすぎないでください。
- ●洗車の前に給油口が確実に閉まっていることを確認してください。
- ●駆動系部品(ディファレンシャルギヤなど)のベアリングやオイルシール部品 に近付けすぎないでください。

近付けすぎると、水圧が高いため、内部への水入りやグリス流出により、性能が劣化するおそれがあります。

6

■アルミホイール★

- ●中性洗剤を使用し、早めに汚れを落としてください。
- ●洗剤を使用したあとは放置せずに水で十分洗い流してください。
- ●塗装の損傷を防ぐため、次のことを必ずお守りください。
 - ・酸性・アルカリ性および研磨剤の入った洗剤を使用しない
 - ・硬いブラシを使用しない
 - ・夏場の走行後や駐車後でホイールが熱いときは、洗剤を使用しない

■バンパー

研磨剤入りの洗剤でこすらないようにしてください。

■フロントドアガラスの撥水コーティングについて

- ●撥水効果を長持ちさせるため、次のことに注意してください。
 - ・フロントドアガラス表面の泥などの汚れを落とす
 - 汚れは早めにやわらかい湿った布などで清掃する
 - ・コンパウンド(磨き粉)が入ったガラスクリーナーやワックスを使用しない
 - ・金属製の道具で霜取りをしない
- ●水滴のはじきが悪くなったときは補修することができます。 詳しくはトヨタ販売店にお問い合わせください。

■レインクリアリングミラーの親水効果回復作業について(寒冷地仕様車)

鏡面の親水効果は、太陽光をあてることにより徐々に回復します (→ P. 111) が、早く回復させたいときは次の作業を行ってください。

- 1 鏡面に水をかけ、泥汚れなどを洗い流す
- 2 水を含ませたきれいなやわらかい布などで汚れを落とす
- 3 ガラスクリーナーか中性洗剤で洗浄後、十分な水で洗剤を洗い流す
- 4 きれいなやわらかい布などで鏡面に付いた水をふき取る
- **⑤** 屋外に車両を駐車し、鏡面に太陽光を5時間程度あてる (汚れの量や種類により、回復時間は異なります)

★:グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

▲ 警告

■洗車をするとき

エンジンルーム内に水をかけないでください。 電気部品などに水がかかると、車両火災につながるおそれがあり危険です。

■排気管について

排気管は排気ガスにより高温になります。洗車などでふれる場合は、十分に排 気管が冷めてからにしてください。やけどをするおそれがあります。

⚠ 注意

■塗装の劣化や車体・部品(ホイールなど)の腐食を防ぐために

- ●次のような場合は、ただちに洗車してください。
 - ・海岸地帯を走行したあと
 - ・凍結防止剤を散布した道路を走行したあと
 - ・コールタール・花粉・樹液・鳥のふん・虫の死がいなどが付着したとき
 - ・ばい煙・油煙・粉じん・鉄粉・化学物質などの降下が多い場所を走行したあと
 - ・ ほこり・泥などで激しく汚れたとき
 - ・塗装にベンジンやガソリンなどの有機溶剤が付着したとき
- ●塗装に傷が付いた場合は、早めに補修してください。
- ●ホイール保管時は、腐食を防ぐために汚れを落とし、湿気の少ない場所へ保管してください。

■ランプの清掃

- ●注意して洗ってください。有機溶剤や硬いブラシは使用しないでください。 ランプを損傷させるおそれがあります。
- ランプにワックスがけを行わないでください。 レンズを損傷するおそれがあります。

■高圧洗浄機を使用するときは

ノズルの先端を、下記部品の結合部やブーツ類(ゴムまたは樹脂製のカバー)、 コネクタ類に近付けすぎないでください。高い水圧がかかることにより、部品 が損傷するおそれがあります。

- ●駆動系部品
- ●ステアリング部品
- ●サスペンション部品
- ●ブレーキ部品

内装の手入れ

お手入れは、次の要領で実施してください。

車内の手入れ

- 掃除機などでほこりを取り除き、水またはぬるま湯を含ませた布でふき取る
- 汚れが落ちない場合は、中性洗剤を水で約 1%に薄めてやわらかい布に含ませふき取る 水を浸した布を固くしぼり、表面に残った洗剤・水分をふき取る

本革部分の手入れ

- 掃除機などでほこりや砂を取り除く
- うすめた洗剤をやわらかい布に含ませ、汚れをふき取る ウール用の中性洗剤を水で約5%に薄めて使用してください。
- 水を浸した布を固くしぼり、表面に残った洗剤をふき取る
- 乾いたやわらかい布で表面の水分をふき取り、風通しのよい日陰で乾燥させる

合成皮革部分の手入れ

- 掃除機などでほこりを取り除く
- 中性洗剤を水で約 1%に薄めてやわらかい布に含ませふき取る
- 水を浸した布を固くしぼり、表面に残った洗剤・水分をふき取る

□ 知識

■本革部分のお手入れの目安

品質を長く保つため、年に2回程度の定期的なお手入れをおすすめします。

■カーペットの洗浄

カーペットは常に乾いた状態を保つことをおすすめします。 洗浄には、市販の泡タイプクリーナーがご利用になれます。 スポンジまたはブラシを使用して泡をカーペットに広げ、円を描くように塗り込 んでください。直接水をかけたりせず、ふき取ってから乾燥させてください。

■シートベルト

刺激の少ない洗剤とぬるま湯で、布かスポンジを使って洗ってください。シートベルトの擦り切れ・ほつれ・傷などを定期的に点検してください。

■スーパー UV カットガラス★について

- ●ドアガラスが汚れているときは、早めに水またはぬるま湯を含ませた布で軽く ふいて清掃してください。
- ●ドアガラスの汚れがひどいときは、ドアガラスの開閉をくり返さないでください。

▲ 警告

■車両への水の浸入

- ●車内に水をかけたり液体をこぼしたりしないでください。電気部品などに水が かかると、故障や車両火災につながるおそれがあり危険です。
- SRS エアバッグの構成部品や配線などをぬらさないでください。(→ P. 33) 電気の不具合により、エアバッグが展開したり、正常に機能しなくなり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■内装の手入れをするとき(特にインストルメントパネル)

艶出しワックスや艶出しクリーナーを使用しないでください。インストルメントパネルがフロントウインドウガラスへ映り込み、運転者の視界をさまたげ思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

注意

■清掃するとき使用する溶剤について

- ●変色・しみ・塗装はがれの原因になるため、次の溶剤は使用しないでください。
 - ・シート以外の部分:ベンジン・ガソリンなどの有機溶剤や酸性またはアルカリ性の溶剤・染色剤・漂白剤
 - ・シート部分:シンナー・ベンジン・アルコール・その他のアルカリ性や酸性の溶剤
- ●艶出しワックスや艶出しクリーナーを使用しないでください。インストルメントパネルやその他内装の塗装のはがれ・溶解・変形の原因になるおそれがあります。

■革の傷みを避けるために

皮革の表面の劣化や損傷を避けるために次の注意をお守りください。

- ●革に付着したほごりや砂はすぐに取り除く
- ●直射日光に長時間さらさないようにする 特に夏場は日陰で車を保管する
- ●ビニール製・プラスチック製・ワックス含有のものは、車内が高温になると革に張り付くおそれがあるため、革張りの上に置かない

■床に水がかかると

水で洗わないでください。

オーディオ(装着車のみ)やフロアカーペット下にある電気部品に水がかかると、車の故障の原因になったり、ボデーが錆びるおそれがあります。

■フロントウインドウガラスの内側を掃除するときは(Toyota Safety Sense 装着車)

前方センサー (→ P. 160) にさわらないように注意してください。 誤って傷を付けたり衝撃を与えたりすると、PCS・LDA・オートマチックハイ ビームの誤作動や故障につながるおそれがあります

⚠ 注意

■リヤウインドウガラスの内側を掃除するとき

- 熱線やアンテナを損傷するおそれがあるため、ガラスクリーナーなどを使わず、熱線やアンテナにそって水またはぬるま湯を含ませた布で軽くふいてください。
- ●熱線やアンテナを引っかいたり、損傷させないように気を付けてください。

■スーパー UV カットガラス[★]を清掃するとき

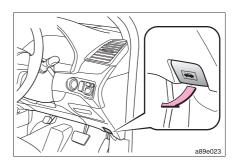
ドアガラスを清掃するときは、コンパウンドまたは研磨剤入り用品(ガラスクリーナー・洗剤・ワックスなど)を使用しないでください。コーティングを損傷させるおそれがあります。

^{★:}グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

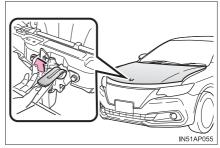
ボンネット

車内からロックを解除して、ボンネットを開けます。

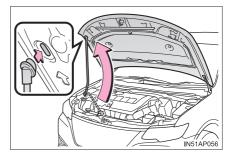
1 ボンネット解除レバーを引く ボンネットが少し浮き上がります。



2 レバーを引き上げて、ボンネット を開ける



3 ボンネットステーをステー穴に 挿し込む



知識

■バッテリー端子をはずすとき

バッテリー端子をはずすと、コンピューターに記憶されている情報が消去されま す。バッテリー端子をはずすときは、トヨタ販売店にご相談ください。

▲ 警告

■走行前の確認

ボンネットがしっかりロックされていることを確認してください。 ロックせずに走行すると、走行中にボンネットが突然開いて、重大な傷害にお よぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■エンジンルームを点検したあとは

エンジンルーム内に工具や布を置き忘れていないことを確認してください。 点検や清掃に使用した工具や布などをエンジンルーム内に置き忘れていると、 故障の原因になったり、また、エンジンルーム内は高温になるため車両火災に つながるおそれがあり危険です。

■ボンネットを閉めるとき

手などを挟まないように注意してください。

重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。 す。



⚠ 注意

■ボンネットへの損傷を防ぐために

ボンネットを閉めるときは、体重をかけるなどして強く押さないでください。ボンネットがへこむおそれがあります。

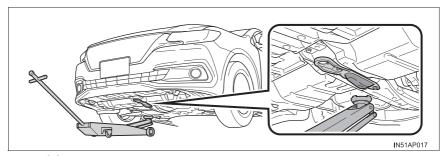
ガレージジャッキ

ガレージジャッキを使用するときは、ガレージジャッキに付属の取り扱い説明書に従って、安全に作業してください。

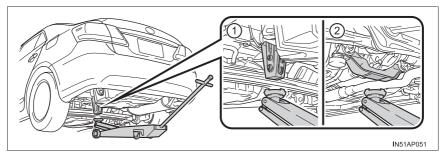
ガレージジャッキを使用して車両を持ち上げるときは、正しい位置にガレージジャッキをセットしてください。

正しい位置にセットしないと、車両が損傷したり、けがをしたりするおそれがあります。

■ フロント側



■ リヤ側

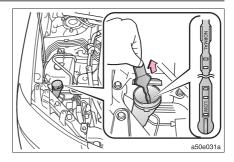


- 1) FF 車 (前輪駆動)
- ② 4WD 車 (4 輪駆動)

ウォッシャー液の補充

補充のしかた

液面が LOW の位置に近付いたら ウォッシャー液を補充する

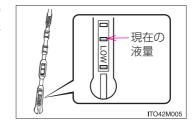


__ 知識

■ゲージの使い方

ウォッシャー液の膜が張っているゲージの 穴部の位置を確認して、ウォッシャー液の残 量を判断します。

残量がゲージの先端から 2 つめの穴部より下まわった (LOW の位置まで低下した)ら、ウォッシャー液を補充してください。



▲ 警告

■ウォッシャー液を補充するとき

エンジンが熱いときやエンジンがかかっているときは、ウォッシャー液を補充しないでください。

ウォッシャー液にはアルコール成分が含まれているため、エンジンなどにかかると出火するおそれがあり危険です。

⚠ 注意

■ウォッシャー液について

ウォッシャー液のかわりに、せっけん水やエンジン不凍液などを入れないでください。塗装にしみが付くことや、ポンプが故障してウォッシャー液が出なくなるおそれがあります。

■ウォッシャー液のうすめ方

必要に応じて水でうすめてください。水とウォッシャー液の割合は、ウォッシャー液の容器に表示してある凍結温度を参考にしてください。

タイヤについて

タイヤの点検は、法律で義務付けられています。日常点検として必ずタイヤを点検してください。

タイヤの摩耗を均等にし寿命をのばすために、タイヤローテーション(タイヤ位置交換) を 5,000 km ごとに行ってください。

タイヤの点検項目

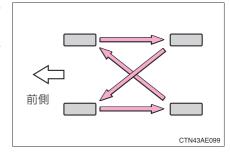
タイヤは次の項目を点検してください。 点検方法は別冊「メンテナンスノート」を参照してください。

- タイヤ空気圧空気圧の点検は、タイヤが冷えているときに行ってください。
- タイヤの亀裂・損傷の有無
- タイヤの溝の深さ
- タイヤの異常摩耗(極端にタイヤの片側のみが摩耗していたり、摩耗 程度が他のタイヤと著しく異なるなど)の有無

タイヤローテーションのしかた

図で示すようにタイヤのローテー ションを行う

タイヤの摩耗状態を均一にし、寿命を のばすために、トヨタは定期点検ごと のタイヤローテーションをおすすめし ます。



🗌 知識

■タイヤ関連の部品を交換するとき

タイヤ・ディスクホイール・ホイール取り付けナットを交換するときは、トヨタ 販売店にご相談ください。

■タイヤ空気圧の数値

タイヤの空気圧は、運転席側のタイヤ空気圧 ラベルで確認することができます。



タイヤサイズ	空気圧 [※] [kPa (kg/cm ²)]		
211917	前輪	後輪	
185/65R15 88S	230 (2.3)	230 (2.3)	
195/65R15 91S	230 (2.3)	230 (2.3)	
195/55R16 87V	220 (2.2)	200 (2.0)	

応急用タイヤ: 420kPa (4.2kg/cm²) **

※ タイヤが冷えているときの空気圧

■タイヤ関連の部品を交換するとき

タイヤ・ディスクホイール・ホイール取り付けナットを交換するときは、トヨタ 販売店にご相談ください。

▲ 警告

■点検・交換時の警告

必ず次のことをお守りください。

お守りいただかないと、駆動系部品の損傷や不安定な操縦特性により、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- タイヤはすべて同一メーカー・同一銘柄・同一トレッドパターンで、摩耗差の ないタイヤを使用する
- ●メーカー指定サイズ以外のタイヤやホイールを使用しない
- ラジアルタイヤ・バイアスベルテッドタイヤ・バイアスプライタイヤを混在 使用しない
- ●サマータイヤ・オールシーズンタイヤ・冬用タイヤを混在使用しない

▲ 警告

■異常があるタイヤの使用禁止

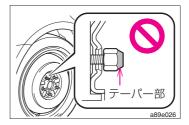
異常があるタイヤをそのまま装着していると、走行時にハンドルをとられたり、 異常な振動を感じることがあります。また、次のような事態になり、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

- ●破裂などの修理できない損傷を与える
- ●車両が横すべりする
- ●車両の本来の性能(燃費・車両の方向安定性・制動距離など)が発揮されない

■タイヤ交換時の注意

●必ずナットのテーパー部を内側にして取り付けてください。

テーパー部を外側にして取り付けると、ホイールが破損しはずれてしまい、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。



●ねじ部にオイルやグリースを塗らないでください。 ナットを締めるときに必要以上に締め付けられ、ボルトが破損したり、ディス クホイールが損傷するおそれがあります。

また、ナットがゆるみホイールが落下して、事故につながり重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。オイルやグリースがねじ部に付いている場合はふき取ってください。

⚠ 注意

■走行中に空気もれが起こったら

走行を続けないでください。タイヤまたはホイールが損傷することがあります。

■悪路走行に対する注意

段差や凹凸のある路上を走行するときは注意してください。 タイヤの空気が抜けて、タイヤのクッション作用が低下します。また、タイヤ・ホイール・車体などの部品も損傷するおそれがあります。

タイヤ空気圧について

タイヤの空気圧を適正に維持するために、タイヤの空気圧点検を月に 1回以上実施してください。(→ P. 364)

□ 知識

■タイヤ空気圧が適正でない場合

適切に調整されていないタイヤ空気圧で走行すると、次のようなことが起こる場合があります。

- 燃費の悪化
- ●乗り心地や操縦安定性の低下
- ●摩耗によるタイヤ寿命の低下
- ●安全性の低下

ひんぱんにタイヤ空気圧が低下する場合は、トヨタ販売店でタイヤの点検を受けてください。

■タイヤ空気圧の点検のしかた

タイヤ空気圧の点検の際は、次のことをお守りください。

- タイヤが冷えているときに点検する
- ●タイヤ空気圧ゲージを必ず使用するタイヤの外観だけでは空気圧が適正かどうか判断できません。
- ●走行後はタイヤの発熱により空気圧が高くなります。異常ではありませんので 減圧しないでください。
- ●荷物を積んだり、多人数で乗車するときは荷重を不均等にかけないようにする

▲ 警告

■タイヤの性能を発揮するために

適正なタイヤ空気圧を維持してください。 タイヤ空気圧が適正に保たれていないと、次のようなことが起こるおそれがあり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- 過度の摩耗
- ●偏摩耗
- 操縦安定性の低下
- ●タイヤの過熱による破裂
- ●タイヤとホイールのあいだからの空気漏れ
- ●ホイールの変形、タイヤの損傷
- ●走行時にタイヤが損傷する可能性の増大 (路上障害物、道路のつなぎ目や段差など)

⚠ 注意

■タイヤ空気圧の点検・調整をしたあとは

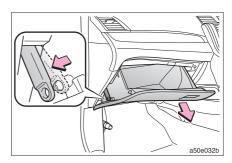
タイヤのバルブキャップを確実に取り付けてください。 バルブキャップをはずしていると、ほこりや水分がバルブに入り空気が漏れ、 タイヤの空気圧が低下するおそれがあります。

エアコンフィルターの交換

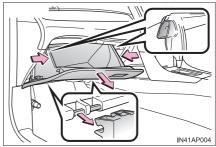
エアコンを快適にお使いいただくために、エアコンフィルターを定期的に交換してください。

交換のしかた

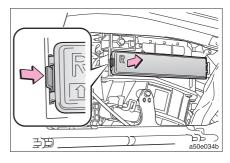
- 1 スマートエントリー&スタートシステム非装着車: エンジン スイッチを "LOCK" にする スマートエントリー&スタートシステム装着車: エンジンスイッチを OFF にする
- **2** グローブボックスを開き、ダン パーステーのピンをはずす



3 グローブボックス側面を内側に 押して上部のツメを片側ずつは ずし、下部のツメをはずして取り はずす

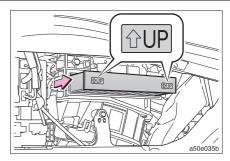


4 フィルターカバーを取りはずす



5 フィルターを取りはずし、新しい フィルターと交換する

「↑ UP」マークの矢印が上を向くよう に取り付けます。



6 取り付けるときは、取りはずしたときと逆の手順で取り付ける

__ 知識

■エアコンフィルターの交換について

エアコンフィルターは下記の時期を目安に交換してください。

20,000km [10,000km*]ごと

※大都市や寒冷地など、交通量や粉じんの多い地区

■エアコンの風量が減少したとき

フィルターの目づまりが考えられますので、フィルターを交換してください。

⚠ 注意

■エアコンを使用するときの注意

フィルターを装着せずにエアコンを使用すると、故障の原因になることがあります。必ずフィルターを装着してください。

キーの電池交換

電池が消耗しているときは、新しい電池に交換してください。

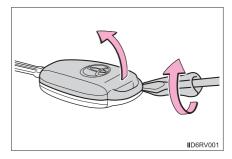
用意するもの

- マイナスドライバー
- 小さいプラスドライバーなど
- リチウム電池
- · CR2016 (スマートエントリー&スタートシステム非装着車)
- · CR1632 (スマートエントリー&スタートシステム装着車)

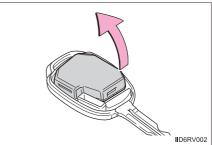
電池交換のしかた(スマートエントリー&スタートシステム非装着車)

1 カバーをはずす

傷が付くのを防ぐため、マイナスドライバーの先端に布などを巻いて保護してください。

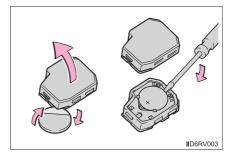


2 モジュールを取り出す



3 コインなどを使用してモジュールカバーをはずし、消耗した電池を取り出す

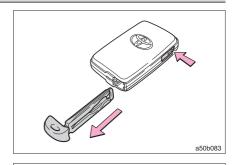
新しい電池は + 極を上にして取り付けます。



4 取り付けるときは、取りはずしたときと逆の手順で取り付ける

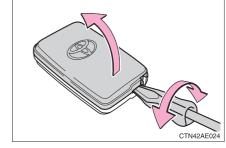
電池交換のしかた (スマートエントリー&スタートシステム装着車)

1 メカニカルキーを抜く

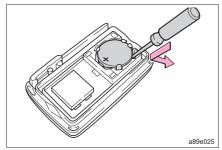


2 カバーをはずす

傷が付くのを防ぐため、マイナスドライバーの先端に布などを巻いて保護してください。



3 消耗した電池を取り出す 新しい電池は + 極を上にして取り付け ます。



知識

■リチウム電池 CR2016 (スマートエントリー&スタートシステム非装着車)、 CR1632 (スマートエントリー&スタートシステム装着車)の入手

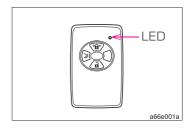
電池はトヨタ販売店・時計店およびカメラ店などで購入できます。

■電池が消耗していると

次のような状態になります。

- ●スマートエントリー&スタートシステム(装着車のみ)、ワイヤレス機能が作動しない
- ●作動距離が短くなる
- ■キーの電池を交換したとき(スマートエントリー&スタートシステム装着車)

キーのスイッチを押し、本体の LED が点灯 することを確認します。



▲ 警告

■取りはずした電池と部品について

お子さまにさわらせないでください。 部品が小さいため、誤って飲み込むと、のどなどにつまらせ重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

⚠ 注意

■交換後、正常に機能させるために

次のことを必ずお守りください。

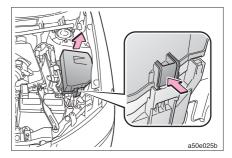
- ●ぬれた手で電池を交換しない 錆の原因になります。
- ●電池以外の部品に、ふれたり動かしたりしない
- ●電極を曲げない

ヒューズの点検・交換

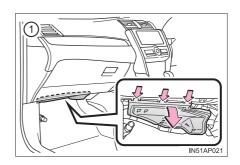
ランプがつかないときや電気系統の装置が働かないときは、ヒューズ切れが考えられます。ヒューズの点検を行ってください。

- 1 スマートエントリー&スタートシステム非装着車 エンジン スイッチを "LOCK" にする スマートエントリー&スタートシステム装着車 エンジンスイッチを OFF にする
- 2 ヒューズボックスを開ける
- ▶ エンジンルーム

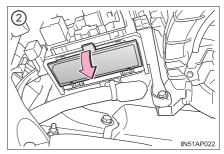
ツメを押しながら、カバーを持ち上 げる



- ▶ 助手席足元
- (1) 足元のカバーを取りはずす

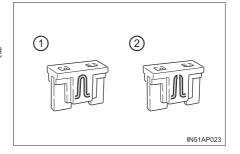


② ヒューズボックスカバーを取り はずす



- 3 ヒューズを引き抜く ヒューズはずしは、トヨタ販売店でお買い求めください。
- 4 ヒューズが切れていないか点検する
 - (1) 正常
 - ② ヒューズ切れ

ヒューズボックスの表示に従い、規定容量のヒューズに交換します。



□ 知識

■ヒューズを交換したあと

- ●交換してもランプ類が点灯しないときは、電球を交換してください。 (→ P. 298)
- ●交換しても再度ヒューズが切れる場合は、トヨタ販売店で点検を受けてください。

■バッテリーからの回路に過剰な負荷がかかると

配線が損傷を受ける前にヒューズが切れるように設計されています。



■車の故障や、車両火災を防ぐために

次のことをお守りください。 お守りいただかないと、車の故障や火災、けがをするおそれがあります。

- ●規定容量以外のヒューズ、またはヒューズ以外のものを使用しないでください。
- ●必ずトヨタ純正ヒューズか同等品を使用してください。
- ●ヒューズやヒューズボックスを改造しないでください。

⚠ 注意

■ヒューズを交換する前に

ヒューズが切れた原因が電気の過剰負荷だと判明したときは、トヨタ販売店で点検を受けてください。

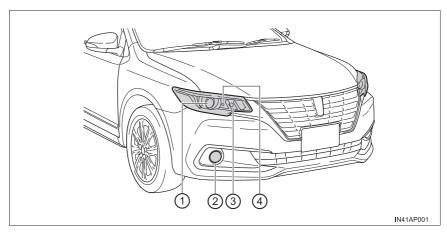
電球(バルブ)の交換

次に記載する電球は、ご自身で交換できます。電球交換の難易度は電球 によって異なります。部品が破損するおそれがあるので、トヨタ販売店 にご相談ください。

電球の用意

切れた電球の W (ワット) 数を確認してください。(→ P. 365)

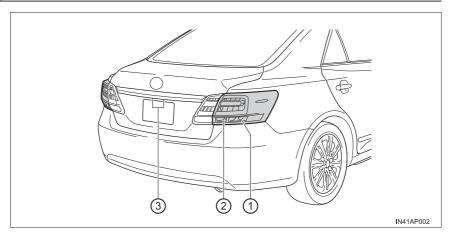
フロントのバルブ位置



- (1) ヘッドランプ (ハロゲンヘッドランプ装着車)
- ② フロントフォグランプ★
- ③ フロント方向指示灯/非常点滅灯
- (4) 車幅灯 (ハロゲンヘッドランプ装着車)

^{★:}グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

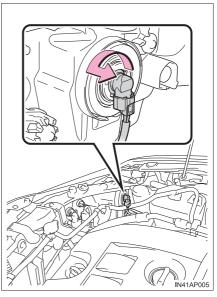
リヤのバルブ位置



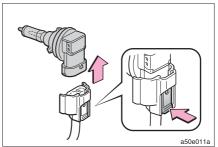
- ① リヤ方向指示灯/非常点滅灯
- ② 後退灯
- ③ 番号灯

電球交換のしかた

- ヘッドランプ ロービーム / ハイビーム(ハロゲンヘッドランプ装着車)
 - 1 ソケットを取りはずす

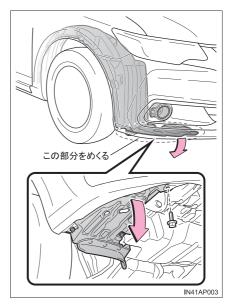


2 電球を取りはずす

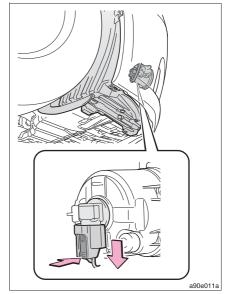


■ フロントフォグランプ*

1 ネジ(1本)を取りはずし、フェンダーライナーをめくる

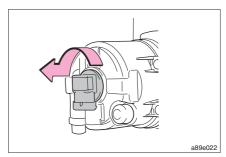


2 コネクターを取りはずす

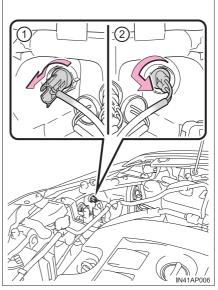


★:グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

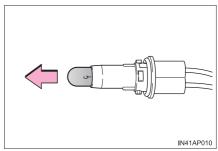
3 電球を取りはずす



- 4 取り付けるときは、取りはずしたときと逆の手順で取り付ける
- 車幅灯(ハロゲンヘッドランプ装着車)
 - 1 ソケットを取りはずす
 - 1) 助手席側
 - ② 運転席側

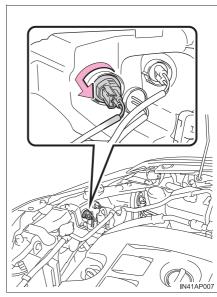


2 電球を取りはずす

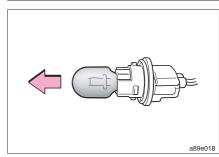


■ フロント方向指示兼非常点滅灯

1 ソケットを取りはずす

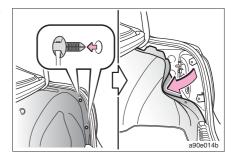


2 電球を取りはずす

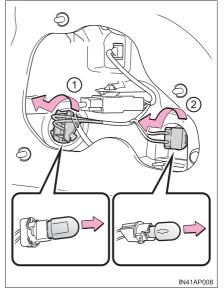


■ 後退灯・リヤ方向指示兼非常点滅灯

1 トランクを開け、クリップ(2個)をはずしてカバーをめくる クリップ頭部の穴にマイナスドライバーなどを挿し込み、手前に引くと クリップがはずれます。

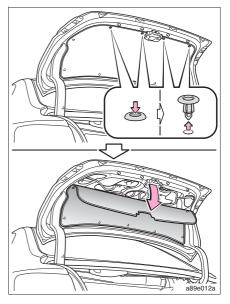


- 2 ソケットを取りはずし、電球を 取りはずす
 - (1) リヤ方向指示兼非常点滅灯
 - (2) 後退灯

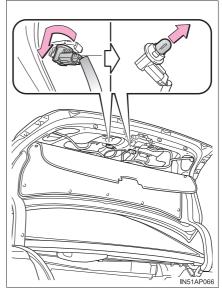


■ 番号灯

1 トランクを開け、クリップ(4個)をはずしてカバーをめくる クリップ頭部の中心を押してから手前に引くと、クリップがはずれます。



2 ソケットを取りはずし、電球を 取りはずす



■ 次の電球を交換するには

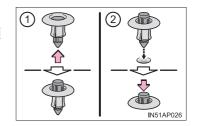
次の電球が切れたときは、トヨタ販売店で交換してください。

- ヘッドランプ(LED タイプ)
- 車幅灯 (LED タイプ)
- 制動灯 (LED タイプ)
- 尾灯 (LED タイプ)
- サイド方向指示兼非常点滅灯(バルブ)
- ハイマウントストップランプ(LED タイプ)

□ 知識

■トランクリッドのカバーのクリップを取り付けるとき

- (1) 先端を押して、クリップの中心を出す
- ② クリップをセットしてから、クリップ頭 部の中心を押す



■LED ランプについて(LED ランプ装着車)

ヘッドランプ・車幅灯・尾灯・制動灯・ハイマウントストップランプは、数個の LED で構成されています。もし LED がひとつでも点灯しないときは、 トヨタ販売店で交換してください。

■レンズ内の水滴と曇り

レンズ内の一時的な曇りは、機能上問題ありません。ただし、次のようなときは、トヨタ販売店にご相談ください。

- ●レンズ内側に大粒の水滴が付いている
- ランプ内に水がたまっている

■電球の交換について

電球の交換作業をするときに、部品などの破損が心配な方は、トヨタ販売店にご相談ください。

▲ 警告

■電球を交換するとき

- ランプは消灯してください。消灯直後は高温になっているため、交換しないでください。
 - やけどをすることがあります。
- ●電球のガラス部を素手でふれないでください。 やむを得ずガラス部を持つ場合は、電球に油脂や水分を付着させないために、 乾いた清潔な布などを介して持ってください。 また、電球を傷付けたり、落下させたりすると球切れや破裂することがありま す。
- ●電球や電球を固定するための部品はしっかり取り付けてください。 取り付けが不十分な場合、発熱や発火、またはヘッドランプ内部への浸水による故障や、レンズ内に曇りが発生することがあります。

■お車の故障や火災を防ぐために

電球が正しい位置にしっかりと取り付けられていることを確認してください。

万一の場合には

/- I. まず例めに	
故障したときは	310
非常点滅灯	
(ハザードランプ)	311
発炎筒	312
車両を緊急停止するには	314
7-2. 緊急時の対処法	
けん引について	316
フューエルポンプ	
シャットオフシステム	323
警告灯がついたときは	324
警告メッセージが	
表示されたときは	328
パンクしたときは	332
エンジンが	
かからないときは	344
電子キーが正常に	
働かないときは	
(スマートエントリー&	0.40
スタートシステム装着車)	346
バッテリーが	
あがったときは	348
オーバーヒートした	
ときは	
スタックしたときは	357

故障したときは

故障のときはすみやかに次の指示に従ってください。

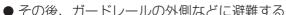
非常点滅灯 (→ P. 311) を点滅させながら、車を路肩に寄せ停車する

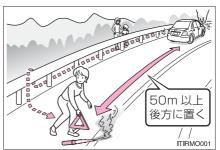
非常点滅灯は、故障などでやむを得ず 路上駐車する場合、他車に知らせるた め使用します。



高速道路や自動車専用道路では、次 のことに従う

- 同乗者を避難させる
- 車両の 50m 以上後方に発炎筒 (→ P. 312) と停止表示板を置 くか、停止表示灯を使用する
 - ・見通しが悪い場合はさらに後方に 置いてください。
 - ・発炎筒は、燃料もれの際やトンネル 内では使用しないでください。





□知識

■停止表示板・停止表示灯について

- ●高速道路や自動車専用道路でやむを得ず 駐停車する場合は、停止表示板または停止 表示灯の表示が、法律で義務付けられてい ます。
- ●停止表示板・停止表示灯のご購入について は、トヨタ販売店にお問い合わせくださ い。

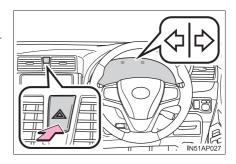


非常点滅灯(ハザードランプ)

故障などでやむを得ず路上駐車する場合、他車に知らせるために使用してください。

スイッチを押す

すべての方向指示灯が点滅し、もう一 度押すと消灯します。



□ 知識

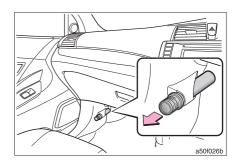
■非常点滅灯について

エンジン停止中に、非常点滅灯を長時間使用すると、バッテリーがあがるおそれがあります。

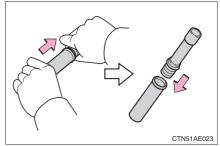
発炎筒

高速道路や踏切などでの故障・事故時に非常信号用として使用します。 (トンネル内や可燃物の近くでは使用しないでください) 発炎時間は約5分です。非常点滅灯と併用してください。

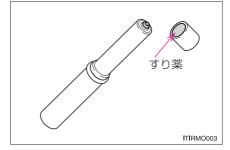
1 助手席足元の発炎筒を取り出す



2 本体をまわしながら抜き、本体を 逆さにして挿し込む



3 先端のフタを取り、すり薬で発炎 筒の先端をこすり、着火させる 必ず車外で使用してください。着火さ せる際は、筒先を顔や体に向けないで ください。



□知識

■発炎筒の有効期限

本体に表示してある有効期限が切れる前に、トヨタ販売店でお求めください。有効期限が切れると、着火しなかったり、炎が小さくなる場合があります。

▲ 警告

■発炎筒を使用してはいけない場所

次の場所では、発炎筒を使用しないでください。
煙で視界が悪くなったり、引火するおそれがあるため危険です。

- トンネル内
- ●ガソリンなど可燃物の近く

■発炎筒の取り扱いについて

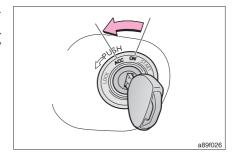
次のことを必ずお守りください。お守りいただかないと、重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

- ●使用中は、発炎筒を顔や体に向けたり、近付けたりしない
- ●発炎筒は、お子さまにさわらせない

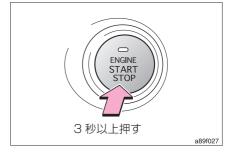
車両を緊急停止するには

万一、車が止まらなくなったときの非常時のみ、次の手順で車両を停止させてください。

- 1 ブレーキペダルを両足でしっかりと踏み続ける ブレーキペダルをくり返し踏まないでください。通常より強い力が必要となり、制動距離も長くなります。
- **2** シフトレバーを N に入れる
- ▶ シフトレバーが N に入った場合
- |3||減速後、車を安全な道路脇に停める
- 4 エンジンを停止する
- ▶ シフトレバーが N に入らない場合
- 3 ブレーキペダルを両足で踏み続け、可能な限り減速させる
- 4 スマートエントリー & スタート システム非装着車:エンジンス イッチを"ACC"にして、エン ジンを停止する



スマートエントリー & スタート システム装着車:エンジンスイッ チを 3 秒以上押し続けてエンジ ンを停止する



5 車を安全な道路脇に停める

▲ 警告

■走行中にやむを得ずエンジンを停止するとき

- ●ブレーキの効きが悪くなると共にハンドル操作が重くなるため、車のコントロールがしにくくなり危険です。エンジンを停止する前に、十分に減速するようにしてください。
- ●スマートエントリー & スタートシステム非装着車: キーを抜くとハンドルが ロックされるため、キーは絶対に抜かないでください。

けん引について

けん引は、できるだけトヨタ販売店または専門業者にご依頼ください。 その場合は、レッカー車または、車両運搬車を使用することをおすすめ します。

やむを得ず他車にロープでけん引してもらう場合は、車両積載車までの移動など、できるだけ短距離にとどめてください。

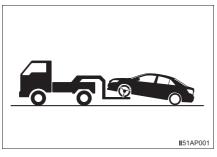
けん引の前に販売店への連絡が必要な状況

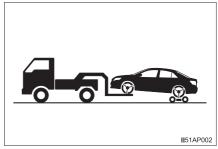
次の場合は、駆動系の故障が考えられるため、トヨタ販売店または専門業者へご連絡ください。

- エンジンはかかるが車が動かない
- 異常な音がする

レッカー車でけん引するとき

- ▶ 前向きにけん引するときは(FF 車)
- ▶ 前向きにけん引するときは (4WD車)

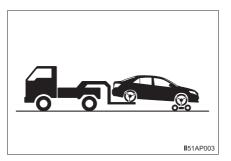




台車を使用して後輪を持ち上げる

パーキングブレーキを解除する

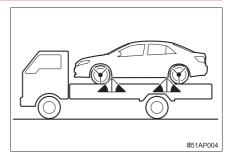
▶ うしろ向きにけん引するときは



台車を使用して前輪を持ち上げる

車両運搬車を使用するとき

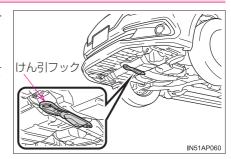
鎖やケーブルなどを使用して車両を固縛する場合は図に黒く示す角度が 45°になるように固縛する



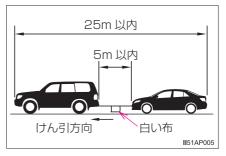
他車にけん引してもらうとき

1 車体に傷が付かないようにロー プをけん引フックにかける

車体に傷が付かないように注意してく ださい。また、前進方向でけん引して ください。



2 ロープの中央に白い布を付ける 布の大きさ:0.3m 平方(30cm × 30cm) 以上



3 運転者はけん引される車両に乗り、エンジンをかける スマートエントリー&スタートシステム非装着車: エンジンがかからないときは、エンジン スイッチを"ON"にしてください。

スマートエントリー&スタートシステム装着車: エンジンがかからないときは、エンジンスイッチを ON モードにしてください。

4 けん引される車両のシフトレバーを N にしてから、パーキングブレー キを解除する

けん引中は、ロープがたるまないよう、減速時なども前の車の速度に合わせてください。

シフトレバーがシフトできないときは→P. 140

□知識

■けん引フックの使用目的

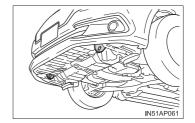
けん引フックはけん引してもらうときに使うものであり、他車をけん引するためのものではありません。

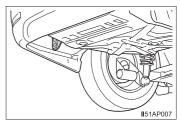
■けん引されるときに

エンジンが停止しているとブレーキの効きが悪くなったり、ハンドル操作が通常より重くなったりします。

■輸送用フック

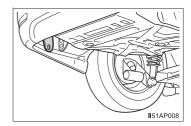
このフックは、船舶固縛で車両を輸送するときに固定するためのものです。他車に引っ張り出してもらったり、他車をけん引したりすることはできません。





■緊急用フック (寒冷地仕様車)

雪の吹きだまりなどでスタックして走行できなくなったときに、やむを得ず他車に引っ張り出してもらうために使用することができます。他車をけん引することはできません。



▲ 警告

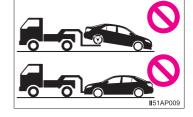
次のことを必ずお守りください。

お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■レッカー車でけん引するとき

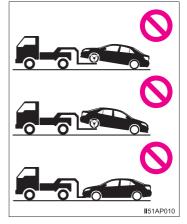
▶ FF 車

必ず前輪を持ち上げるか4輪とも持ち上げた状態で運搬してください。前輪が地面に着いた状態でけん引すると、駆動系部品が破損するおそれがあります。



▶ 4WD 車

4 輪とも持ち上げた状態で運搬してください。タイヤが地面に着いた状態でけん引すると、駆動系部品が破損したり車が台車から飛び出したりするおそれがあります。



▲ 警告

■他車にけん引してもらうときの運転について

- ●けん引フックやロープに過剰な負荷をかける急発進などを避けてください。 けん引フックやロープが破損し、その破片が周囲の人などにあたり、重大な傷害を与えるおそれがあります。
- ●エンジンスイッチを "LOCK"(スマートエントリー&スタートシステム非 装着車)または、OFF(スマートエントリー&スタートシステム装着車)に しないでください。

ハンドルがロックされ、ハンドル操作ができなくなるおそれがあります。

⚠ 注意

■レッカー車でけん引するとき

車両の損傷を防ぐために図のようなレッカー車ではけん引しないでください。



■車両運搬車に車を固縛するとき

ケーブル等を過度に締め付けすぎないでください。車両の損傷につながるおそれがあります。

⚠ 注意

■駆動系部品の損傷を防ぐために

- ●ロープでけん引されるときは次のことを必ずお守りください。
 - ワイヤーロープは使用しない
 - ・速度 30km/h 以下、距離 80km 以内でけん引する
 - 前進方向でけん引する
 - サスペンション部などにロープをかけない
- ■この車両で他車やボート(トレーラー)などをけん引しないでください。

■長い下り坂でけん引するとき

▶ FF 車

レッカー車で前輪を持ち上げるか、4 輪とも持ち上げた状態でけん引してください。レッカー車でけん引しないと、ブレーキが過熱し効きが悪くなるおそれがあります。

▶ 4WD 重

レッカー車で4輪とも持ち上げた状態でけん引して下さい。レッカー車でけん引しないと、ブレーキが過熱し効きが悪くなるおそれがあります。

■輸送用フックについて

輸送用フックで他車に引っ張り出してもらったり、他車をけん引したりしないでください。装置の変形や車両の損傷などにつながるおそれがあります。

■緊急用フックについて

次のことを必ずお守りください。お守りいただかないと、装置の変形や車両の損傷などにつながるおそれがあります。

- ●やむを得ない場合以外は使用しないでください。
- ■緊急用フックで他車をけん引しないでください。

フューエルポンプシャットオフシステム

エンジン停止時および SRS エアバッグ作動時は、フューエルポンプシャットオフシステムが作動し、燃料供給を停止し、燃料もれを最小限に抑えます。

システム作動後にエンジンを再始動するには

システムが作動したあと、エンジンを始動するには、次の手順に従ってください。

- ▶ スマートエントリー&スタートシステム非装着車
- 1 エンジン スイッチを "ACC" または "LOCK" にする
- 2 エンジンを再始動する
- ▶ スマートエントリー&スタートシステム装着車
- 1 エンジンスイッチをアクセサリーモード、または OFF にする
- 2 エンジンを再始動する

⚠ 注意

■エンジンを始動する前に

車両下をよく確認してください。

地面に燃料もれを見つけた場合は、燃料システムに損傷があり、修理する必要があります。その場合はエンジンを再始動しないでください。

警告灯がついたときは

警告灯が点灯または点滅したままの場合は、落ち着いて次のように対処してください。なお、点灯・点滅しても、その後消灯すれば異常ではありません。ただし、同じ現象が再度発生した場合は、トヨタ販売店で点検を受けてください。

警告灯・警告ブザー一覧

警告灯	警告灯名・警告内容・対処方法		
(1)	ブレーキ警告灯 (警告ブザー ^{※ 1})		
©	エンジン警告灯 ・ エンジン電子制御システムの異常 ・ 電子制御スロットルの異常 ・ オートマチックトランスミッション電子制御システムの異常 常 → ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください 。		
*	SRS エアバッグ/プリテンショナー警告灯 · SRS エアバッグシステムの異常 · プリテンショナー付シートベルトシステムの異常 → ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。		
(ABS)	ABS & ブレーキアシスト警告灯 · ABS の異常 · ブレーキアシストの異常 → ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。		
Θ!	パワーステアリング警告灯(警告ブザー) ・ EPS(エレクトリックパワーステアリング)の異常 → ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください 。		

警告灯	警告灯名·警告内容·対処方法		
OFF	PCS (プリクラッシュセーフティシステム) 警告灯* 警告灯が点滅した場合 (ブザーあり): プリクラッシュセーフティシステムの異常 → ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。 警告灯が点滅した場合 (ブザーなし): 次の原因などによりプリクラッシュセーフティシステムが一時停止している可能性があります。 ・ 前方センサー周辺のフロントウインドウガラスに汚れ (くもり、結露、凍結などを含む) や付着物がある → 汚れや付着物を取り除いてください。(→ P. 162) ・ 前方センサー温度が作動範囲外 → センサーの周辺温度が下がるまでしばらくお待ちください。 警告灯が点灯した場合: VSC (ビークルスタビリティコントロール) システムまたはプリクラッシュセーフティシステム、もしくは両方が OFF になっています。 → VSC システムとプリクラッシュセーフティシステムを ONにすると、プリクラッシュセーフティシステムが利用可能になります。(→ P. 167、227)		
	燃料残量警告灯燃料の残量が約 9L 以下になった→ 燃料を補給する		
* 4	油圧警告灯 (警告ブザー* ²) エンジンオイルの圧力が異常に低い → ただちに安全な場所に停車し、トヨタ販売店へ連絡してくだ さい。走行を続けると危険です。		
Z.	シートベルト非着用警告灯(警告ブザー ^{※ 3}) 運転席・助手席シートベルトの非着用 → シートベルトを着用する		
A	マスターウォーニング システムの異常時に点灯・点滅し、マルチインフォメーショ ンディスプレイに警告メッセージを表示します。 → P. 328		
* 4	充電警告灯充電系の異常(エンジン始動中)→ ただちに安全な場所に停車し、トヨタ販売店へ連絡してください。		

★:グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

警告灯	警告灯名・警告内容・対処方法		
(戶) (点滅)	パーキングブレーキ表示灯 パーキングブレーキの未解除 → パーキングブレーキを解除してください 。		
	スリップ表示灯(点灯したままのとき) 次のいずれかの機能の異常 ・ VSC システムの異常 ・ TRC システムの異常 ・ ヒルスタートアシストコントロールシステムの異常 VSC・TRC システムの作動時は点滅します。 → ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。		
A OFF (点滅)	Stop & Start キャンセル表示灯* Stop & Start システムの異常 (Stop & Start システム非作動時は点灯します。→ P. 214) → ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。		
○OFF (点滅)	ICS OFF 表示灯★ インテリジェントクリアランスソナーの異常(警告ブザー) システムの異常時以外にも、警告灯が次のように作動します。 センサー部の汚れなどによりシステムが一時的に使用できないときに点滅します。(→ P. 331)		
* 4	ブレーキオーバーライドシステム/ドライブスタートコントロール/インテリジェントクリアランスソナー*警告灯・ブレーキオーバーライドシステムの異常・ドライブスタートコントロールの異常・インテリジェントクリアランスソナー作動時(→P. 206)→表示された画面の指示に従ってください。		

* [|] ブレーキ警告ブザー:

ブレーキの効き低下につながる異常があると、警告灯の点灯と同時にブザーが鳴ります。

※² 油圧警告ブザー:

警告灯が点灯している状態で、車速が約 5km/h 以上になると警告ブザーが鳴ります。

※3 運転席・助手席シートベルト非着用警告ブザー:

運転席・助手席シートベルト非着用のまま車速が約 20km/h 以上になると警告ブザーが 1 回鳴ります。その後も運転席・助手席シートベルトを非着用のまま 24 秒を経過すると、30 秒間断続的に鳴り、さらにブザーの音がかわり 90 秒間鳴ります。

** ⁴ マルチインフォメーションディスプレイに表示されます。

★:グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

□知識

■シートベルト非着用警告灯の乗員検知センサーの作動について

- ●乗員がいなくても、シートに荷物などを置くと、センサーが重量を検知して警告灯が点滅することがあります。
- ●座布団などを敷くと、センサーが乗員を検知せず警告灯が作動しないことがあります。

■パワーステアリング警告灯/警告ブザーについて

バッテリーの充電が不十分な場合、または一時的に電圧が下がった場合に警告灯が点灯し、警告ブザーが鳴ることがあります。

■警告ブザーについて

状況によっては、外部の騒音やオーディオ(販売店装着オプションのオーディオ 装着車)の音などにより、ブザー音が聞こえない場合があります。

■ブレーキ警告灯について(2ZR-FAE/3ZR-FAEエンジン搭載車)

エンジン スイッチが "ON" (スマートエントリー&スタートシステム非装着車)、またはイグニッション ON モード (スマートエントリー&スタートシステム装着車) で、エンジンが停止しているとき、ブレーキペダルを数回踏むと点灯します。エンジン始動後、消灯すれば正常です。

▲ 警告

■ABS &ブレーキアシスト警告灯とブレーキ警告灯が同時に点灯したとき

この場合、ABS、ブレーキアシストに異常が発生しているだけでなく、強めにブレーキをかけた際に車両姿勢が不安定になるおそれがあります。 ABS & ブレーキアシスト警告灯とブレーキ警告灯が同時に点灯したときは、ただちに安全な場所に停車し、トヨタ販売店にご連絡ください。

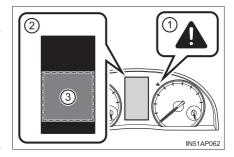
■パワーステアリング警告灯が点灯したとき

ハンドル操作が非常に重くなることがあります。 ハンドル操作が通常より重いときは、ハンドルをしっかりと持ち、通常より強く操作してください。

警告メッセージが表示されたときは

マルチインフォメーションディスプレイには、システムの故障や誤った操作をしたときの警告、メンテナンスが必要であることをお知らせするメッセージが表示されます。メッセージが表示されたときは、メッセージの内容に従って対処してください。

- ① マスターウォーニング マルチインフォメーションディスプレ イに警告メッセージが表示されている とき、点灯・点滅します。
- ② マルチインフォメーションディ スプレイ
- ③ 対処方法マルチインフォメーションディスプレイのメッセージに従ってください。



処置後に再度メッセージが表示されたときは、トヨタ販売店へご連絡く ださい。

メッセージと警告作動

メッセージの内容によって警告灯や警告ブザーの作動が次のように切りかわります。ディーラーで点検をするように表示されたときは、ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。

	専用警告灯	警告ブザー※	警告内容
点灯	_	あり	走行にかかわるシステムの故障や、そのまま放置すると思わぬ危険を招くおそれがあるなどの重要なメッセージを意味します。
_	点灯または 点滅	あり	表示されたシステムに故障のお それがあるなどのメッセージを 意味します。
点滅	_	あり	車両への損傷や、思わぬ危険を招 くおそれがあるなどのメッセー ジを意味します。
点灯	_	なし	電装品の故障や状態、メンテナン スのお知らせなどのメッセージ を意味します。
点滅	_	なし	車両を正しく操作していない場合や、操作方法のアドバイスなどを意味します。

上記の点灯状況、ブザーの吹鳴状況と異なる場合があります。その際は 表示された内容に従ってすみやかに対応してください。

^{**} メッセージを最初に表示したときに作動します。

□ 知識

■警告メッセージについて

文中の警告メッセージの表示は、使用状況や車両の仕様により実際の表示と異なる場合があります。

■「販売店で点検してください」の警告メッセージが表示されたとき

警告メッセージで名称が表示されたシステム、または部位などに問題が発生しています。

すみやかにトヨタ販売店で点検を受けてください。

■各部の操作に関するメッセージが表示されたとき

●アクセルペダル・ブレーキペダルの操作に関するメッセージが表示されたとき PCS (プリクラッシュセーフティシステム)★やクルーズコントロール★などの 走行支援システムの作動中、ブレーキ操作に関する警告メッセージが表示され る場合があります。

メッセージが表示されたときは、必ず減速、または画面で指示された操作を行ってください。

●ドライブスタートコントロール・ブレーキオーバーライドシステム・インテリジェントクリアランスソナー*が作動したときに、警告メッセージが表示されます。(→ P. 206)

画面の指示に従って対処してください。

●各部の開閉状態や、消耗品の補充などに関するメッセージ・画像が表示されたとき

画面の表示、または指示された部位を確認し、開いているドア、トランクを閉めたり、消耗品を補充したりするなどの対処を行ってください。

■「取扱書を確認」の警告メッセージが表示されたとき

「エンジン油圧不足 安全な場所に停車して取扱書を確認してください」が表示されたときは、ただちに安全な場所に停車し、トヨタ販売店へ連絡してください。

■「4WD システム高温 2WD 走行に切かわりました」が表示されたとき (4WD 車) 負荷の高い走行状況が続いたときに、メッセージが表示される場合があります。 対処方法: → P. 229 ■「前方カメラシステム一時使用不可 しばらくお待ちください」または「前方カメラー時使用不可 ガラスの汚れや曇りを取ってください」 が表示されたとき (Toyota Safety Sense 装着車)

次のシステムが一時的もしくは対処を行うまで使用できなくなります。表示された画面の指示に従ってください。

- ●PCS (プリクラッシュセーフティシステム)
- ■LDA (レーンディパーチャーアラート)
- ●オートマチックハイビーム
- ●先行車発進告知機能
- ■クリアランスソナーに異常があるときは(クリアランスソナー装着車)

マルチインフォメーションディスプレイに異常を知らせる表示が出ます。

● クリアランスソナーのセンサーに氷・雪・泥などが付着している ことが考えられます。

この場合はセンサーの氷・雪・泥などなどを取り除けば、正常に復帰します。また、低温時はセンサーの凍結などにより異常表示が出たり、障害物があっても感知しないことがあります。氷が解ければ、正常に復帰します。



センサー部に氷・雪・泥などが付着してないのに警告メッセージ が表示している場合は、センサーの異常が考えられますので トヨタ販売店で点検を受けてください。

●センサーの異常などにより装置が正常に作動しなくなるおそれがあります。

トヨタ販売店で点検を受けてください。



- ■マルチインフォメーションディスプレイに「P レンジに入れてください」が表示 されたとき (スマートエントリー&スタートシステム装着車)
 - シフトレバーをPの位置にしてから、操作をしてください。
- ■マルチインフォメーションディスプレイに「キーがみつかりません」が表示されたとき(スマートエントリー&スタートシステム装着車)

電子キーを携帯して、操作をしてください。

■マルチインフォメーションディスプレイに「始動時はブレーキを踏んでください」 が表示されたとき(スマートエントリー&スタートシステム装着車)

ブレーキペダルをしっかり踏んで、エンジンを始動してください。

パンクしたときは

パンクしたタイヤを、備え付けの応急用タイヤと交換してください。 (タイヤについての詳しい説明は、P. 285 を参照してください)

▲ 警告

■タイヤがパンクしたとき

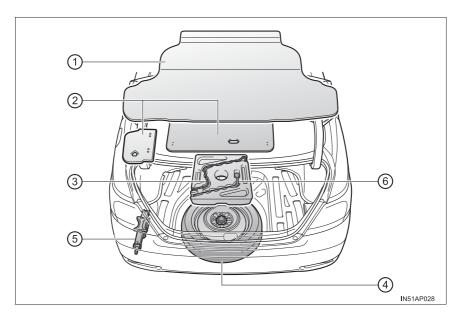
パンクしたまま走行しないでください。

短い距離でも、タイヤとホイールが修理できないほど損傷したり、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

ジャッキで車体を持ち上げる前に

- 地面が固く平らな場所に移動する
- パーキングブレーキをかける
- シフトレバーを P に入れる
- エンジンを停止する
- 非常点滅灯を点滅させる

工具とジャッキの搭載位置



- ①マット
- ② カバー
- ③ ジャッキハンドル

- (4) 応急用タイヤ
- ⑤ ジャッキ
- ⑥ ホイールナットレンチ

▲ 警告

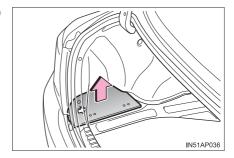
■ジャッキの使用について

ジャッキの取り扱いを誤ると、車が落下して重大な傷害におよぶか、最悪の場合 死亡につながるおそれがあります。 次のことをお守りください。

- ●ジャッキはタイヤ交換・タイヤチェーン取り付け・取りはずし以外の目的で 使用しない
- ●備え付けのジャッキは、お客様の車にしか使うことができないため、他の車に使ったり、他の車のジャッキをお客様の車に使用したりしない
- ●ジャッキセット位置に正しくジャッキがかかっていることを確かめる
- ●ジャッキで支えられている車の下に体を入れない
- ●ジャッキで支えられている状態で、エンジンをかけたり走らせない
- ●車内に人を乗せたまま車を持ち上げない
- ●車を持ち上げるときは、ジャッキの上または下にものを載せない
- ●車を持ち上げるときは、タイヤ交換できる高さ以上に上げない
- ●車の下にもぐり込んで作業する場合は、ジャッキスタンドを使用する 車両を下げる際は特に、ご自身や周囲の人がけがをしないよう注意してください。

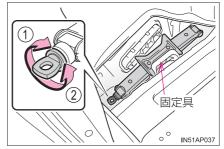
ジャッキの取り出し方

1 マットを取り出し、トランク内のカバーを取りはずす



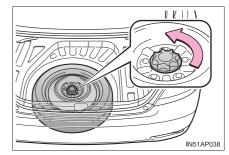
- 2 ジャッキを取り出す
 - (1) 締まる
 - ② ゆるむ

格納するときは、ジャッキと固定具がかみ合うよう、確実に固定してください。



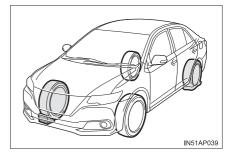
応急用タイヤの取り出し方

- 1 マットとカバーを取りはずす (→ P. 333)
- 2 留め具をはずし、タイヤを取り出す



パンクしたタイヤの交換

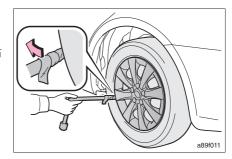
- 1 輪止め※をする
 - ** 輪止めは、トヨタ販売店で購入することができます。



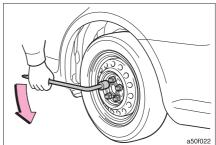
パンクしたタイヤ		輪止めの位置	
前輪	左側	右側後輪うしろ	
日山半間	右側	左側後輪うしろ	
後輪	左側	右側前輪前	
1女 #	右側	左側前輪前	

2 ホイールキャップをはずす (スチールホイールのみ)

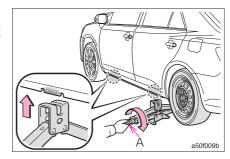
> 傷が付くのを防ぐため、図のように布 などを巻いて保護してください。



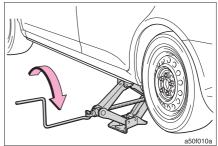
3 ナットを少し(約 1 回転) ゆるめる



4 ジャッキの A 部を手でまわして、 ジャッキ溝をジャッキセット位 置にしっかりかける

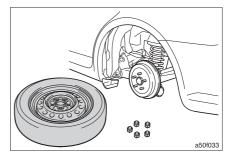


5 タイヤが地面から少し離れるまで、車体を上げる



6 ナットすべてを取りはずし、タイヤを取りはずす

タイヤを直接地面に置くときは、ホ イールの意匠面に傷が付かないよう意 匠面を上にします。



▲ 警告

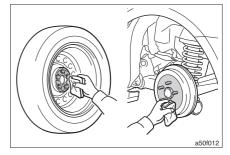
■タイヤ交換について

- ●走行直後、ディスクホイールやブレーキまわりなどにはふれないでください。 走行直後のディスクホイールやブレーキまわりは高温になっているため、タイヤ交換などで手や足などがふれると、やけどをするおそれがあります。
- ●次のことをお守りいただかないとナットがゆるみ、ホイールがはずれ落ち、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
 - ・ホイールの交換後は、すぐに 103 N・m(1050 kgf・cm)の力でナットを締める
 - ・タイヤの取り付けには、使用しているホイール専用のナットを使用する
 - ・ボルトやナットのねじ部や、ホイールのボルト穴につぶれや亀裂などの異常がある場合は、トヨタ販売店で点検を受ける
 - ・ナットを取り付けるときは、必ずテーパー部を内側にして取り付ける (→ P. 339)

タイヤの取り付け

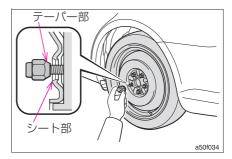
1 ホイール接触面の汚れをふき取る

ホイール接触面が汚れていると、走行中にナットがゆるみ、タイヤがはずれるおそれがあります。



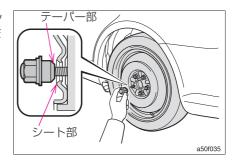
- **2** タイヤを取り付け、タイヤががたつかない程度まで手でナットを仮締めする
 - ▶ スチールホイールからスチールホイールにかえるとき (応急用タイヤを含む)

ナットのテーパー部がホイール のシート部に軽くあたるまでま わす



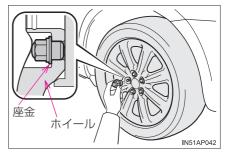
▶ アルミホイールから応急用タイヤにかえるとき

ナットのテーパー部がホイール のシート部に軽くあたるまでま わす

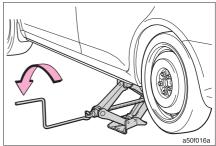


▶ アルミホイールからアルミホイールにかえるとき

ナットの座金がホイールにあた るまで仮締めする



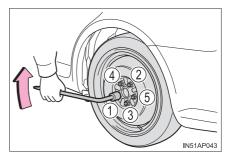
3 車体を下げる



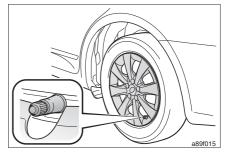
4 図の番号順でナットを 2、3 度 しっかり締め付ける

締め付けトルク:

103 N·m (1050 kgf·cm)



- 5 ホイールキャップを取り付ける** タイヤのバルブ(空気口)に切り欠きを合わせてホイールキャップを確実に取り付けます。
 - ※ スチールホイールのみ(応急用タイヤに取り付けることはできません)



6 すべての工具・ジャッキ・パンクしたタイヤを収納する

__ 知識

■応急用タイヤについて

- タイヤの側面に TEMPORARY USE ONLY と書かれています。 応急用にのみ使用してください。
- ●空気圧を必ず点検してください。(→ P. 364)

■雪道・凍結路で前輪がパンクしたとき

- 1 後輪を応急用タイヤと交換する
- 2 パンクした前輪をはずした後輪と交換する
- 3 タイヤチェーンを前輪に装着する

▲ 警告

■応急用タイヤを使用するときは

- ●お客様のお車専用になっているため、他の車には使用しないでください。
- ●同時に2つ以上の応急用タイヤを使用しないでください。
- ●できるだけ早く通常のタイヤと交換してください。
- ●急加速・急ブレーキ・急減速・急旋回は避けてください。

■応急用タイヤを収納するときは

ボデーと応急用タイヤとのあいだに、指などを挟まないように注意してください。

■応急用タイヤ装着中は

正確な車両速度が検出できない場合があり、次のシステムが正常に作動しなくなるおそれがあります。

- · ABS
- ・ブレーキアシスト
- · VSC
- · TRC
- · FPS
- ・クルーズコントロール★
- ・オートマチックハイビーム★
- PCS (プリクラッシュセーフティシステム) ★
- LDA(レーンディパーチャーアラート/車線逸脱警報)★
- · 先行車発進告知機能★
- ・クリアランスソナー★
- ・インテリジェントクリアランスソ ナー★

また、次のシステムは、性能が十分に発揮できないばかりでなく、駆動系部品 に悪影響を与えるおそれがあります。

・4WD システム★

■応急用タイヤ使用時の速度制限

応急用タイヤを装着しているときは、80km/h以上の速度で走行しないでください。

応急用タイヤは、高速走行に適していないため、思わぬ事故につながるおそれ があり危険です。

^{★:}グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

⚠ 注意

■パンクしたままの走行について

タイヤがパンクした状態で走行を続けないでください。 短い距離の運転でも、タイヤとホイールが修理できないほどの損傷になります。

■応急用タイヤ装着中は段差に注意

応急用タイヤ装着中は、標準タイヤ装着時にくらべ車高が低くなっています。 段差を乗りこえるときは注意してください。

■応急用タイヤ使用時のタイヤチェーン装着

応急用タイヤには、タイヤチェーンを装着しないでください。 タイヤチェーンが車体側にあたり、走行に悪影響をおよぼすおそれがあります。

エンジンがかからないときは

正しいエンジンのかけ方 (→ P. 131, 134) に従ってもエンジンがかからないときは、次のことを確認してください。

スターターは正常にまわっているのにエンジンがかからない場合

次の原因が考えられます。

- 燃料が入っていない可能性があります。給油してください。
- 燃料を吸い込みすぎている可能性があります。 再度、正しい手順(→ P. 131, 134)に従って、エンジンをかけて ください。
- エンジンイモビライザーシステム*に異常がある可能性があります。(→ P. 60)

スターターがゆっくりまわる/室内灯・ヘッドランプが暗い/ホーンの 音が小さい、または鳴らない場合

次の原因が考えられます。

- バッテリーあがりの可能性があります。(→ P. 348)
- バッテリーのターミナルがゆるんでいる可能性があります。

スターターがまわらない場合 (スマートエントリー&スタートシステム装着車)

電装品の断線やヒューズ切れなど、電気系統異常の可能性があります。異常の種類によっては、エンジンを一時的な処置でかけることができます。 (→ P. 345)

^{★:}グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

スターターがまわらない/室内灯・ヘッドランプが点灯しない/ホーン が鳴らない場合

次の原因が考えられます。

- バッテリーのターミナルがはずれている可能性があります。
- バッテリーあがりの可能性があります。(→ P. 348)
- ステアリングロックシステムに異常がある可能性があります(スマートエントリー&スタートシステム装着車)。

処置のしかたがわからないとき、あるいは処置をしてもエンジンがかからないとき は、トヨタ販売店にご連絡ください。

緊急始動機能(スマートエントリー&スタートシステム装着車)

通常のエンジン始動操作でエンジンが始動しないときは、次の手順でエンジンが始動する場合があります。緊急時以外は、この方法で始動させないでください。

- 1 パーキングブレーキがかかっていることを確認する
- **2** シフトレバーが P の位置にあることを確認する
- 3 エンジンスイッチをアクセサリーモードにする
- 4 ブレーキペダルをしっかり踏んでエンジンスイッチを約 15 秒以上押し続ける

上記の方法でエンジンが始動しても、システムの故障が考えられます。ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。

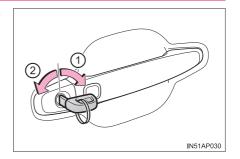
電子キーが正常に働かないときは(スマートエントリー& スタートシステム装着車)

電子キーと車両間の通信がさまたげられたり (→ P. 94)、電子キーの電池が切れたときは、スマートエントリー&スタートシステムとワイヤレスリモコンが使用できなくなります。このような場合、次の手順でドアを開けたり、エンジンを始動したりすることができます。

ドアの施錠・解錠

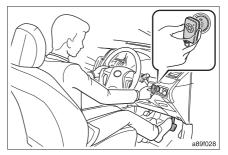
メカニカルキー (→ P. 79) を使って次の操作ができます。

- (1) 全ドア施錠
- (2) 全ドア解錠



エンジン始動の方法

- 1 シフトレバーが P の状態でブレーキペダルを踏む
- 配子キーのトヨタエンブレム面でエンジンスイッチにふれる この操作中にいずれかのドアが開閉されると、スマートエントリー&スタートシステムがエンジンスイッチにふれた電子キーを正しく検知できず、警告音が鳴ります。



3 エンジンスイッチのインジケーターが緑色に点灯したら、ブレーキペダルをしっかり踏み込んでエンジンスイッチを押す

処置をしても作動しないときは、トヨタ販売店にご連絡ください。

□知識

■エンジンの停止のしかた

通常のエンジン停止のしかたと同様に、シフトレバーを P にしてエンジンスイッチを押します。

■電池交換について

ここで説明しているエンジンの始動方法は、一時的な処置です。電池が切れたときは、ただちに電池の交換をおすすめします。(→ P. 292)

■モードの切りかえ

ブザーが鳴ってから 5 秒以内に、ブレーキペダルを足から離してエンジンスイッチを押すと、エンジンが始動せず、スイッチを押すごとにモードが切りかわります。 (\rightarrow P. 135)

バッテリーがあがったときは

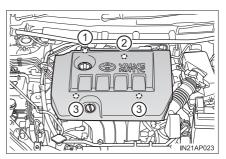
バッテリーがあがった場合、次の手順でエンジンを始動することができます。

ブースターケーブルと 12V のバッテリー付き救援車があれば、次の手順に従って、エンジンを始動させることができます。

- 1 ボンネットを開ける(→ P. 280)
- **2** エンジン上部のカバーをはずす(1NZ-FE エンジン搭載車を除く)

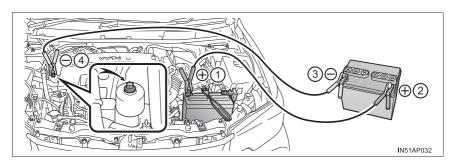
カバーの各部を次の順で上に引き、エンジン側の固定ピンからカバーをはずします。

- ① 運転席側後方
- ② 助手席側後方
- ③ 車両前方(2ヶ所)図は3ZR-FAEエンジンで説明しています。

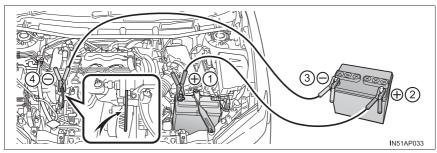


- 3 バッテリーの+端子のカバーをはずし、ブースターケーブルを次の順 につなぐ
 - (1) 赤色のブースターケーブルを自車のバッテリーの+端子につなぐ
 - (2) 赤色のブースターケーブルのもう一方の端を救援車のバッテリーの +端子につなぐ
 - ③ 黒色のブースターケーブルを救援車のバッテリーの-端子につなぐ
 - ④ 黒色のブースターケーブルのもう一方の端をバッテリーから離れた、未塗装の金属部(次ページの図に示すような固定された部分)につなぐ

▶ 1NZ-FE エンジン搭載車



▶ 2ZR-FAE / 3ZR-FAE エンジン搭載車



図は 3ZR-FAE エンジンで説明しています。

- 4 救援車のエンジンをかけ、回転を少し高めにして、約 5 分間自車の バッテリーを充電する
- **5** エンジンスイッチが OFF の状態で、いずれかのドアを開閉する(スマートエントリー&スタートシステム装着車)

6 スマートエントリー&スタートシステム非装着車:

救援車のエンジン回転を維持したまま、エンジン スイッチをいったん "ON"にしてから、自車のエンジンをかける

スマートエントリー&スタートシステム装着車:

救援車のエンジン回転を維持したまま、エンジンスイッチをいったんイグニッション ON モードにしてから、自車のエンジンをかける

7 自車のエンジンが始動したら、ブースターケーブルをつないだときと 逆の順ではずす

ブースターケーブルをはずしたあとは、バッテリーの + 端子のカバーをもとにもどしてください。

8 エンジン上部のカバーをもとどおりに取り付ける (1NZ-FE エンジン搭載車を除く)

取りはずしたときと同じ順番で、エンジン側の固定ピンにはめ合わせます。

エンジンがかかっても、早めにトヨタ販売店で点検を受けてください。

□知識

■バッテリーあがり時の始動について

この車両は、押しがけによる始動はできません。

■バッテリーあがりを防ぐために

- ●エンジンが停止しているときは、ランプやエアコンの電源を切ってください。
- ●渋滞などで長時間止まっているときは、不必要な電装品の電源を切ってください。

■バッテリーがあがってしまったとき

- ●コンピュータに記憶されている情報が消去されます。バッテリーがあがったと きはトヨタ販売店で点検を受けてください。
- ●初期設定が必要な機能があります。(→ P. 371)

■バッテリーの充電について

バッテリーの電力は、車両を使用していないあいだも、一部の電装品による消費や自然放電のために、少しずつ消費されています。そのため、車両を長期間放置すると、バッテリーがあがってエンジンを始動できなくなるおそれがあります。 (バッテリーは走行中に自動で充電されます)

■バッテリーあがり時や取りはずし時など(スマートエントリー&スタートシステム装着車)

- ●バッテリー脱着直後はスマートエントリー&スタートシステムによるドアの解錠ができない場合があります。解錠できなかった場合はワイヤレスリモコン、またはメカニカルキーで解錠・施錠を実施してください。
- ●バッテリー脱着後、最初の始動操作ではエンジンが始動できないことがありますが異常ではありません。再度始動操作を行ってください。
- ●車両は常に電源の状態を記憶しています。バッテリー脱着時、車両はバッテリーをはずす前の状態に復帰します。バッテリーを脱着する際は、エンジンスイッチを OFF にしてから行ってください。バッテリーがあがる前の状態が不明の場合、バッテリー接続時は特に注意してください。

■バッテリーあがり時や取りはずし時など(Stop & Start システム装着車)

バッテリーがあがったあと、またはバッテリー端子をはずしたあとは、約5分~60分間、Stop& Start システムが作動しないことがあります。

■バッテリーの交換について (Stop & Start システム装着車)

装着されているバッテリーは、Stop & Start システム専用品です。Q55 またはそれ以上の性能を持つバッテリーと交換してください。適切なバッテリーをご使用いただかない場合、バッテリー保護のために Stop&Start システムの作動が制限されます。さらにバッテリーの早期劣化や、最悪の場合にはエンジンが再始動しなくなるおそれがあります。詳しくはトヨタ販売店にご相談ください。

A 警告

■バッテリーの引火または爆発を防ぐために

バッテリーから発生する可燃性ガスに引火して爆発するおそれがあり危険ですので、火や火花が発生しないよう、次のことをお守りください。

- ●ブースターケーブルは正しい端子または接続箇所以外に接続しない
- ●ブースターケーブルは+側と-側の端子を絶対に接触させない
- ●バッテリー付近では、喫煙したりマッチやライターなどで火を起こさない。

■バッテリーの取り扱いについて

バッテリー内には有毒で腐食性のある酸性の電解液が入っており、また関連部品には鉛または鉛の混合物を含んでいるので、取り扱いに関し、次のことを必ずお守りください。

- ●バッテリーを取り扱うときは保護メガネを着用し、液(酸)が皮膚・衣服・車体に付着しないようにする
- ●必要以上に、顔や頭などをバッテリーに近付けない
- ●誤ってバッテリー液が体に付着したり目に入ったりした場合、ただちに大量の水で洗い、すぐに医師の診察を受けるまた、医師の診察を受けるまで、水を含ませたスポンジや布を患部にあてておく
- ●誤ってバッテリー液を飲み込んだ場合、多量の水を飲んで、すぐに医師の診察を受ける
- ●バッテリーの支柱・ターミナル・その他の関連部品の取り扱い後は手を洗う
- ●お子さまをバッテリーに近付けない

■ 1NZ-FE エンジン搭載車では

車両のアースポイント(P. 348 の③で、④の接続位置)にブースターケーブルを取り付ける際は、エンジンが始動したときに振動で脱落しないよう、しっかりと接続してください。V リブドベルトと近い位置にあるため、脱落してベルトに接触すると思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

⚠ 注意

■ブースターケーブルの取り扱いについて

ブースターケーブルを接続したり、取りはずすときは、冷却ファンやベルトに 巻き込まれないように十分注意してください。

■エンジン上部のカバーの損傷を防ぐために (2ZR-FAE / 3ZR-FAE エンジン搭載車)

次のことを必ずお守りください。

- ●カバーを取りはずすときは、前後同時に引き上げたり、前方からはずしたりしないでください。
- ●カバーを取り付けるときは、取り付け部上面を強い力で押さえたり、たたいたりしないでください。

オーバーヒートしたときは

次のような場合は、オーバーヒートの可能性があります。

- 水温計 (→ P. 67) がレッドゾーンに入ったりエンジン出力が低下する (スピードが出ないなど)
- エンジンルームから蒸気が出る

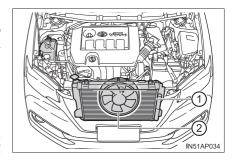
対処方法

- 1 安全な場所に停車し、エアコンをOFFにしてから、エンジンを停止する

蒸気が出ていない場合: 注意してボンネットを開ける

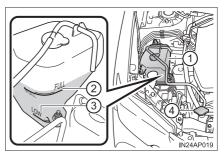
- 3 エンジンが十分に冷えてから、ラ ジエーターコア部(放熱部)や ホースなどからの冷却水もれを 点検する
 - (1) ラジエーター
 - ② ファン

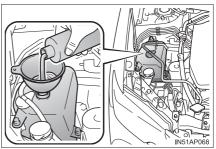
多量の冷却水もれがある場合は、ただちにトヨタ販売店に連絡してください。



- 4 冷却水の量がリザーバータンク の "FULL" (上限) と "LOW" (下 限) のあいだにあるかを点検する
 - (1) リザーバータンク
 - ② "FULL" (上限)
 - ③ "LOW" (下限)
 - 4) ラジエーターキャップ
- 5 冷却水が不足している場合は、冷却水を補給する

冷却水がない場合は、応急措置として 水を補給してください。





6 エンジンを始動し、エアコンを作動させてラジエーター冷却用のファンが作動しているか、およびラジエーターコアやホースなどから冷却水もれがないことを再度確認する

エンジンが冷えた状態での始動直後は、エアコンを ON にすることでファンが作動します。ファンの音や風で確認してください。わかりにくいときは、エアコンの ON・OFF をくり返してください。

(ただし、氷点下となる寒冷時はファンが作動しないことがあります)

| 7 | ファンが作動していない場合: すぐにエンジンを停止し、トヨタ販売店に連絡する

ファンが作動している場合:

最寄りのトヨタ販売店で点検を受ける

▲ 警告

■エンジンルーム点検中の事故やけがを防ぐために

- ●エンジンルームから蒸気が出ている場合は、蒸気が出なくなるまでボンネットを開けないでください。エンジンルーム内が高温になっているため、やけどなどの重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。
- ●手や着衣(特にネクタイ・スカーフ・マフラーなど)をファンやベルトから離してください。手や着衣が巻き込まれ、重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。
- ●エンジンおよびラジエーターが熱い場合はラジエーターキャップおよび冷却 水リザーバータンクのキャップを開けないでください。高温の蒸気や冷却水が圧力によって噴き出し、やけどなどの重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

⚠ 注意

■冷却水を入れるときの注意

エンジンが十分に冷えてからゆっくり入れてください。 エンジンが熱いときに急に冷たい冷却水を入れると、エンジンが損傷するおそれがあります。

■冷却系統の故障を防ぐために

次のことをお守りください。

- ●異物(砂やほこりなど)を冷却水に混入させない
- ●市販の冷却水添加剤を使用しない

スタックしたときは

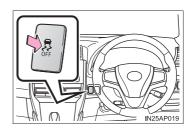
ぬかるみや砂地、雪道などでタイヤが空転したり埋まり込んで動けなく なったときは、次の方法で脱出してください。

- 1 パーキングブレーキをかけ、シフトレバーを P にして、エンジンを停止する
- 2 タイヤ前後の土や雪を取り除く
- 3 タイヤの下に木や石などをあてがう
- 4 エンジンを再始動する
- 5 シフトレバーを D または R に確実に入れ、注意しながらアクセルペダルを踏む

□ 知識

■脱出しにくいときは

TRC を停止してください。(→ P. 226)



▲ 警告

■脱出するとき

前進と後退をくり返してスタックから脱出する場合、他の車・ものまたは人との衝突を避けるため周囲に何もないことを確認してください。 スタックから脱出するとき、車が前方または後方に飛び出すおそれがありますので、特に注意してください。

■シフトレバーを操作するとき

アクセルペダルを踏み込んだまま操作しないように気を付けてください。 車が急発進し、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

⚠ 注意

- ■トランスミッションやその他の部品への損傷を避けるために
 - ●タイヤが空転するのを避け、必要以上にアクセルペダルを踏まないでくださ い。
 - ●上記の方法で脱出できなかった場合、けん引による救援が必要です。

車両情報

8-1.	仕様一覧	
	メンテナンスデータ (指定燃料・	
	オイル量など)	.360
8-2.	カスタマイズ機能	
	ユーザーカスタマイズ 機能一覧	.367
8-3.	初期設定	
	初期設定が必要な項目	.371

メンテナンスデータ(指定燃料・オイル量など)

使用するオイルや液類の品質により、自動車の寿命は著しく左右されます。トヨタ車には、最も適したトヨタ純正オイル・液類(以下、「指定銘柄」といいます)のご使用をおすすめします。

指定銘柄以外を使用される場合は、指定銘柄に相当する品質のものをご使用ください。

燃料

指定燃料	容量 [L](参考値)
無鉛レギュラーガソリンバイオ混合ガソリン(レギュラー)**	60

^{**} エタノールの混合率 10%以下または、ETBE の混合率 22%以下のガソリン (酸素含有率 3.7%以下)を使用することができます。

エンジンオイル

		容量 [L]([参考值 ^{※]})
指定銘柄	エンジン	オイル のみ交換	オイルと オイル フィルター 交換
トヨタキヤッスルモーターオイル SN 0W-20*2 — API SN/RC, ILSAC GF-5, SAE 0W-20 トヨタキヤッスルモーターオイル SN 5W-20	1NZ-FE	3.4	3.7
— API SN/RC, ILSAC GF-5, SAE 5W-20 トヨタキヤッスルモーターオイル SN 5W-30 — API SN/RC, ILSAC GF-5, SAE 5W-30 トヨタキヤッスルモーターオイル SN 10W-30	2ZR-FAE 3ZR-FAE	3.9	4.2
- API SN/RC, ILSAC GF-5, SAE 10W-30			

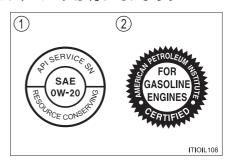
^{* 1} エンジンオイルの容量は交換する際の目安です。オイル量の確認は、エンジンを暖機後に停止し、5 分以上経過してからレベルゲージで行ってください。

^{※2} OW-20 は上記表の指定銘柄の中では、最も省燃費性に優れるオイルです。

■ 指定エンジンオイル

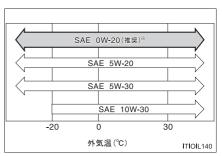
API 規格 SN/RC、SM/EC か、ILSAC 規格に合致したオイルをご使用ください。なお、ILSAC 規格合格油の缶にはILSAC CERTIFICATION (イルサックサーティフィケーション) マークが付いています。

- API マーク
- ② ILSAC CERTIFICATION マーク



■ エンジンオイル推奨粘度

下記図に基づき、外気温に適した粘度のものをご使用ください。



** OW-20 は新車時に充填されており、上記図の中では最も省燃費性に優れるオイルです。

オイル粘度について (例として OW-20 で説明します):

- ・OW-20 の OW は、低温時のエンジン始動特性を示しています。 Wの前の数値が小さいほど冬場や寒冷時のエンジン始動が容易になります。
- ・OW-20 の 20 は、高温時の粘度特性を示しています。 粘度の高い(数値が大きい)オイルは、高速または重負荷走行に適 しています。

ラジエーター

指定銘柄	エンジン	容量 [L] (参考値)
トヨタ純正スーパーロングライフクーラント	1NZ-FE	5.3
凍結保証温度 濃度 30% - 12 ℃	2ZR-FAE	E 4
濃度 50% - 35 ℃	3ZR-FAE	5.4

オートマチックトランスミッション

エンジン	駆動方式	指定銘柄	容量 [L] (参考値 [※])
1NZ-FE	FF(前輪駆動)		7.5
27R-FAF	FF(前輪駆動)	トヨタ純正 CVT フルード FE	8.0
ZZN-FAL	4WD(4 輪駆動)	ドコタ飛正しVLンルードドレー	7.9
3ZR-FAE	FF(前輪駆動)		8.7

[※] 交換が必要な際はトヨタ販売店にご相談ください。

⚠ 注意

■CVT フルードについて

上記で指定のトヨタ純正フルード以外をご使用の場合、変速不良、振動などの 不具合発生や破損に至るおそれがあります。

リヤディファレンシャル(4WD車)

指定銘柄(推奨粘度)	容量 [L](参考値)
トヨタ純正ディファレンシャルギヤオイル LT (API GL-5 SAE 75W-85)	0.5

トランスファー (4WD 車)

指定銘柄(推奨粘度)	容量 [L](参考值)
トヨタ純正ギヤオイルスーパー (API GL-5 SAE 75W-90)	0.9

ブレーキ

■ ブレーキペダル

項目	基準値 [mm]	
遊び	1~6	
踏み込んだときの床板とのすき間**	81以上	

^{**} エンジン回転時に 294 N (30 kgf) の踏力をかけたときの床板とのすき間の 最小値

■ ブレーキフルード

指定銘柄	
トヨタ純正ブレーキフルード 2500H-A	

■ パーキングブレーキ

項目	基準値(回数)
踏みしろ 操作力 294 N (30 kgf) のときのノッチ**数	9~12

^{**} ノッチとは、パーキングブレーキをかけるときの節度("カチッ"という音)の ことです。

ウォッシャー

容量 [L](参考值)	2.5

タイヤ・ホイール

▶ 標準タイヤ

タイヤサイズ	ホイール エーー・コ		ているときの (kg/cm ²)	
	917	前輪	後輪	
185/65R15 88S	15 × 6J	230 (2.3)	230 (2.3)	
195/65R15 91S	15 × 6J	230 (2.3)	230 (2.3)	
195/55R16 87V	16 × 6J	220 (2.2)	200 (2.0)	

▶ 応急用タイヤ

タイヤサイズ	ホイール サイズ	タイヤが冷えているときの 空気圧 kPa (kg/cm ²)	
	517	前輪	後輪
T125/70D16 96M	16 × 4T	420 (4.2)	
T135/80D16 101M	10 \ 41		

電球(バルブ)

	電球	W (ワット) 数
	ヘッドランプ(ハロゲンタイプ) (バルブタイプ:HIR2)	55
	車幅灯	5
	フロントフォグランプ ★ (バルブタイプ:H16)	19
車外	フロント方向指示兼非常点滅灯	21
	サイド方向指示兼非常点滅灯	5
	リヤ方向指示兼非常点滅灯	21
	後退灯	16
	番号灯	5
	フロントパーソナルランプ	5
	リヤ読書灯★	5
車内	ラゲージルームランプ	3.8
	バニティミラー天井照明	8
	グローブボックスランプ	1.2

^{**} 表に記載のないランプは LED を採用しています。

車両仕様

型式	エンジン	駆動方式
NZT260	1NZ-FE(1.5L ガソリン)	FF(前輪駆動)
ZRT260	- 2ZR-FAE(1.8L ガソリン)	1 1 (日11年間同位金月)
ZRT265	ZZN-FAL (I.OL/J/9/)	4WD (4 輪駆動)
ZRT261	3ZR-FAE(2.0L ガソリン)	FF(前輪駆動)

ユーザーカスタマイズ機能一覧

お車に装備されている各種の機能は、ご希望に合わせてトヨタ販売店で 作動内容を変更することができます。また、マルチインフォメーション ディスプレイの操作により設定を変更することができる機能もありま す。

機能によっては、他の機能と連動して設定がかわるものもあります。詳しくはトヨタ販売店へお問い合わせください。

カスタマイズ設定をする

安全に操作することができる場所に停車し、パーキングブレーキをかけ、 シフトレバーを P にします。

- マルチインフォメーションディスプレイで設定するには - - -
 - → P. 74

車両カスタマイズ設定一覧

- (1) マルチインフォメーションディスプレイで設定変更可能
- (2) トヨタ販売店で設定変更可能

■ スマートエントリー&スタートシステム*、ワイヤレスドアロック共 通 (→ P. 82)

機能	能の内容	初期設定	変更後	1	2
作動の合図	施錠・解錠時	あり	なし		
(ブザー) * 1	トランク解錠時※2	あり	なし		
作動の合図(非	F常点滅灯)	あり	なし	_	0
解錠後、ドアを	開けなかったとき	30秒	60 秒	_	
の自動施錠まで	での時間	JU 19	120秒		
半ドア警告ブサ	f* 1	あり	なし	_	0

^{** 1} スマートエントリー&スタートシステム装着車のみ

■ スマートエントリー&スタートシステム* (→ P. 91)

機能の内容	初期設定	変更後	1	2
スマートエントリー&スタート システム	あり	なし	_	0

■ ワイヤレスドアロック (→ P. 82)

機能の内容	初期設定	変更後	1	2
ワイヤレス機能	あり	なし	_	0
	1 mm /+/17	解錠しない		
トランク解錠時の操作	1 回押し続ける (0.8 秒)	2 回押し	_	\circ
	(3.3))	1 回押し		

■ ランプ自動点灯・消灯システム (→ P. 144)

機能の内容	初期設定	変更後	1	2
ライトセンサーの感度調整	レベル 3	レベル 1~5	_	0
ランプを点灯するまでの時間	標準	長め	_	0

^{※2} ワイヤレスリモコンで解錠した場合のみ

■ イルミネーション (→ P. 254)

機能の内容	初期設定	変更後	1	2
消灯までの時間	15秒	7.5 秒		
当となるのは回	1019	30 秒		
エンジンスイッチ OFF 後の作動	あり	なし	_	0
解錠時の照明の点灯	あり	なし	_	0

■ メーター (→ P. 70)

機能の内容	初期	設定	変更後	1	2			
クリアランスソナー★	0	N	OFF	0				
インテリジェントクリアランス ソナー★	0	N	OFF	0	_			
LDA(レーンディパーチャーア ラート)★の警報感度	高	し)	普通	0	_			
	設定	ON	OFF	0	_			
先行車発進告知機能★	タイミ	本 :呂	早い	0	_			
	ング	ング	ング	ング 音通	ング 普通	遅い	0	_
エアコンが ON のときの Stop & Start システム★のアイドル時間	NORMAL		LONG	0	_			
エコドライブインジケーターラ ンプの表示	ON		OFF	0	_			
ドライブインフォ 1	瞬間燃表	-	*	0	_			
	平均 (リセ ₎	車速 ソト間)	*	0	_			
	航続可	航続可能距離		0	_			
ドライブインフォ 2	平均車速 (リセット間)		*	0	_			
割込表示	0	Ν	OFF	0	_			

[※] 瞬間燃費、平均燃費(リセット間)、平均燃費(給油後)、平均燃費(始動後)、 平均車速(リセット間)、平均車速(始動後)、距離(航続可能)、距離(始動 後走行)、走行時間(リセット間)、走行時間(始動後)、ブランクから 2 項目 を選択

★:グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

■ エアコン (→ P. 242)

機能の内容	初期設定	変更後	1	2
AUTO スイッチが ON のとき、連動して外気導入と内気循環を自動的に切りかえる	する	しない	_	0

■ クリアランスソナー* (→ P. 193)

機能の内容	初期設定	変更後	1	2
フロントセンサーの検知可能距 離	遠い	近い	_	0
バックセンサーの検知可能距離	遠い	近い	_	0
ブザー音量	レベル 3	レベル 1~5	_	0

▲ 警告

■カスタマイズを行うとき

エンジンを始動した状態で操作を行うため、車庫内など囲まれた場所では、十分に換気をしてください。換気をしないと、排気ガスが充満し、排気ガスに含まれる一酸化炭素(CO)により、重大な健康障害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

⚠ 注意

■カスタマイズを行うとき

バッテリーあがりを起こす可能性がありますので、確実にエンジンが作動している状態で実施してください。

初期設定が必要な項目

次の項目はバッテリーを再接続したり、メンテナンスを行ったあとなど に、システムを正しく働かせるために初期設定が必要です。

項目	初期設定が必要なとき	参照先
パワーウインドウ	正常に働かないとき	P. 114
インテリジェントク リアランスソナー★	バッテリー脱着時	P. 210

さくいん

こんなときは	
(症状別さくいん)	.374
車から音が鳴ったときは	
(音さくいん)	.378
アルファベット順さくいん	.380
五十音順さくいん	.381

こんなときは(症状別さくいん)

お困りの際は、トヨタ販売店にご連絡いただく前にまず次のことを確認 してください。

施錠/解錠/ドアの開閉ができない



キーをなくした

- ◆ キーまたはメカニカルキーをなくした場合、トヨタ販売店でトヨタ純正の新しいキーまたはメカニカルキーを作ることができます。(→ P. 80)
- キーまたは電子キーをなくすと盗難の危険性が極めて高くなるため、ただちにトヨタ販売店にご相談ください(スマートエントリー&スタートシステム装着車)。(→P.81)

施錠・解錠できない

- キーの電池が消耗、または電池が切れていませんか? (→ P. 292)
- エンジンスイッチがONモード(スマートエントリー&スタートシステム装着車)になっていませんか?
 施錠するときは、エンジンスイッチを OFF にしてください。
 (→ P. 135)
- 電子キーを車内に置き忘れていませんか? 施錠するときは、電子キーを携帯していることを確認してください。
- 電波状況により、機能が正常に働いていない可能性があります。 (→ P. 85)

リヤドアが開かない

● チャイルドプロテクターがかかっていませんか? チャイルドプロテクターがかかっていると車内からは開きません。 いったん車外から開けて、チャイルドプロテクターを解除してください。(→ P. 85)

故障かな?と思ったら



エンジンがかからない (スマートエントリー&スタートシステム非装着車)

- \bullet シフトレバーは P になっていますか? (\rightarrow P. 140)
- \bullet ステアリングロックされていませんか? (\rightarrow P. 132)
- バッテリーがあがっていませんか? (→ P. 348)

エンジンがかからない (スマートエントリー & スタートシステム装 着車)

- ブレーキペダルをしっかりと踏みながらエンジンスイッチを押していますか? (→ P. 134)
- シフトレバーは P になっていますか? (→ P. 140)
- ◆ キーが車内の検知される場所にありますか? (→ P. 92)
- ステアリングロックされていませんか? (→ P. 137)
- ◆ キーの電池が消耗、または電池が切れていませんか?このときは、一時的な方法でエンジンをかけることができます。(→ P. 346)
- バッテリーがあがっていませんか? (→ P. 348)

(P) ブレーキペダルを踏んでいてもシフトレバーが P から動かない

- スマートエントリー&スタートシステム非装着車 エンジンスイッチの位置が "ON" になっていますか? エンジンスイッチの位置が "ON" でブレーキを踏んでも解除できない とき (→ P. 140)
- スマートエントリー&スタートシステム装着車 エンジンスイッチは ON モードになっていますか? エンジンスイッチが ON モードでブレーキを踏んでも解除できないとき(→ P. 140)



| エンジンを停止したあとにハンドルがまわせなくなった

- スマートエントリー&スタートシステム非装着車 盗難防止のため、キーをエンジンスイッチから抜くとロックされます (→ P. 132)
- スマートエントリー&スタートシステム装着車 盗難防止のため、自動的にロックされます。(→ P. 137)

パワーウインドウスイッチを操作してもドアガラスが開閉しない

● ウインドウロックスイッチが押されていませんか?ウインドウロックスイッチが押されていると、運転席以外のパワーウインドウは操作できなくなります。(→P. 113)



エンジンスイッチが自動的に OFF になった(スマートエントリー &スタートシステム装着車)

一定時間アクセサリーモードまたはイグニッションONモード(エンジンがかかっていない状態) にしておくと、自動電源 OFF 機能が作動します。(→P. 136)



警告音が鳴りだした

● 警告音が鳴りだしたときは、「車から音が鳴ったときは(音さくいん)」 (→ P. 378) をご確認ください。



警告灯や警告メッセージが表示されたとき

● 警告灯や警告メッセージが表示されたときは、P. 324、328 をご確認ください。

トラブルが発生した



(1) タイヤがパンクした

● 車を安全な場所に停め、パンクしたタイヤを応急用タイヤに交換してください。(→ P. 332)



立ち往生した

● ぬかるみ・砂地・雪道などで動けなくなったときの脱出方法を試してください。(→ P. 357)

車から音が鳴ったときは(音さくいん)

次の状況のとき、車の状態や誤操作などをお知らせするために警告音が鳴ります。

車に乗るとき/降りるとき

状況	原因	詳細
ドアを開閉したとき	シフトポジションが P 以外になっている	P. 328
施錠しようとしたとき	いずれかのドアが確実に閉まっていない★	P. 83
(施錠できないとき)	電子キー★を車内に置き忘れている	P. 93

^{★:}グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

走行しているとき

状況	原因	詳細
	いずれかのドア·トランクが確実に閉まっ ていない	P. 330
走り出したとき	パーキングブレーキが解除されていない	P. 326
	運転席・助手席のシートベルトを着用して いない**	P. 325
ブレーキペダルを踏ん だとき(きしみやひっ かき音)	ブレーキパッドが摩耗しているおそれが ある	P. 124
前方の障害物と衝突し そうになったとき	PCS(プリクラッシュセーフティシステム)★が作動した	P. 164
車線から逸脱しそうに なったとき	LDA(レーンディパーチャーアラート)★ の車線逸脱警報機能が作動した	P. 177

[※] 助手席に荷物を置いている場合にもブザーが鳴ることがあります。

★:グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

アルファベット順さくいん

A/C	
(エアコン)	236
ABS	
(アンチロックブレーキシステム)	224, 324
AHB	
(オートマチックハイビーム)	183
EDR	
(イベントデータレコーダー)	8
EPS	
(エレクトリックパワーステアリング)	224, 324
FF	
(フロントエンジンフロントドライブ)	366
ILSAC CERTIFICATION	
(イルサックサーティフィケーション)	361
ISOFIX	
(アイソフィックス/イソフィックス)	47
LDA	
(レーンディパーチャーアラート)	177
PCS	
(プリクラッシュセーフティシステム)	164, 325
S-VSC	
(ステアリングアシステッドビークル	
スタビリティコントロール)	224
SRS	
(サプリメンタルレストレイントシステム)	. 33, 324
VSC	
(ビークルスタビリティコントロール)	224, 326
TRC	
(トラクションコントロール)	224. 326

五十音順さくいん

あ	インテリアランプ(室内灯)
アースポイント	スイッチ255
(バッテリーあがりの処置) 348	ワット数365
アームレスト	インテリジェントクリアランス
フロント259	ソナー201
リヤ268	警告灯326
アイドリングストップ	警告メッセージ210
アイドリングストップ時間 220	操作201
Stop & Start キャンセル	表示灯64
表示灯214	インナーミラー108
Stop & Start システム 213	
Stop & Start	う
表示灯213, 214	ウインカー(方向指示灯)
アウターミラー109	電球の交換303, 304
アシストグリップ268	方向指示レバー142
アンチロックブレーキ	ワット数365
システム (ABS)224	ウインドウ
	ウォッシャー150, 153
LI	パワーウインドウ113
イグニッション	リヤウインドウ
スイッチ	デフォッガー237, 244
イベントデータ	ウインドウロックスイッチ113
レコーダー (EDR)8	ウォーニングランプ (警告灯)62
イモビライザーシステム	ウォッシャー
イルミネーナットエントリー システム	液の補給283
	スイッチ150, 153
カスタマイズ機能	タンク容量364
作動について256	冬の前の準備・点検232
点灯する部位254	運転
インジケーター(表示灯) 62	環境に配慮した運転75
	寒冷時の運転232
	正しい姿勢24
	手順118
I	」 丁帜 I I C

運転席シートベルト

非着用警告灯325

エアコン			
オートエアコン	. 242		
フィルターの交換	. 290		
マニュアルエアコン	. 236		
エアバッグ			
一般的な警告	34		
SRS エアバッグ	33		
お子さまのための注意	34		
カーテンシールド			
エアバッグに関する警告	35		
カーテンシールド			
エアバッグの作動条件	38		
改造・廃棄について	37		
警告灯	324		
サイドエアバッグに			
関する警告	36		
サイドエアバッグの			
作動条件	38		
正しい姿勢	24		
配置	33		
フロント SRS エアバッグの			
作動条件	38		
エコドライブ			
インジケーターランプ	74		
エレクトリックパワー			
ステアリング (EPS)	. 224		

エンジン
イグニッション
スイッチ131, 134
エンジン回転計
(タコメーター)66
エンジンがかからない344
エンジン スイッチ 131, 134
オーバーヒート354
かけ方131, 134
警告灯324
ボンネット280
エンジンイモビライザー
システム60
エンジンオイル
冬の前の準備・点検232
油圧警告灯325
容量360
エンジン スイッチ131, 134
お
オイル
油脂類の容量と銘柄360
応急用タイヤ(スペアタイヤ)
空気圧364
収納場所333
取り出し方335
オートエアコン242
オートマチックトランスミッション
オートマチックトランス
ミッション139

シフトレバーが

シフトできない.....140 オートマチックハイビーム.......183

オーバーヒート (エンジン) 354	き
オープナー	+-
給油口155	イグニッション
トランク87	スイッチ
ボンネット280	エンジン スイッチ
お子さまの安全のために	キーナンバープレート
ウインドウロックスイッチ 113	キーの構成
エアバッグに関する警告 34	キーの電池が切れた
お子さまの	キーレスエントリー
シートベルト着用29	キーをなくした
お子さまを乗せる	電子キー
ときの警告31,86,102	電子キーが正常に働か
キーの電池に関する警告 294	電子キーの作動範囲
子供専用シート43	メカニカルキー
シートベルトに関する警告 31	ワイヤレスドアロック
チャイルドシートの	給油口
固定53, 54	緊急時の対処
チャイルドプロテクター85	イベントデータレコー
発炎筒の取り扱いに	エンジンがかからない
関する警告313	オーバーヒートした
バッテリーに関する警告 352	キーの電池が切れた
パワーウインドウに	キーをなくした
関する警告115	緊急用フック
オドメーター (積算距離計) 67	警告灯がついた
	けん引
か	故障したときは
カーテンシールドエアバッグ 33	車両を緊急停止する
外気温表示 66	スタックした
カスタマイズ機能367	電子キーが正常に働か
ガソリンスタンドでの情報 396	発炎筒
カップホルダー260	バッテリーがあがった
ガレージジャッキ282	パンクした
	非常点滅灯
	フューエルポンプ

イグニッション	
スイッチ131,	134
エンジン スイッチ 131,	134
キーナンバープレート	78
キーの構成	78
キーの電池が切れた	.292
キーレスエントリー	78
キーをなくした	80
電子キー	78
電子キーが正常に働かない	.346
電子キーの作動範囲	92
メカニカルキー	78
ワイヤレスドアロック	79
給油口	.155
緊急時の対処	
イベントデータレコーダー	8
エンジンがかからない	.344
オーバーヒートした	.354
キーの電池が切れた	.292
キーをなくした	80
緊急用フック	.319
警告灯がついた	.324
けん引	.316
故障したときは	.310
車両を緊急停止する	.314
スタックした	.357
電子キーが正常に働かない	.346
発炎筒	.312
バッテリーがあがった	.348
パンクした	.332
非常点滅灯	.311
フューエルポンプ	
シャットオフシステム	.323
緊急ブレーキシグナル	.225

<	プリテンショナー324
空気圧 (タイヤ)364	ブレーキ324
空調(エアコン)	ブレーキオーバーライド
オートエアコン242	システム326
フィルターの交換 290	油圧325
マニュアルエアコン236	警告ブザー
区間距離計	シートベルト非着用325
(トリップメーター)67	スマートエントリー&
曇り取り	スタートシステム93, 329
フロントガラス237, 244	パーキングブレーキ
ミラーヒーター111	未解除走行時326
リヤウインドウ	半ドア83
デフォッガー237, 244	ランプ消し忘れ148
クルーズコントロール189	リバース140
グローブボックス258	化粧用(バニティ)ミラー265
	けん引316
け	
警音器 (ホーン)106	2
警音器 (ホーン)106 計器 (メーター)	交換
	_
計器(メーター)	交換
計器 (メーター) マルチインフォメーション	交換
計器 (メーター) マルチインフォメーション ディスプレイ70	交換 エアコンフィルター290 キーの電池292
計器 (メーター) マルチインフォメーション ディスプレイ70 メーター62	交換 エアコンフィルター290 キーの電池293 タイヤ332
計器 (メーター) マルチインフォメーション ディスプレイ	交換 エアコンフィルター290 キーの電池
計器 (メーター) マルチインフォメーション ディスプレイ	交換 エアコンフィルター290 キーの電池332 電球
計器 (メーター) マルチインフォメーション ディスプレイ	交換 エアコンフィルター
計器 (メーター) マルチインフォメーション ディスプレイ	交換 エアコンフィルター
計器 (メーター) マルチインフォメーション ディスプレイ	交換 エアコンフィルター
計器 (メーター) マルチインフォメーション ディスプレイ	交換 エアコンフィルター
計器 (メーター) マルチインフォメーション ディスプレイ	交換 エアコンフィルター
計器 (メーター) マルチインフォメーション ディスプレイ	交換 エアコンフィルター
計器 (メーター) マルチインフォメーション ディスプレイ	交換 エアコンフィルター
計器 (メーター) マルチインフォメーション ディスプレイ	交換 エアコンフィルター

ガレージジャッキ.....282 車載ジャッキ......332

ਣਂ	シートベルト
サイドエアバッグ33	お子さまの着用29
サイド方向指示灯(ウインカー)	緊急時シートベルト
電球の交換306	固定機構29
方向指示レバー142	シートベルト
ワット数365	プリテンショナー29
サンバイザー265	疾患のある方の着用31
三角表示板収納スペース 264	清掃・手入れ276
	高さの調整29
L	正しい着用26
シート	チャイルドシートの固定53
シートヒーター251	妊娠中の方の着用31
正しい姿勢24	非着用警告灯325
チャイルドシートの	プリテンショナー警告灯324
固定53, 54	分離・格納のしかた28
手入れ275	室内灯(ルームランプ)
フラットシート98	スイッチ255
フロントシートの調整97	ワット数365
フロントシートの調整に	シフトレバー
関する警告99	オートマチックトランス
ヘッドレスト104	ミッション139
リヤシートの調整 100	シフトレバーが
リヤシートの調整に	シフトできない140
関する警告102	シフトロックシステム139
シートヒーター251	車速
	スピードメーター66
	平均車速72
	ジャッキ

ジャッキハンドル333	スターター
車幅灯	エンジンの始動131, 134
スイッチ144	スターターがまわらない344
電球の交換302	スタック
ワット数365	緊急用フック319
車両型式 366	スタックした357
車両仕様 (スペック)360	ステアリングアシステッド
収納装備257	ビークルスタビリティ
手動光軸調整ダイヤル146	コントロール (S-VSC)224
瞬間燃費72	ステアリング
助手席シートベルト	スイッチ71, 269
非着用警告灯325	ステアリングホイール(ハンドル)
	ステアリングロックを
व	解除する132, 137
水温計67	調整106
スイッチ	パワーステアリング警告灯324
イグニッション 131, 134	ストップランプ(制動灯)
ウインドウロック113	電球の交換306
エンジン131, 134	スピードメーター (速度計)66
オートマチック	スペアタイヤ(応急用タイヤ)
ハイビーム183	空気圧364
クルーズコントロール189	収納場所333
ドアミラー109	取り出し方335
ドアロック84	スペック (車両仕様)360
パワーウインドウ 113	スマートエントリー&
PCS 0FF167	スタートシステム
非常点滅灯311	エンジンの始動134
VSC227	カスタマイズ機能367
フロントフォグランプ149	作動範囲92
フロントワイパー	正常に働かない346
デアイサー238, 245	節電機能92
ランプ144	ドアの解錠・施錠82
リヤウインドウ	トランクの解錠87
デフォッガー237, 244	
ワイパー&	
ウォッシャー150. 153	

t	た
清掃	ターンシグナルランプ(方向指示灯)
外装 272	電球の交換303, 304
シートベルト276	方向指示レバー142
内装 275	ワット数365
制動灯(ストップランプ)	タイヤ
電球の交換306	応急用タイヤ332
積算距離計(オドメーター) 67	空気圧286, 364
節電機能92	交換332
先行車発進告知機能187	チェーン233
洗車272	点検285
前照灯(ヘッドランプ)	パンクした332
手動光軸調整ダイヤル 146	冬用タイヤ232
スイッチ144	ローテーション285
電球の交換300	タコメーター
ランプ消し忘れ警告ブザー 148	(エンジン回転計)66
ランプ消し忘れ防止機能 147	
ライトセンサー147	ち
ワット数365	チェーン (タイヤチェーン)233
前方センサー160	チャイルドシート
	ISOFIX バーでの固定54
₹	子供専用シート43
速度計	シートベルトでの固定53
(スピードメーター)66	チャイルドプロテクター85
	駐車ブレーキ
	(パーキングブレーキ)143
	つ
•	ツール (工具)333

7	ドアガラス113
ディスプレイ	ドアポケット261
(マルチインフォメーション	ドアミラー
ディスプレイ)70	調整109
手入れ	ミラーヒーター112
外装 272	盗難防止システム
シートベルト276	エンジンイモビライザー
内装 275	システム60
テールランプ(尾灯)	読書灯
スイッチ144	スイッチ255
電球の交換306	ワット数365
ワット数365	時計266
デフォッガー	トップテザーアンカー52
フロントガラス237, 244	Toyota Safety Sense
ミラーヒーター111	オートマチック
リヤウインドウ	ハイビーム183
デフォッガー237, 244	前方センサー160
電球(バルブ)	PCS(プリクラッシュ
交換298	セーフティシステム)164
ワット数365	LDA
点検整備基準	(レーンディパーチャー
(メンテナンスデータ) 360	アラート)177
電子キー	トラクションコントロール
作動範囲92	(TRC)224
正常に働かないとき 346	トランク
節電機能92	解錠79,87
電池が切れた292	トランクオープナー87
	ラゲージルームランプ88
ے	トランクランプ
ドア	(ラゲージルームランプ)
ドアガラス113	作動について88
ドアポケット261	ワット数365
ドアミラー109	トリップメーター
ドアロック79, 82	(区間距離計)67

+=
な
「ナノイー」245, 248
に
荷物
積むときの注意129
トランク87
ね
燃費
瞬間燃費72
平均燃費72
燃料
給油 155
残量警告灯325
種類 360
燃料計66
フューエルポンプ
シャットオフシステム323
容量360
は
パーキングブレーキ
(駐車ブレーキ)143
パーソナルランプ
スイッチ255
ワット数365
ハイマウントストップランプ
電球の交換306
ハザードランプ(非常点滅灯)
スイッチ311
電球の交換303,304
ワット数365
挟み込み防止機能113
登

バックアップランプ(後退灯)	
電球の交換	.304
ワット数	.365
バッテリー	
バッテリーあがりを	
防ぐために256,	351
バッテリーがあがった	.348
冬の前の準備・点検	.232
バニティ(化粧用)ミラー	.265
バニティミラー天井照明	
作動について	.265
ワット数	.365
バルブ(電球)	
交換	.298
ワット数	.365
パワーウインドウ	.113
パンク	
パンクした	.332
番号灯(ライセンスプレートラン	ソプ)
スイッチ	.144
電球の交換	.305
ワット数	.365
ハンドル(ステアリングホイー)	レ)
ステアリングロックを	
解除する132,	137
調整	.106
パワーステアリング	
警告灯	.324

ひ
ビークルスタビリティ
コントロール (VSC)224
ヒーター
オートエアコン 242
シートヒーター251
マニュアルエアコン236
ミラーヒーター 111
非常点滅灯(ハザードランプ)
スイッチ311
電球の交換303,304
ワット数365
尾灯(テールランプ)
スイッチ144
電球の交換306
ワット数365
ヒューズ295
表示灯62
ヒルスタートアシスト
コントロール224
ıΣı
フォグランプ
(フロントフォグランプ)
スイッチ149
電球の交換301
ワット数365
フック
緊急用フック319
けん引フック319
コートフック269
フューエルポンプ
フューエルホンフ シャットオフシステム 323

冬用タイヤ	232
フラットシート	98
プリクラッシュセーフティ	
システム(PCS)機能	164
PCS 0FF	167
PCS 警告灯	325
ブレーキ	
緊急ブレーキシグナル	225
警告灯	324
パーキングブレーキ	143
ブレーキ付近から	
キーキー音が聞こえる	124
メンテナンスデータ	363
ブレーキアシスト	224
フロアマット	22
フロントシート	
調整	97
フラットシート	98
フロントシートの調整に	
関する警告	99
フロントパーソナルランプ	
スイッチ	255
ワット数	365
フロントフォグランプ	
スイッチ	149
電球の交換	301
ワット数	365
フロント方向指示灯 (ウインカ	—)
電球の交換	303
方向指示レバー	142
ワット数	
フロントワイパーデアイサー	245

^	
平均車速72	
平均燃費72	
ヘッドランプ(前照灯)	
手動光軸調整ダイヤル 146	
スイッチ144	
電球の交換300	
ランプ消し忘れ警告ブザー 148	
ランプ消し忘れ防止機能 147	
ライトセンサー147	
ワット数365	
ヘッドレスト104	
ほ	
ホイール285	_
方向指示灯(ウインカー)	
方向指示灯(ウインカー)	
方向指示灯 (ウインカー) 電球の交換303,304	١
方向指示灯 (ウインカー) 電球の交換303, 304 方向指示レバー142	
方向指示灯 (ウインカー) 電球の交換	
方向指示灯 (ウインカー) 電球の交換	
方向指示灯(ウインカー) 電球の交換303,304 方向指示レバー365 ホーン(警音器)365 ボトルホルダー261 ボンネット280	
方向指示灯 (ウインカー) 電球の交換 303,304 方向指示レバー 142 ワット数 365 ホーン (警音器) 106 ボトルホルダー 261	
方向指示灯(ウインカー) 電球の交換303,304 方向指示レバー365 ホーン(警音器)365 ボトルホルダー261 ボンネット280	
方向指示灯(ウインカー) 電球の交換	
方向指示灯(ウインカー) 電球の交換	

油脂類......360

5
ライセンスプレートランプ(番号灯)
スイッチ144
電球の交換305
ワット数365
ランプ
グローブボックスランプ 258
室内灯254
電球の交換298
バニティミラー天井照明 265
非常点滅灯311
フロントパーソナルランプ 255
フロントフォグランプ149
ヘッドライト (前照灯) 144
方向指示灯(ウインカー) 142
ラゲージルームランプ
(トランクランプ)88
リヤ読書灯255
ワット数365
ラゲージルームランプ
(トランクランプ)
作動について88
ワット数365

リヤウインドウ	
デフォッガー237	7, 244
リヤシート	
折りたたみ	101
調整	100
前倒し	101
リヤシートの調整に	
関する警告	102
リヤセンターアームレスト	268
リヤ読書灯	
スイッチ	255
ワット数	365
リヤ方向指示灯(ウインカー)	
電球の交換	304
方向指示レバー	142
ワット数	365
る	
ルームミラー	108
ルームランプ(室内灯)	
スイッチ	255
ワット数	365
ħ	
冷却水	
冬の前の準備・点検	232
容量	362
冷却装置	
エンバンオーバーヒート	35/

ロック	
ウインドウロック	113
シフトロックシステム	140
チャイルドプロテクター	85
ドアロック	84

ォ

ワイパー	
フロント	150
リヤ	153
ワイパーデアイサー	238, 245
ワイヤレスリモコン	
電池交換	292
リモコン	79

ガソリンスタンドでの情報 給油や交換などの際に必要になる項目をまとめてあります。 ボンネットフック 給油口 P. 280 P. 155 INPAP035 給油口オープナー ボンネット解除レバー タイヤ空気圧 P. 280 P. 157 P. 364 燃料の容量 (参考値) 60L ·無鉛レギュラーガソリン P. 155, 360 ・バイオ混合ガソリン(レギュラー)※ ※エタノールの混合率 10%以下または、ETBE の混合率 燃料の種類 22%以下のガソリン (酸素含有率 3.7% 以下) を使用す ることができます。 P. 360 タイヤが冷えている P. 364 ときの空気圧 オイルのみ交換時 1NZ-FE エンジン搭載車: 3.4 L エンジンオイル容量 2ZR-FAE / 3ZR-FAE エンジン搭載車:3.9 L オイルとフィルター交換時 (参考値) 1NZ-FE エンジン搭載車: 3.7 L 2ZR-FAE / 3ZR-FAE エンジン搭載車: 4.2 L トヨタキヤッスルモーターオイル · SN OW-20 (API SN/RC, ILSAC GF-5, SAE OW-20) エンジンオイルの種類 · SN 5W-20 (API SN/RC, ILSAC GF-5, SAE 5W-20) SN 5W-30 (API SN/RC, ILSAC GF-5, SAE 5W-30) · SN10W-30 (API SN/RC, ILSAC GF-5, SAE 10W-30)

お問い合わせ、ご相談は 下記へお願いいたします。

トヨタ自動車株式会社 お客様相談センター 全国共通・フリーコール

🖼 0800-700-7700

オープン時間 365日 9:00~18:00

所在地 〒450-8711 名古屋市中村区名駅4丁目7番1号

ご愛用車のお問い合わせは、自動車検査証(車検証)を ご用意頂くとスムーズな対応が可能です。

「個人情報保護方針」については、 http://www.toyota.co.jp にて掲載しております。

「リコール等情報」については、 http://toyota.jp/recall/index.html にて掲載して おります。

H3G自動車株式会社 http://toyota.jp



M 20C43 01999-20C43 NAI-2019年9月4日 2016年6月13日 初版 2019年9月11日 5版 プレミオ